

第7次都留市長期総合計画策定のための 市民意識調査結果報告書

令和7年11月

企画課

目 次

調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の方法	2
3. 集計・分析のための人口区分と地域区分	2
4. 調査項目	3
5. 回収結果	3
6. 報告書の見方	3
調査結果	5
■【ご自身のこと】について	6
問 1. あなたの性別を教えてください。	6
問 2. あなたの年齢層を教えてください。	6
問 3. あなたのお住いの地域を教えてください。	6
問 4. あなたのご職業を教えてください。(兼業の場合は主な職業をお答えください)	7
問 5. あなたの家族の世帯構成を教えてください。	7
問 6. あなたの出身地を教えてください。	8
問 7. あなたは都留市に住んで何年になりますか。	8
問 8. あなたは市の情報をどのような手段で入手していますか(複数回答)	9
■「住みよさ」について	10
問 9. あなたは、都留市での暮らしに満足していますか	10
問 10. あなたは、これからもずっと都留市に住み続けたいと思いますか	12
問 10-1. 「住み続けたくないと思っている」の回答理由はなんですか。	14
■【都留市のこれまでの取り組み】について	16
問 11. 都留市が行ってきた取り組みの満足度及び重要度を回答してください。	16
満足度と重要度のマトリクス(ポートフォリオ分析)	27
■【都留市の今のまちの様子】について	30
問 12. 平成 26 年度に実施したまちづくりに関する市民アンケート調査において重要度は高いが満足度が低いとの結果となった項目である以下の 7 項目についての評価を回答してください。	30
問 13. 10 年前である平成 27 年頃と比べ、都留市のまちについてどう感じているか。	31
■今後の都留市のまちづくりについて伺います	52
問 14. 今後の都留市のまちづくりにおいて、特に強く推進すべき項目は何ですか。	52
■「つる湧水のほとりエリア」について伺います	64
問 29. 「つる湧水のほとりエリア」は、今後、更なる市の賑わいを創出するエリアとして整備されました。このエリアの今後の活用等、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。	64
■自由意見	68
問 30. 都留市のまちづくりについてご自由にお書きください	68

調査の概要

1. 調査の目的

令和9年度から新たにスタートする「第7次都留市長期総合計画」の策定にあたり、現在の本市の置かれている状況を的確に把握するため、また「第6次都留市長期総合計画」の評価・検証のため、無作為に抽出した市民を対象とした意識調査を実施し、新たな長期総合計画策定のための資料とする。

2. 調査の方法

- (1) 調査対象 無作為に抽出した16歳以上の市民（7月1日現在）
- (2) 対象者数 2,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布 郵送回収・直接回収・web回収
- (5) 調査期間 令和7年7月8日送付、7月29日締切

3. 集計・分析のための人口区分と地域区分

令和2年国勢調査による男女別・地域別割合による。

男	全体 100.0%	谷村 30.5%	三吉 7.0%	開地 5.6%	東桂 20.5%	宝 7.4%	禾生 25.1%	盛里 3.9%
10代	70	21	5	4	14	5	18	3
20代	142	43	10	8	29	11	35	6
30代	116	35	8	6	24	9	29	5
40代	139	43	10	8	28	10	35	5
50代	158	48	11	9	32	12	40	6
60代	143	44	10	8	29	11	35	6
70代	118	36	8	7	24	8	30	5
80歳以上	74	23	5	4	15	5	19	3
合計	960	293	67	54	196	71	241	39

女	全体 100.0%	谷村 30.5%	三吉 7.0%	開地 5.6%	東桂 20.5%	宝 7.4%	禾生 25.1%	盛里 3.9%
10代	90	27	6	5	18	7	23	4
20代	163	50	11	9	33	13	41	6
30代	98	30	7	5	20	7	25	4
40代	136	41	10	8	28	10	34	5
50代	154	47	11	9	32	11	38	6
60代	147	45	10	8	30	11	37	6
70代	127	39	9	7	26	9	32	5
80歳以上	125	38	9	7	26	9	31	5
合計	1,040	317	73	58	213	77	261	41

地域名	住所
谷村地域	田原、上谷、川棚、中央、つる、下谷
三吉地域	法能、戸沢、玉川
開地地域	小野、大野
東桂地域	十日市場、桂町、夏狩、鹿留、境
宝地域	金井、中津森、大幡、厚原、平栗、加畑
禾生地域	四日市場、田野倉、小形山、井倉、大原、川茂、古川渡
盛里地域	盛里、朝日馬場、朝日曾雌、与縄

4. 調査項目

- (1) 個人属性 (問 1～8)
- (2) 住みよさについて (問 9～10)
- (3) これまでの取り組みへの満足度 (問 11)
- (4) 今のまちの様子 (問 12～13)
- (5) 今後のまちづくりについて (問 14)
- (6) 同時期に策定する諸計画について (問 15～28) ※本分析には含めない
- (7) つる湧水のほとりエリアについて (問 29) (自由記述)
- (8) まちづくり全般について (問 30) (自由記述)

5. 回収結果

- (1) 有効発送数 1,998 票 (総発送数は 2,000 票、うち 2 票は宛先不明で返送)
- (2) 有効回収数 574 票 (標本数)
- (3) 有効回収率 28.7%

6. 報告書の見方

(1) 集計について

比率は、全て百分率で表しており、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出しているため、比率の合計が必ずしも 100.0% とならない場合があります。

(2) 回答数について

特に表記がない限り、サンプルサイズ (n) は 574 である。
グラフ中の凡例の NA は無回答 (No Answer) を示します。

(3) 適切でない言葉について

本報告書を公表するにあたり、記述等において適切ではない言葉 (誹謗中傷や差別等に該当するであろう言葉) で記載されていた個所については、意見の内容はできる限り変えず、表現に変更を加えています。

(4) 調査の信頼性（標本誤差）

アンケート調査は、全体（母集団）の中から数人（標本）を抜き出して結果を得る「標本調査」であるため、一定の範囲で誤差が出る可能性があります。この誤差率は、一般的に最大5%以下に収まることで回答に信頼性があると言われていています。今回のアンケートの回収数で、市民意見を反映させていると言えるかどうか、誤差を求める計算で算出をしました。

①誤差を求める計算式

信頼度95%：100回同じアンケートをした場合、95回は同じ回答となること

【計算式】

$$\text{誤差率} = Z \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

N：母集団（都留市の16歳以上人口 R7.7.1）25,266人

n：標本数（回答者数）574人

Z：信頼度95%の場合は1.96

p：母比率（50%の時、誤差が最大となるため、50%を採用）

【試算結果】 誤差率=4.0%（5%以下なので、信頼性有り）

②各回答率の標本誤差

回答率（回答結果）	標本誤差
10%または90%	±2.4%
20%または80%	±3.2%
30%または70%	±3.7%
40%または60%	±3.9%
50%	±4.0%

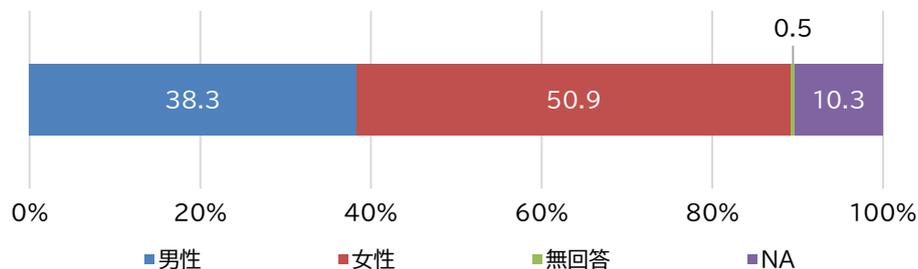
【例示】上の表は、今回のアンケートで、ある質問に対して「はい」と回答した方が50%という結果が出た場合、都留市民全員に同じアンケートをした時には、「±4.0%」で、「46%～54%」の範囲内に回答が収まるであろうということになります。

調査結果

■【ご自身のこと】について

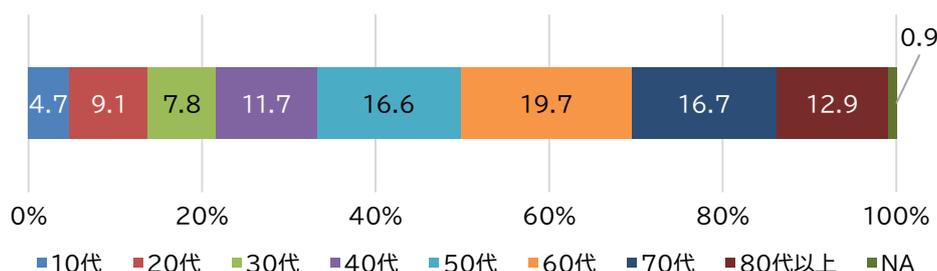
問1. あなたの性別を教えてください。

性別の内訳では、女性が50.9%、男性が38.3%と、女性の回答率が男性を12.6ポイント上回っています。



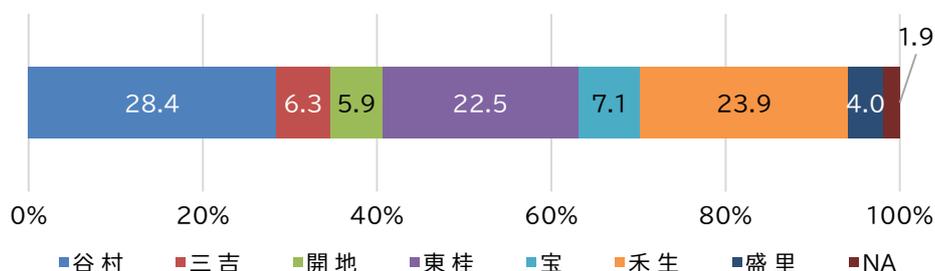
問2. あなたの年齢層を教えてください。

年齢の内訳では、60代の回答率(19.7%)が多くなっており、以下70代(16.7%)、50代(16.6%)と続いています。若い世代の回答率は低くなっており、30代以下の回答率は21.6%となっている。前回調査(平成26年)数値は24.9%であったことから3.3ポイント減少している。



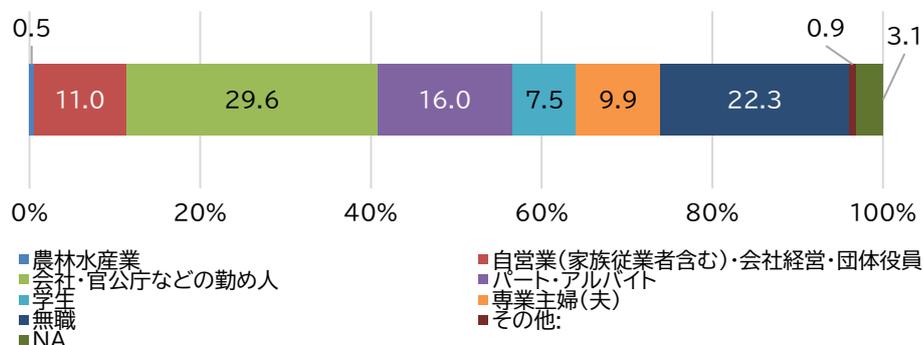
問3. あなたのお住いの地域を教えてください。

居住地域については、谷村地域の方が28.4%、続いて禾生地域が23.9%、東桂地域22.5%となっています。本問の回答比率は、概ね都留市の地域別人口割合と一致している。



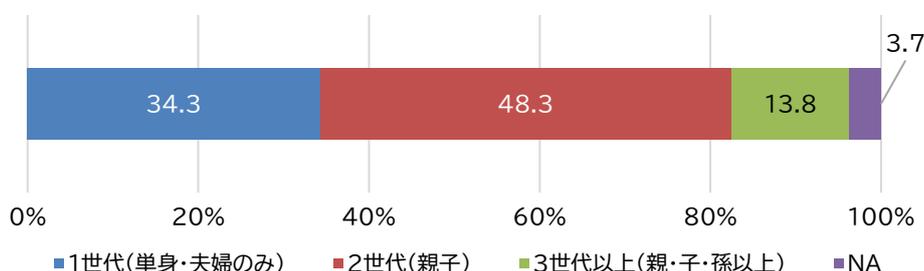
問4. あなたのご職業を教えてください。(兼業の場合は主な職業をお答えください)

職業では、会社・官公庁などの勤め人が29.6%となり、以下無職(22.3%)、パート・アルバイト(16.0%)と続いています。60代以上の回答率が高くなっていることから、無職の割合が高くなっているものと思われます。



問5. あなたの家族の世帯構成を教えてください。

世帯構成は2世代(親子)が最も多く、48.3%となっています。以下1世代(単身・夫婦のみ)(34.3%)、3世代以上(親・子・孫以上)(13.8%)となっています。市内の世帯構成については大半が核家族で構成されていることがわかります。

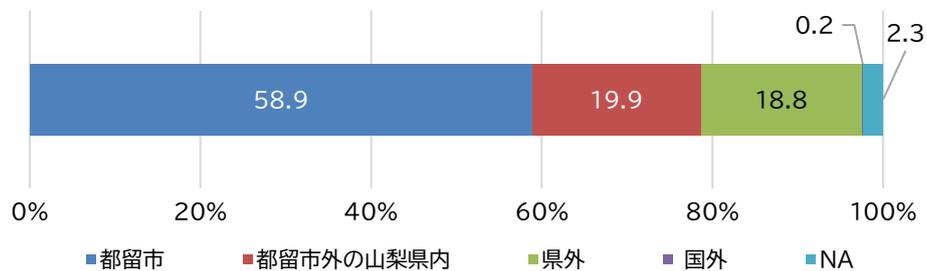


世帯の人数は、2人が26.5%と最も多く、次いで3人、4人と続きます。前回調査(平成26年)数値と比較すると、2人は3.3ポイント増加、3人は2.9ポイント減少、4人4.4ポイント減少となっている。また、1人の割合が3.1ポイント増加している。



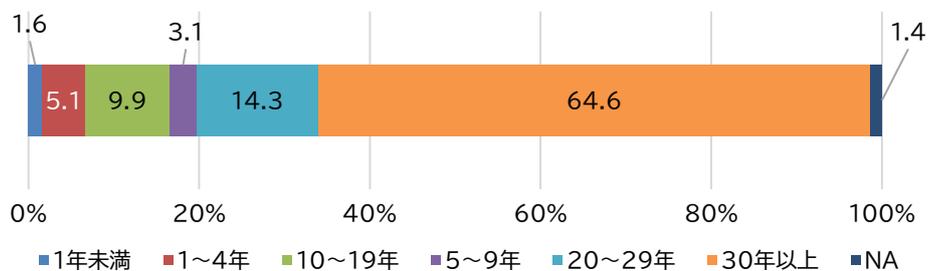
問6. あなたの出身地を教えてください。

出身地は、都留市が最も多く、58.9%となっています。以下都留市外の山梨県内（19.9%）、県外（18.8%）となっています。市外からの移住者は3分の1超いることが分かります。



問7. あなたは都留市に住んで何年になりますか。

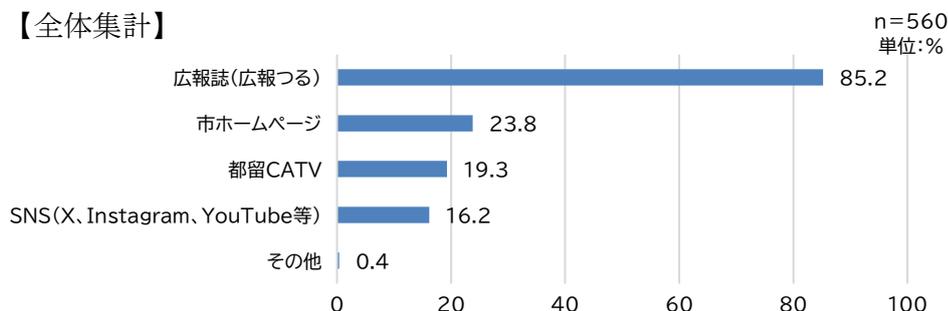
居住年数では、30年以上が最も多く、64.6%となっています。以下20～29年（14.3%）、10～19年（9.9%）となっています。10年以上の居住者が91.9%である。



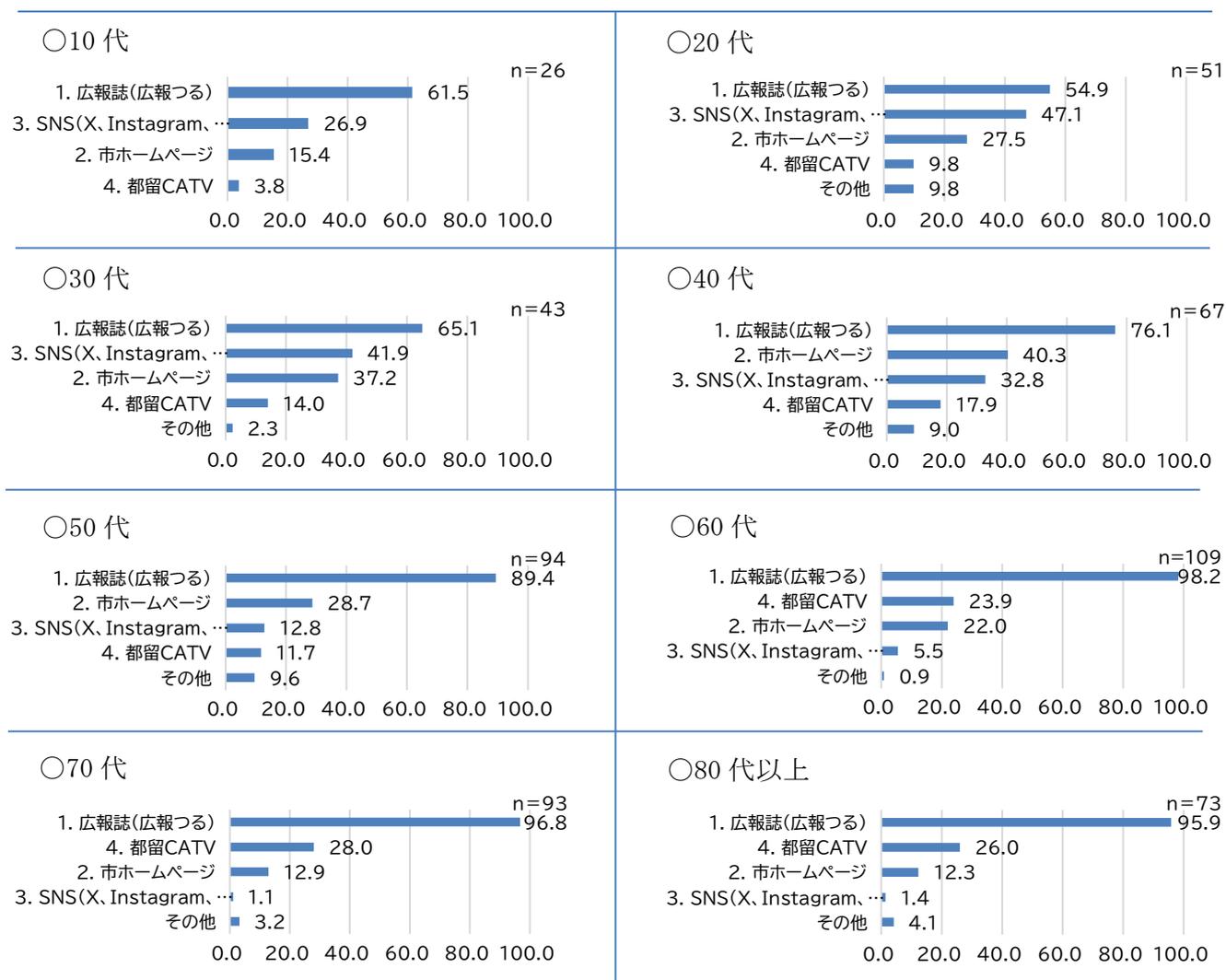
問8. あなたは市の情報をどのような手段で入手していますか（複数回答）

情報の入手方法は、全体では広報紙（広報つる）が最も多く、85.2%となっています。以下市ホームページ（23.8%）、都留CATV（19.3%）、SNS（16.2%）となっています。

【全体集計】



年齢でのクロス集計の結果は、全ての年代で広報つるが1位となったが、2位については、10～30代はXやInstagram等のSNS、40～50代は市ホームページ、60代以上は都留CATVとなっている。特に都留CATVについては、50代までは情報取得手段として最も少ないが、60代以上で大幅な増加となっている。

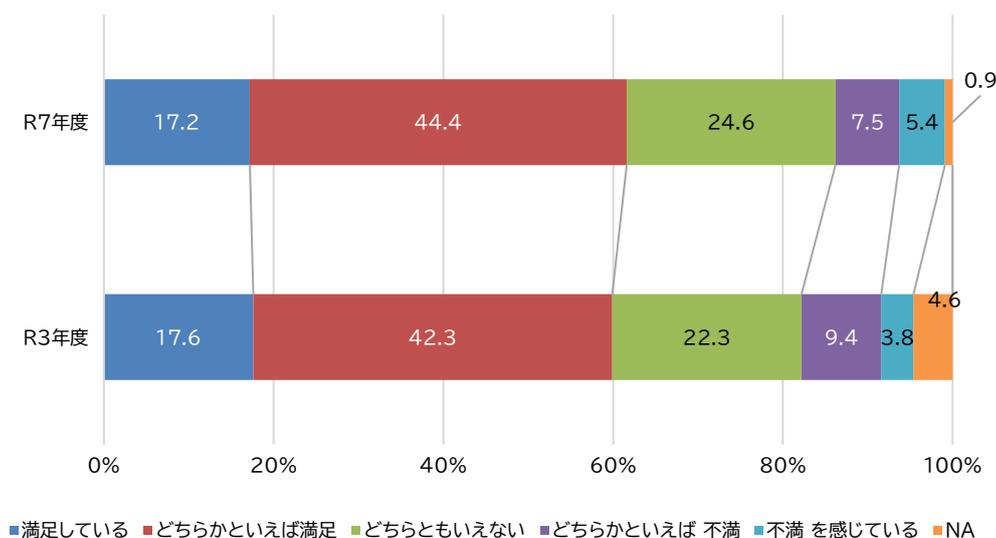


■「住みよさ」について

問9. あなたは、都留市での暮らしに満足していますか

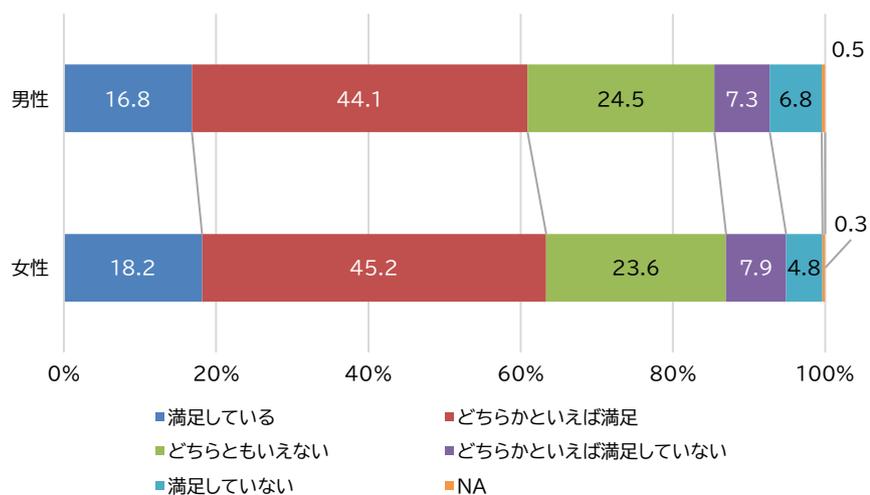
都留市での暮らしに満足しているかを尋ねたところ、17.2%が「満足している」、44.4%が「どちらかといえば満足している」と回答した。61.6%の人が都留市での暮らしに満足している結果となり、「満足している」との回答傾向の割合は、過半数を超えました。一方で5.4%が「不満を感じている」、7.5%が「どちらかといえば不満」し、12.9%の人が都留市での暮らしに不満を感じているという結果となった。前回調査（R3）と比較すると「満足している」の回答傾向は1.7ポイント増加し、「不満を感じている」の回答傾向は0.3ポイント減少した。

【全体集計】



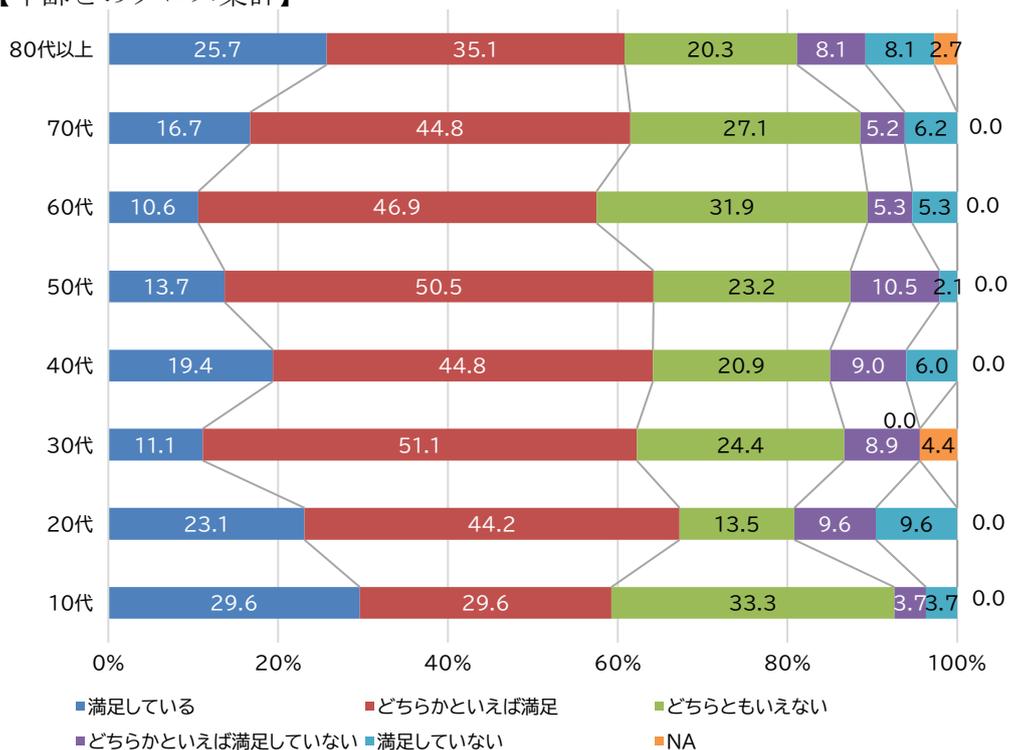
○性別、年齢、地区ごとのクロス集計結果は以下のとおりである。

【性別とのクロス集計】



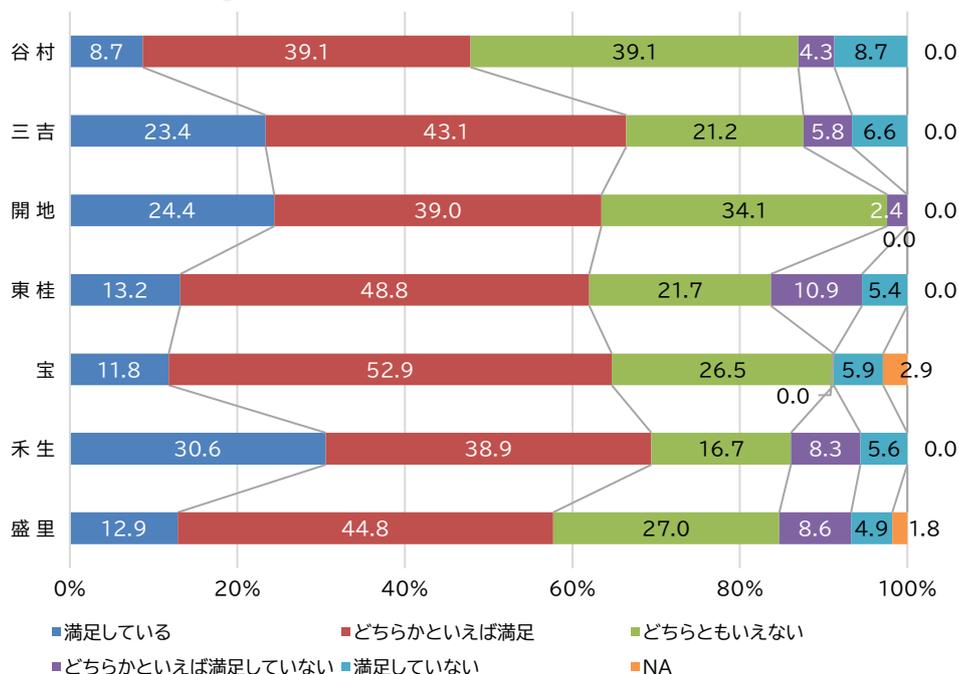
男性、女性とも「満足している」の回答傾向が過半数を超えた（男性 60.9%、女性 63.4%）。また、「不満を感じている」の回答傾向については男性 14.1%、女性 12.7%であった。両項目とも女性の方が好結果を示している。

【年齢とのクロス集計】



全ての年代で「満足している」の回答傾向が過半数を超えた。最も高い年代は20代の67.3%であり、最も低い年代は60代の57.5%であった。「不満を感じている」の回答傾向については、最も高い年代は20代の19.2%であり、最も低い年代は10代の7.4%であった。

【地区とのクロス集計】

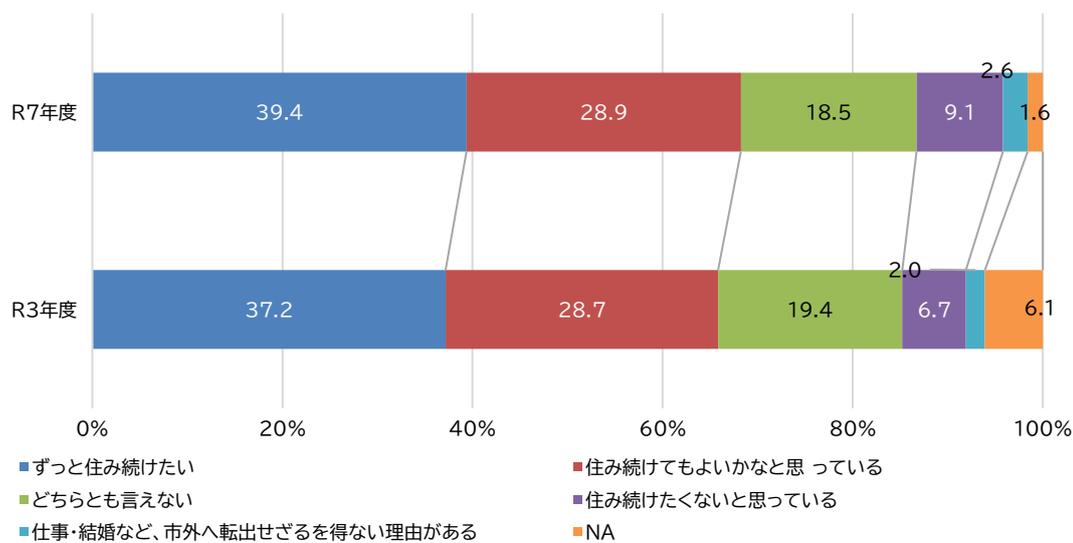


谷村地域以外の地域は「満足している」の回答傾向が過半数を超えた。谷村地域の回答は47.8%であるが、「どちらともいえない」の回答が39.1%を占めていることがその要因である。「満足している」の回答傾向が最も高い地域は禾生地域の69.5%、「不満を感じている」の回答傾向については、最も高い地域は東桂地域の16.3%であり、最も低い地域は開地地域の2.4%であった。

問 10. あなたは、これからもずっと都留市に住み続けたいと思いますか

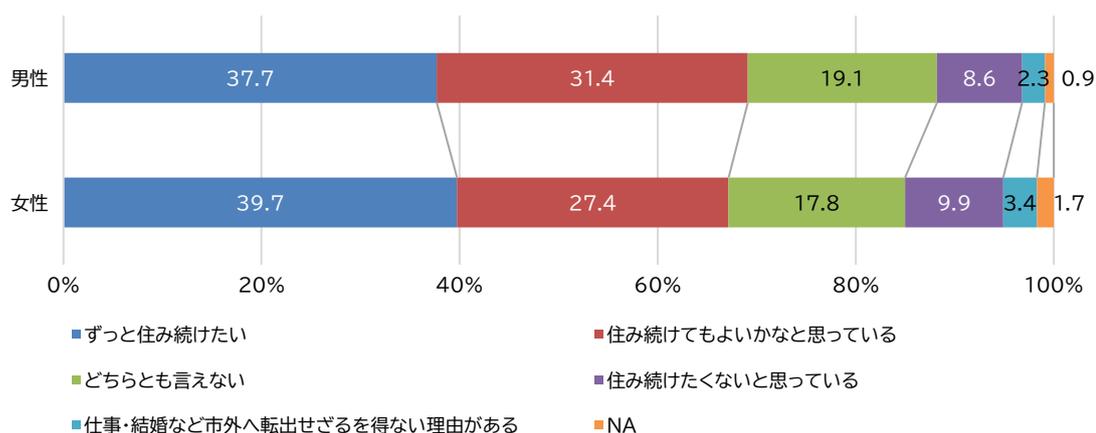
これからも都留市に住み続けたいかを尋ねたところ、39.4%の人が「ずっと住み続けたい」と回答した。「住み続けてもよいと思っている」との回答 28.9%と合わせると 68.3%の人が都留市に居住していきたいとの意向が分かりました。一方で「住み続けたくない」の回答は 9.1%であった。前回調査と比較すると、居留意向は 2.4 ポイント増加したが、「住み続けたくない」の回答は、2.4 ポイント悪化した。

【全体集計】



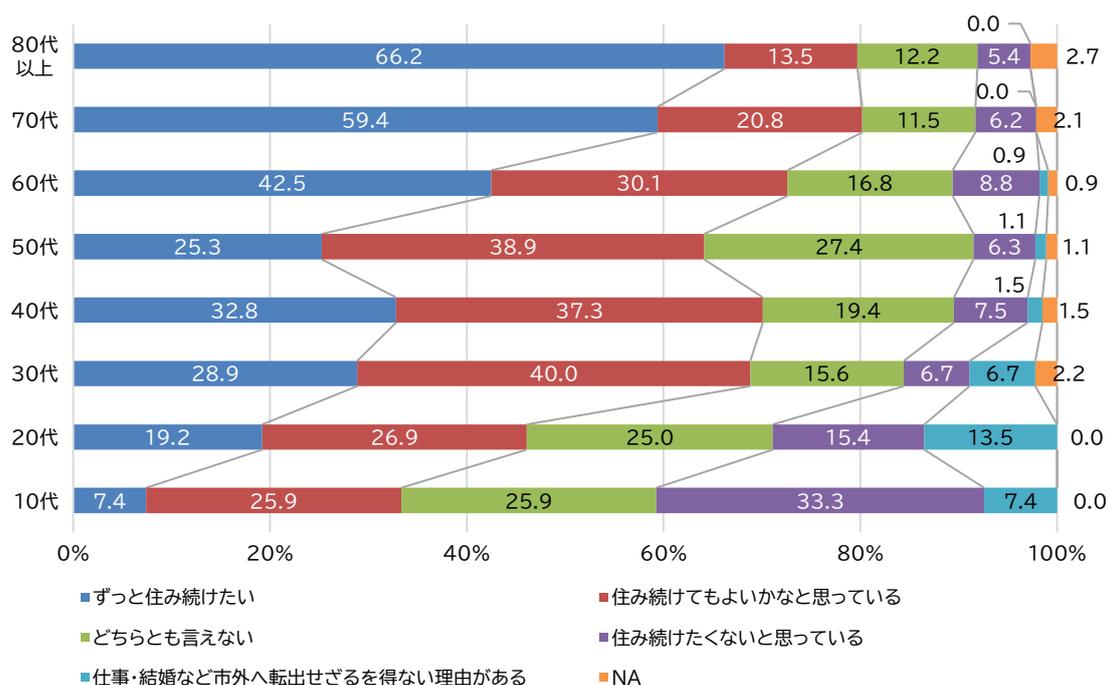
○性別、年齢、地区ごとのクロス集計結果は以下のとおりである。

【性別とのクロス集計】



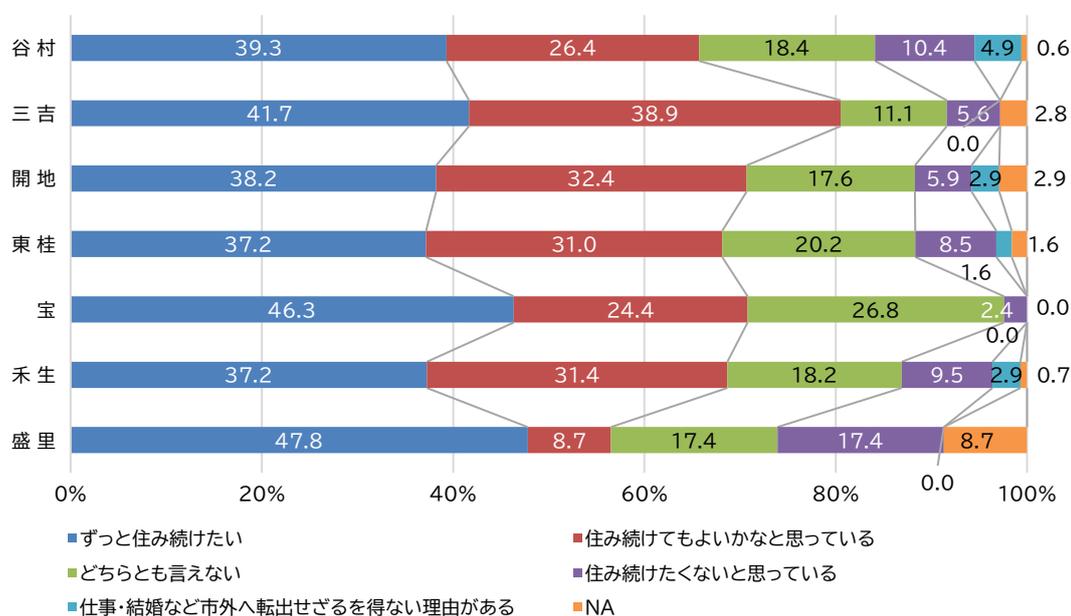
男性、女性とも「居留意向」の回答傾向が過半数を超えた（男性 69.1%、女性 67.1%）。男性、女性による回答の差異は見受けられない。

【年齢とのクロス集計】



30代以上は、「居住意向」の回答傾向が過半数を超えているが、20代以下は過半数を下回った。「住み続けたくない」の回答は、10代が33.3%、20代が15.4%と若年層で高く、30代以上はほぼ同水準である。「何らかの理由により転居せざるを得ない」の回答は30代以下に多く、30代以上は少ない。

【地区とのクロス集計】

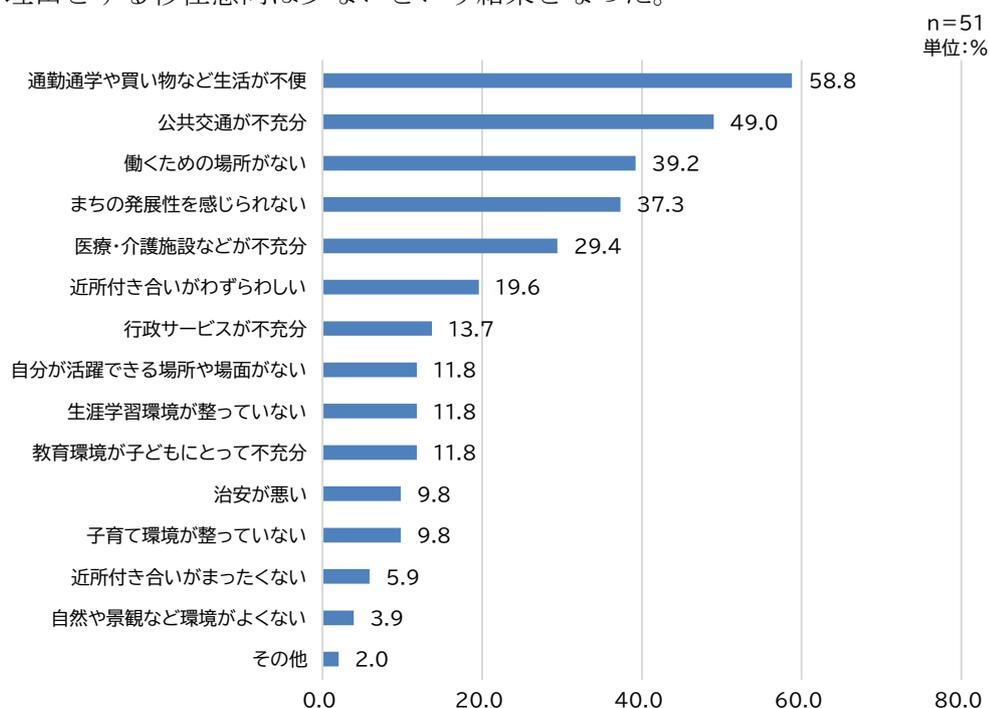


市内の全ての地域において「住み続けたい」の回答傾向が過半数を超えた。最も高い地域は三吉地域の80.6%であり、次いで宝地域、開地地域の順である。「住み続けたい」の回答傾向が、最も低い地域は盛里地域の56.5%であった。

「住み続けたくない」の回答は、盛里地域の17.4%が最も高く、次いで谷村地域の10.4%であり、宝地域が最も低い2.4%であった。

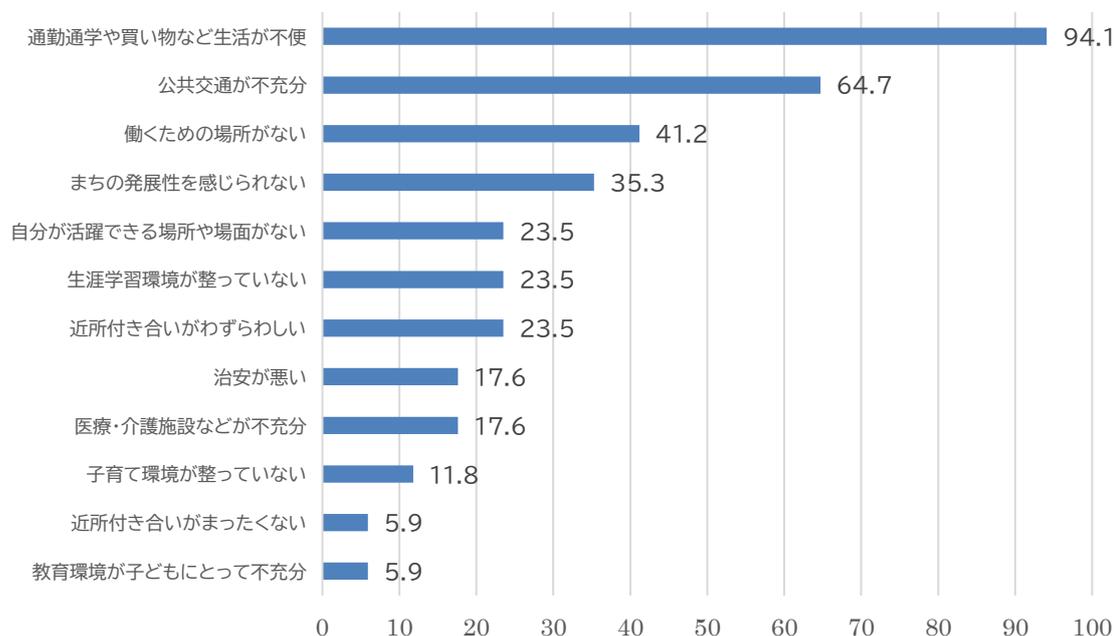
問 10 - 1. 「住み続けたくないと思っている」の回答理由はなんですか。

「通勤通学や買い物など生活が不便」(58.8 ポイント)、次いで「公共交通が不十分」(49.0 ポイント)、「働くための場所がない」(39.2 ポイント)となり、日常の異動や買い物、就職口がないことなど、生活に不便さを感じていることが移住意向の要因だと考えられる。その一方、「治安が悪い」(9.8 ポイント)、「子育て環境が整ってない」(9.8 ポイント)の回答傾向は低く、地域に安定性や子育て環境を理由とする移住意向は少ないという結果となった。

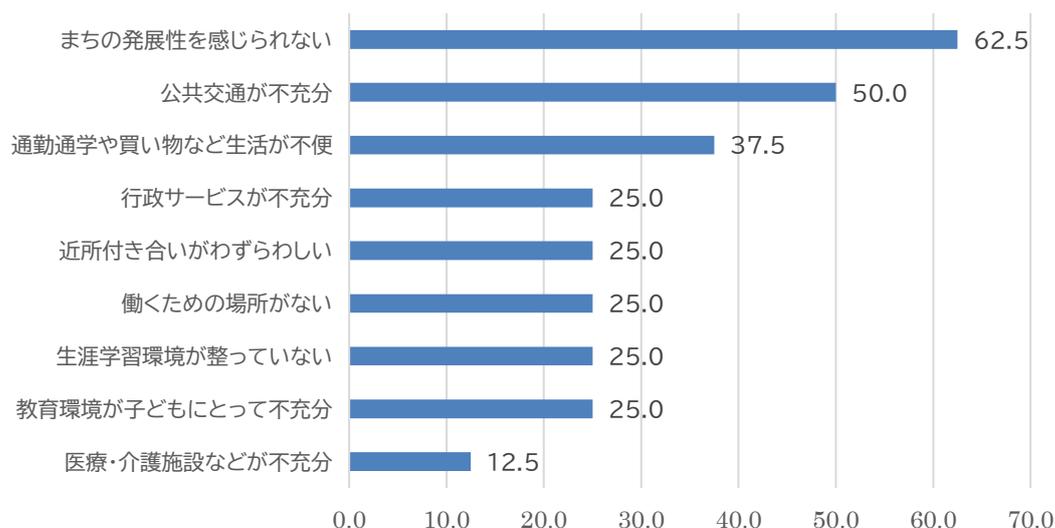


「住み続けたくないと思っている」と回答結果を年齢によるクロス集計した結果は以下のとおりである。

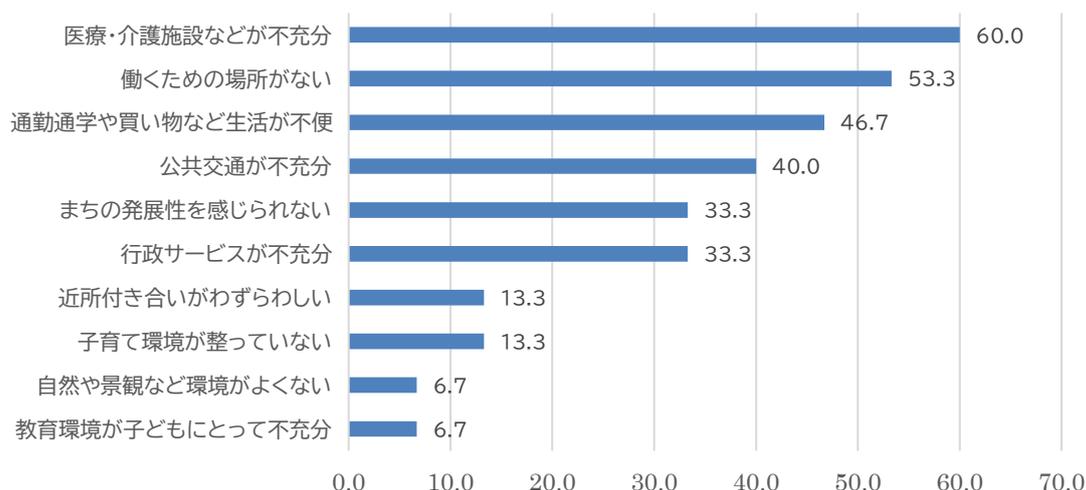
○10代、20代 (n=17)



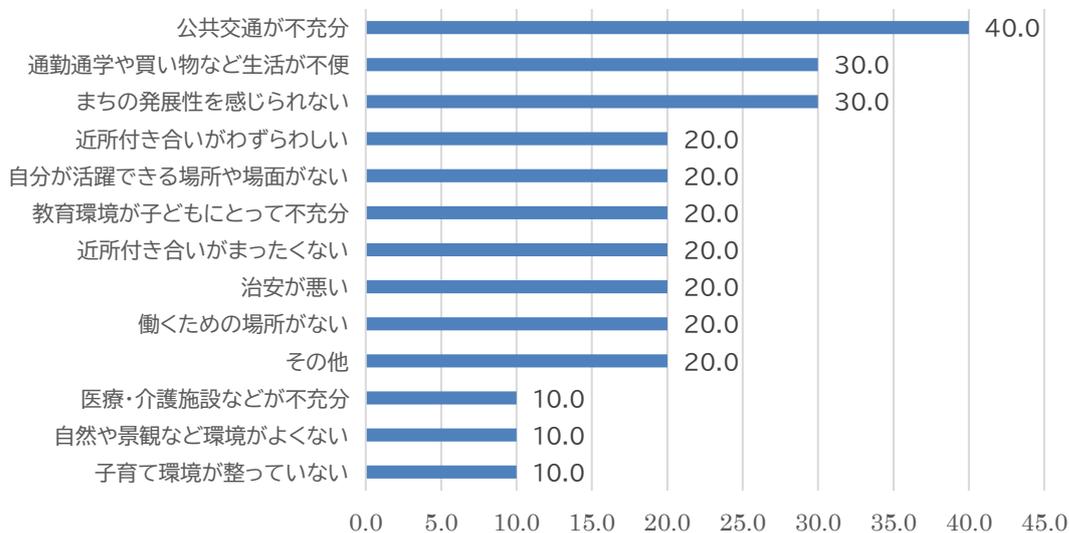
○30代、40代 (n=8)



○50代、60代 (n=15)



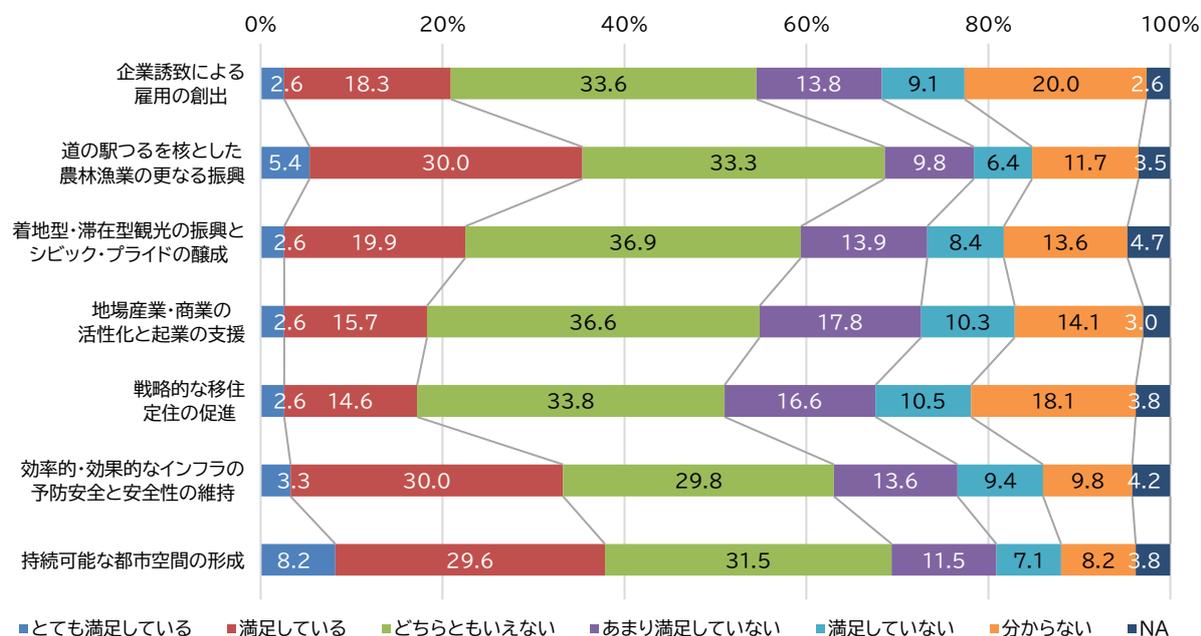
○70代、80代以上 (n=10)



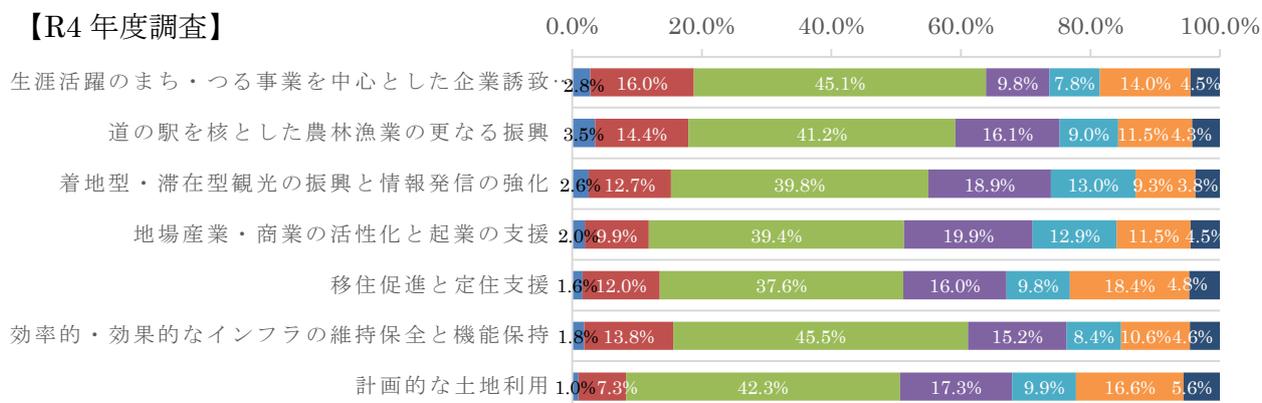
■【都留市のこれまでの取り組み】について

問 11. 都留市が行ってきた取り組みの満足度及び重要度を回答してください。

(1) 産業・基盤分野【満足度】



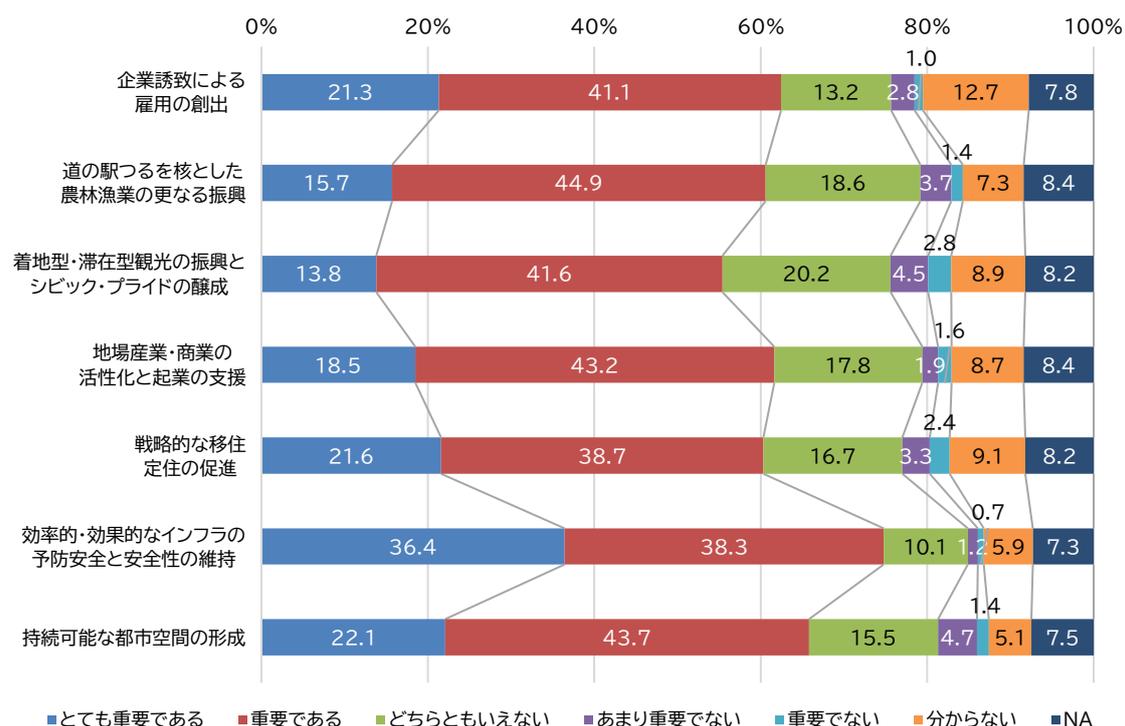
【R4 年度調査】



■調査値（とても満足している+満足している）の比較

施策	今回調査値	前回調査値	比較
企業誘致による雇用の創出	20.9	18.8	+2.1
道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興	35.4	17.9	+17.5
着地型・滞在型観光の振興とシビック・プライドの醸成	22.5	15.3	+7.2
地場産業・商業の活性化と起業の支援	18.3	11.9	+6.4
戦略的な移住定住の促進	17.2	13.6	+3.6
効率的・効果的なインフラの予防安全と安全性の維持	33.3	15.6	+17.7
持続可能な都市空間の形成	37.8	8.3	+29.5

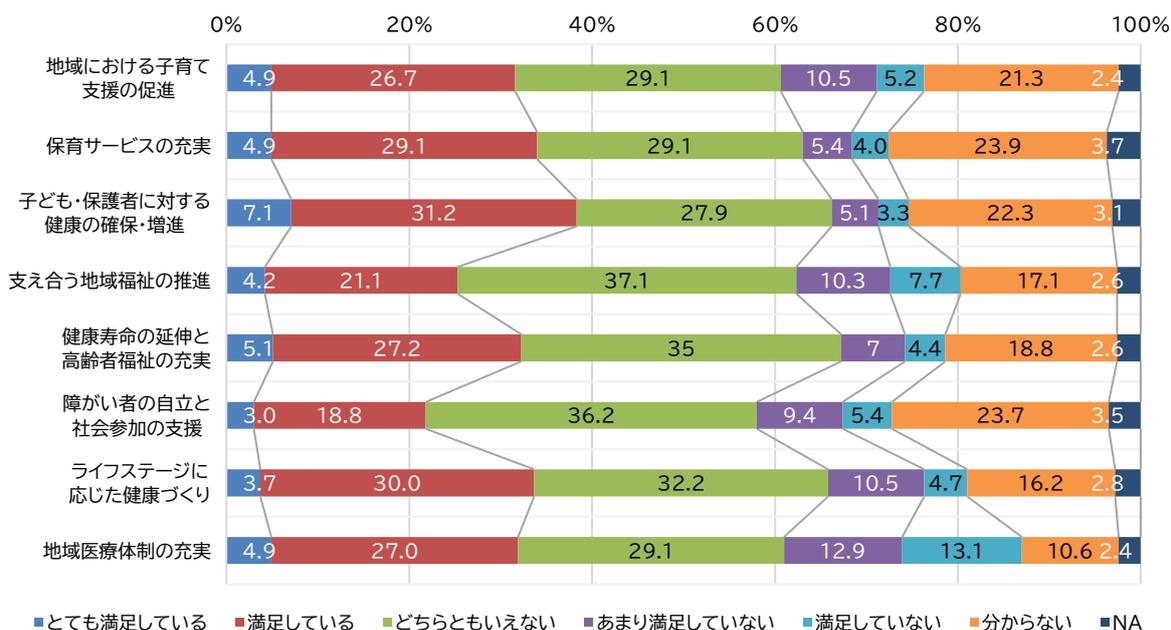
産業・基盤分野【重要度】



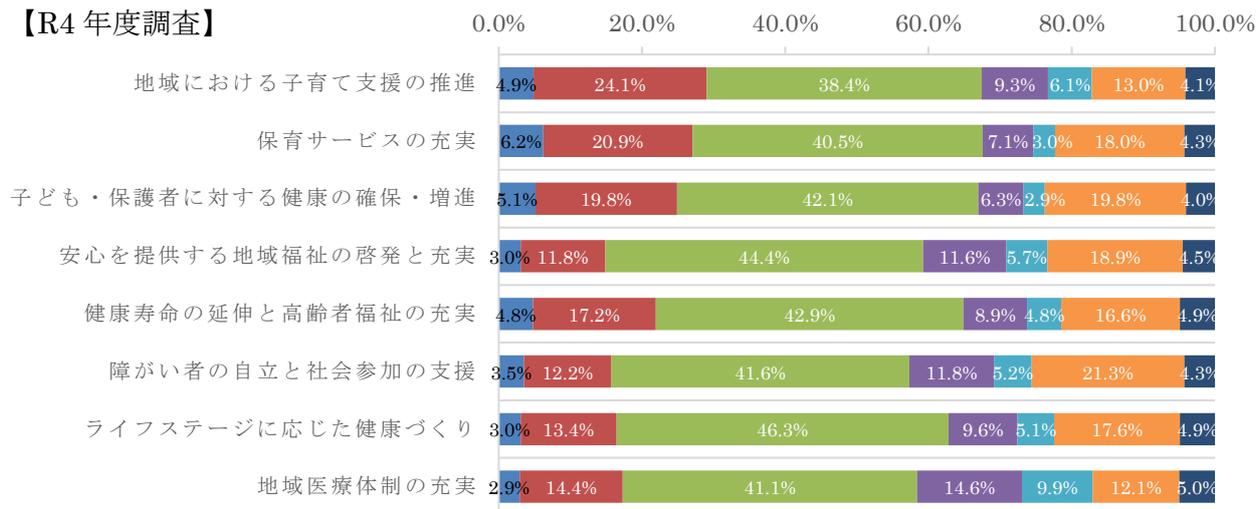
産業・基盤分野において、全ての施策で前回（R4 調査）より満足度が向上している。特に「持続可能な都市空間の形成」は 29.5 ポイントと大幅な改善が見られた。これについては、未利用地を整備し大型遊具を備えた公園への整備が完了した影響によるものと思われる。また、「道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興」「効率的・効果的なインフラの予防安全と安全性の維持」についても大幅に改善している。

重要度については、「効率的・効果的なインフラの予防安全と安全性の維持」が 74.7%で最も重要であるとの回答となった。インフラの予防保全については、建設後 50 年を経過するインフラ設備が加速度的に増加することが予測されていること、全国的に老朽化によるインフラ設備の破損等が問題になっていること等を受けてこのような結果となったものと考えている。一方重要であるとの回答が最も少ないものは「着地型・滞在型観光の振興とシビック・プライドの醸成」の 55.4%であった。

(2) 福祉・子育て・健康分野【満足度】



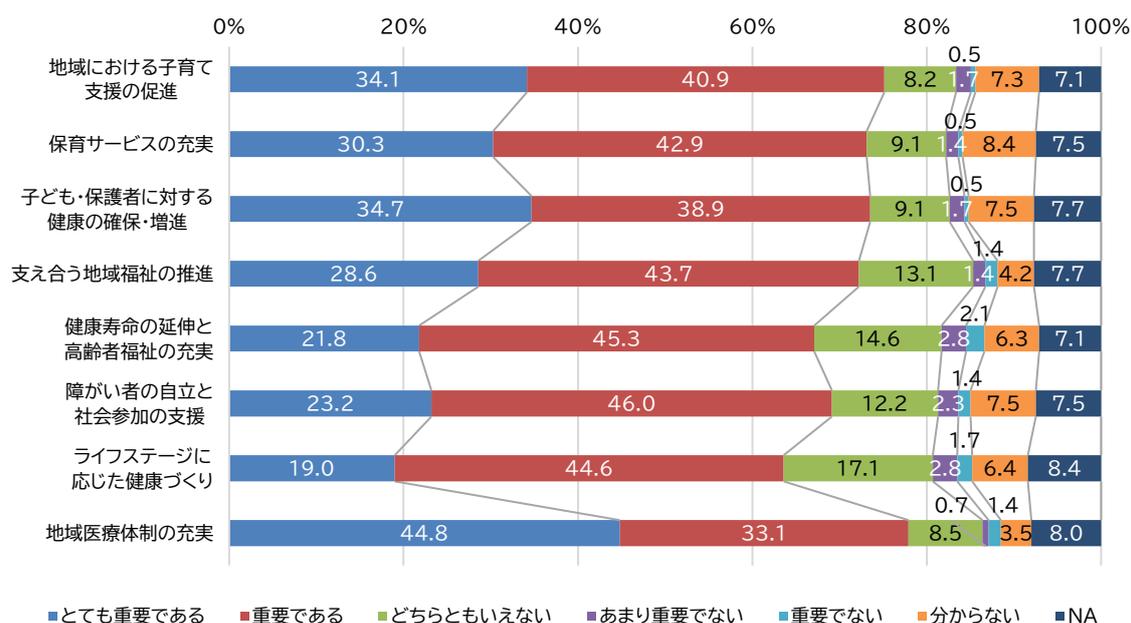
【R4 年度調査】



■ 調査値（とても満足している+満足している）の比較

施策	今回調査値	前回調査値	比較
地域における子育て支援の促進	31.6	29.0	+2.6
保育サービスの充実	34.0	27.1	+6.9
子ども・保護者に対する健康の確保・増進	38.3	24.9	+13.4
支え合う地域福祉の推進	25.3	14.8	+10.5
健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実	32.3	22.0	+10.3
障がい者の自立と社会参加の支援	21.8	15.7	+6.1
ライフステージに応じた健康づくり	33.7	16.4	+17.3
地域医療体制の充実	31.9	17.3	+14.6

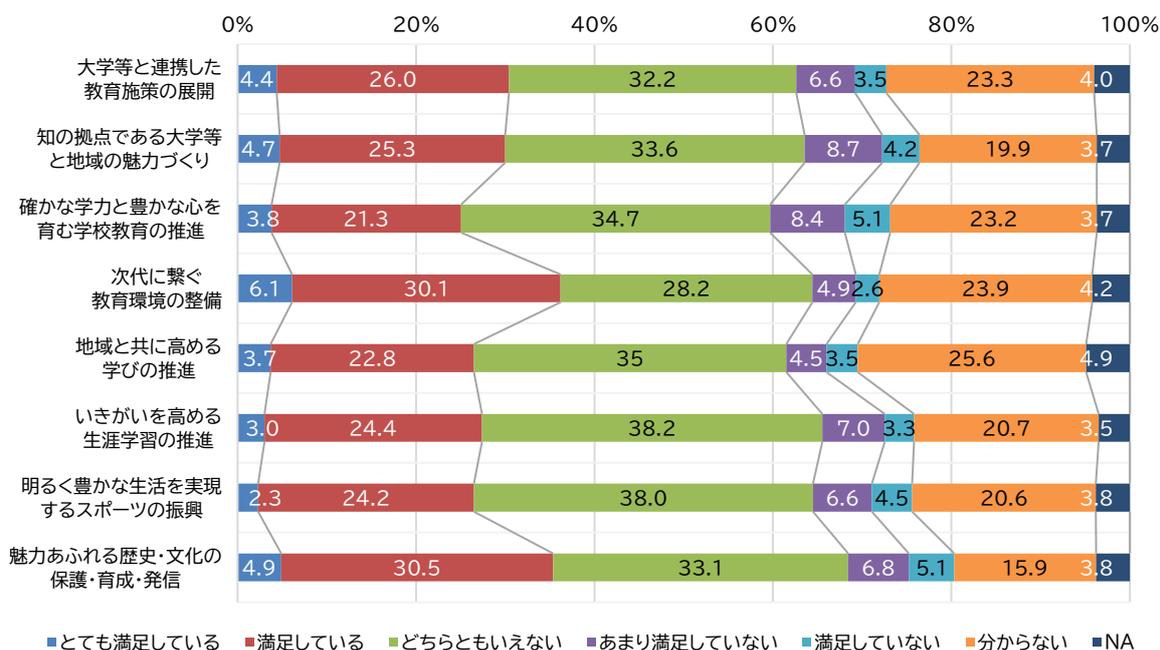
福祉・子育て・健康分野【重要度】



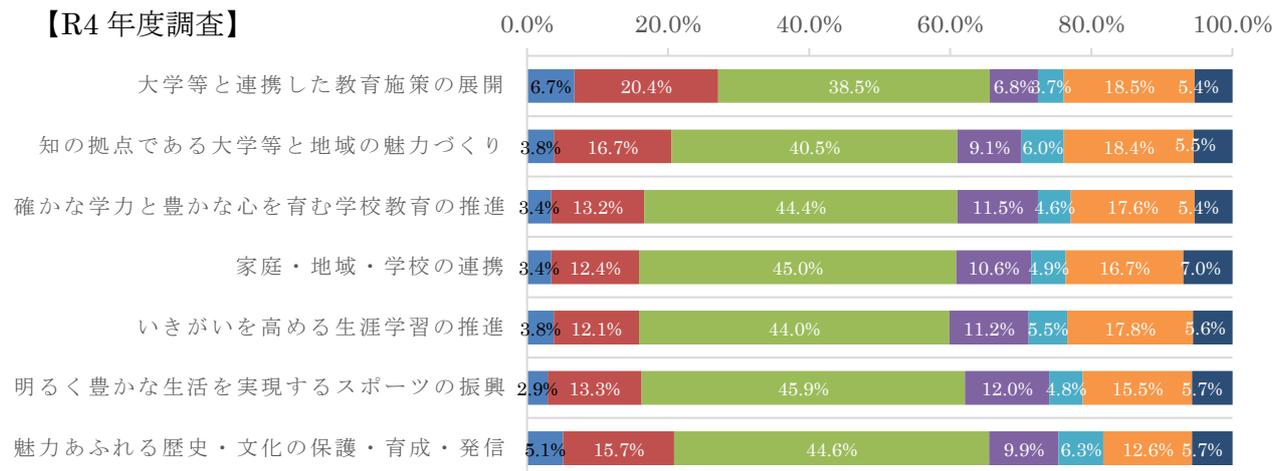
福祉・子育て・健康分野において、全ての施策で前回（R4 調査）より満足度が向上している。「ライフステージに応じた健康づくり」「地域医療提供体制の充実」「子ども・保護者に対する健康の確保・増進」「支え合う地域福祉の推進」「健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実」については 10 ポイント以上の改善となった。今回の調査において満足度が最も低かった施策は「障がい者の自立と社会参加の支援」（21.8%）であった。

重要度については、本分野は総じて重要と考える市民は多いが、特に「地域医療体制の充実」（77.9%）、「地域における子育て支援の推進」（75.0%）、「子ども・保護者に対する健康の確保・増進」（73.6%）、「保育サービスの充実」（73.2%）、「支え合う地域福祉の推進」（72.3%）の5施策については重要だと感じている市民が70%を超えている。また、他の分野と比較し、「とても重要である」の回答比率が高い（19.0～44.8%）ことから、当該分野を重視する市民が多いことを表している。

(3) 教育分野【満足度】



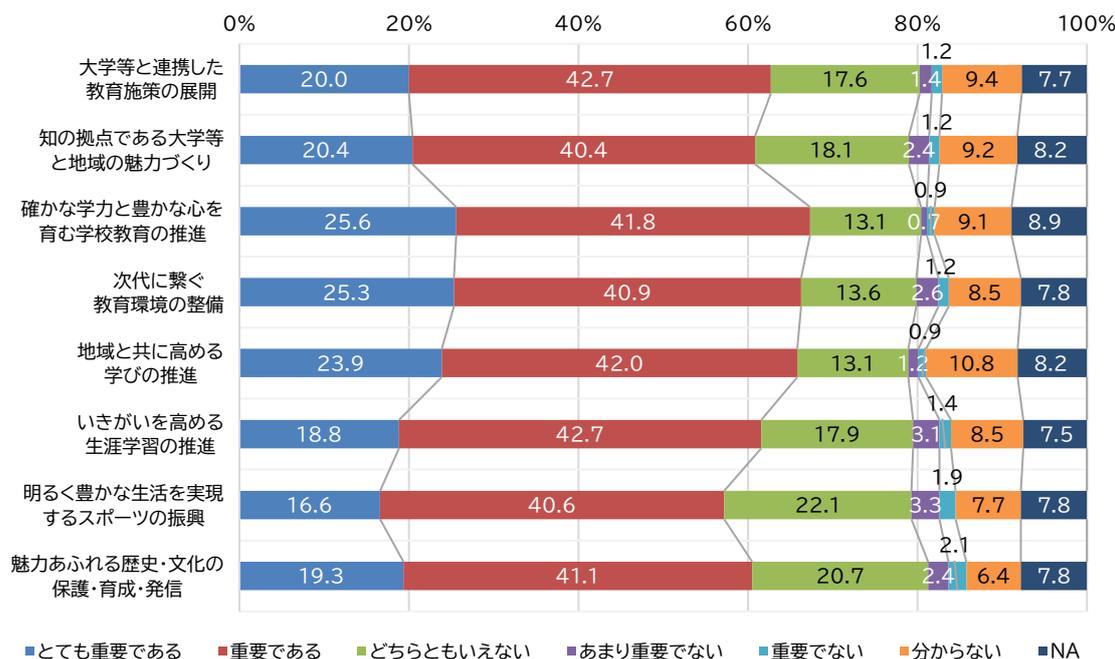
【R4 年度調査】



■ 調査値（とても満足している＋満足している）の比較

施策	今回調査値	前回調査値	比較
大学等と連携した教育施策の展開	30.4	27.1	+3.3
知の拠点である大学等と地域の魅力づくり	30.0	20.5	+9.5
確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進	25.1	16.6	+8.5
次代に繋ぐ教育環境の整備	36.2	—	—
地域と共に高める学びの推進	26.5	15.8	+10.7
いきがいを高める生涯学習の推進	27.4	15.9	+11.5
明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興	26.5	16.2	+10.3
魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信	35.4	20.8	+14.6

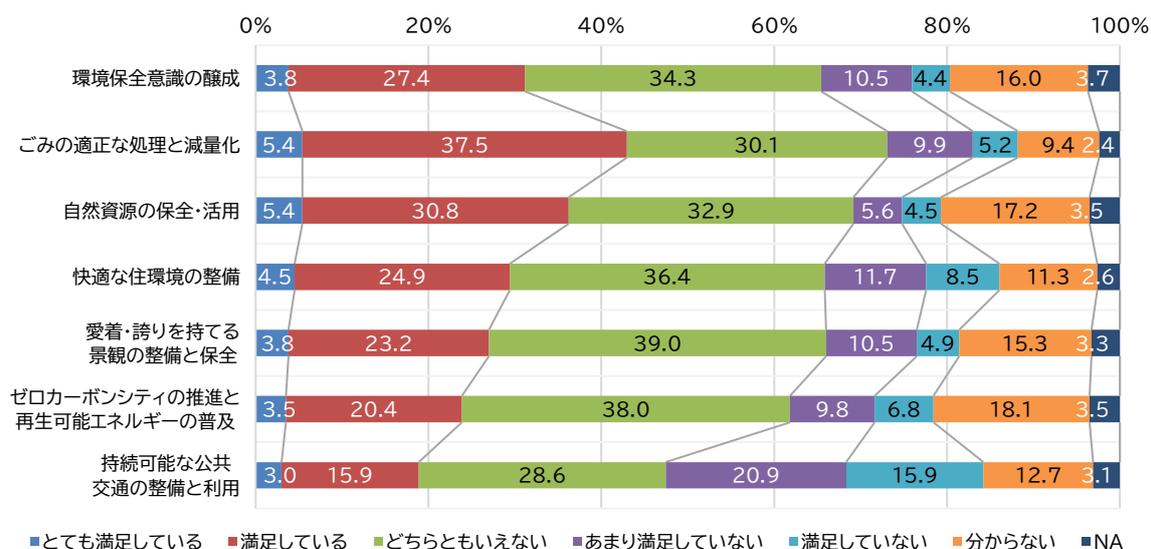
教育分野【重要度】



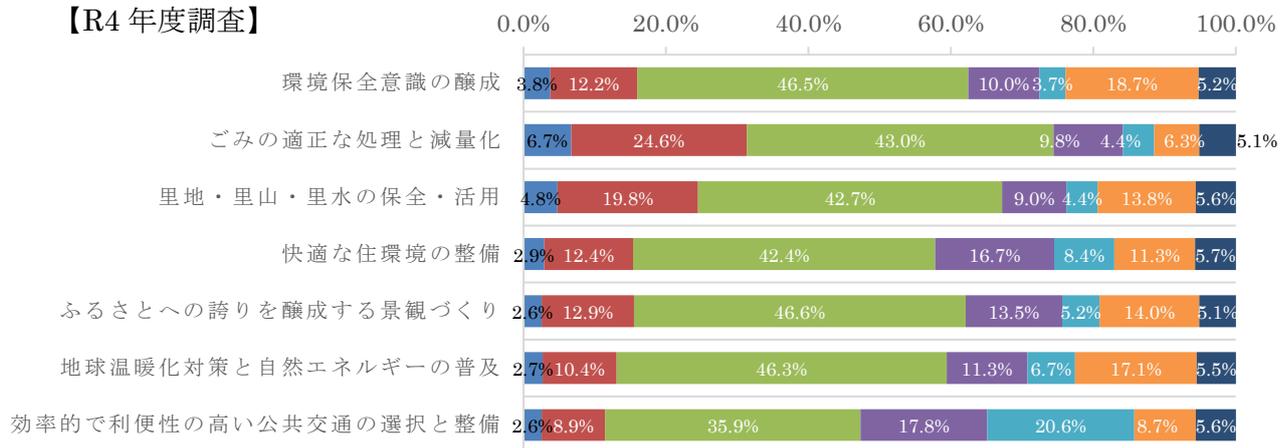
教育分野において、全ての施策で前回（R4 調査）より満足度が向上している（次代に繋ぐ教育環境の整備については後期基本計画時の追加項目であるため皆増）。「魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信」「いきがいを高める生涯学習の推進」「地域と共に高める学びの推進」「明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興」については 10 ポイント以上の改善となった。満足度の最も高かった施策は、後期基本計画策定時に追加した「時代に繋ぐ教育環境の整備」である。これは、1 人 1 台パソコンや電子黒板の導入などの ICT 環境の整備が進んだことが要因であると考えている。

重要度については、「明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興」（57.2%）以外の施策は 60% 以上の市民が重要であると考えており、「確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進」（67.4%）が最も大きかった。

(4) 生活・環境分野【満足度】



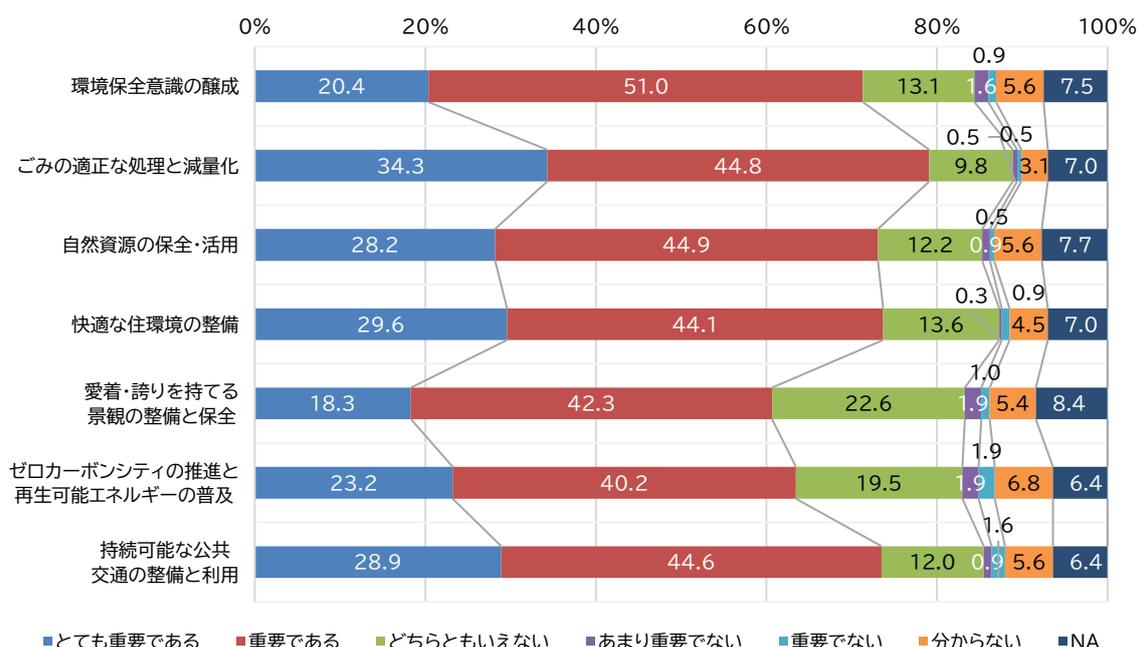
【R4 年度調査】



■ 調査値（とても満足している＋満足している）の比較

施策	今回調査値	前回調査値	比較
環境保全意識の醸成	31.2	16.0	+15.2
ごみの適正な処理と減量化	42.9	31.3	+11.6
自然資源の保全・活用	36.2	24.6	+11.6
快適な住環境の整備	29.4	15.3	+14.1
愛着・誇りを持てる景観の整備と保全	27.0	15.5	+11.5
ゼロカーボンシティの推進と再生可能エネルギーの普及	23.9	13.1	+10.8
持続可能な公共交通の整備と利用	18.9	11.5	+7.4

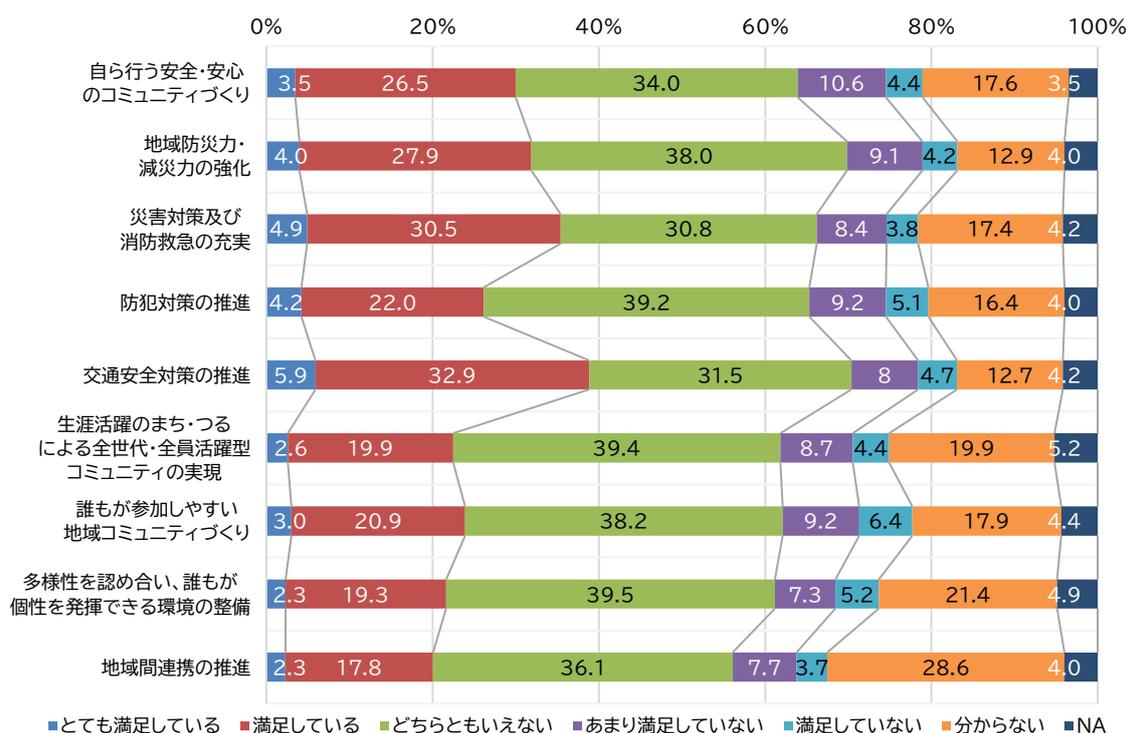
生活・環境分野【重要度】



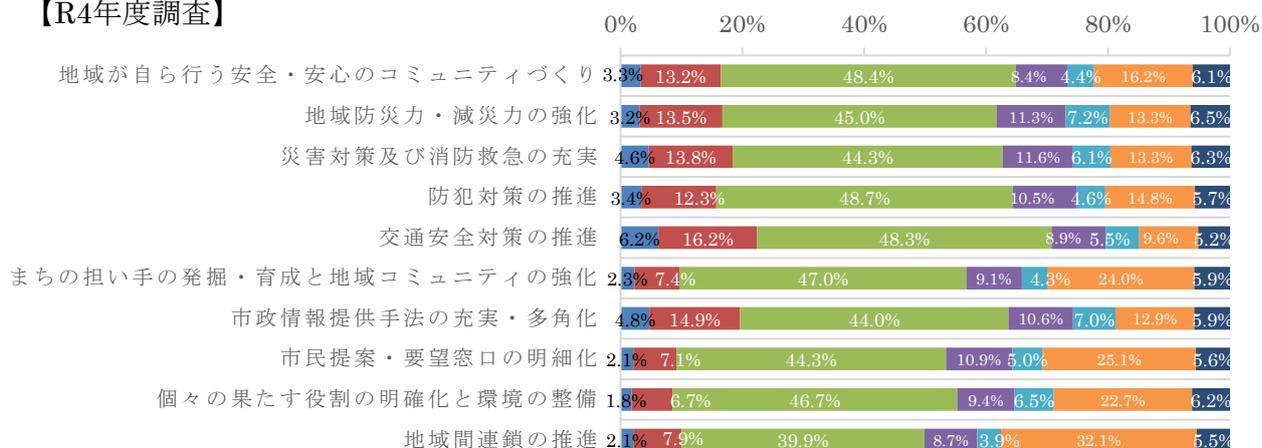
生活・環境分野において、全ての施策で前回（R4 調査）より満足度が向上している。「持続可能な公共交通の整備と利用」以外の全ての施策で10ポイント以上の改善となっている。「持続可能な公共交通の整備と利用」についても、A I デマンド交通やデマンドタクシーの実証運行開始等の影響により満足度に改善の兆しが見えることから、令和8年度から市内全域を網羅するA I デマンド交通やデマンドタクシーの稼働により、今後の満足度の向上が期待できる。満足度の最も高い施策は、「ごみの適正な処理と減量化」（42.9%）であるが、市としては、ごみの再資源化・減量化は今後更に促進していくべき施策であるとの認識している一方で、市民の4割超が現状に満足しているとの結果となった。行政と市民の認識がマッチしていない状況にあり、ごみの再資源化・減量化を更に推進することの必要性について周知を図る必要がある。

重要度については、「ごみの適正な処理と減量化」（79.1%）、「快適な住環境の整備」（73.7%）、「持続可能な公共交通の整備と利用」（73.5%）、「自然資源の保全・活用」（73.1%）、「環境保全意識の醸成」（71.4%）については70%以上の市民が重要であると考えている。これらと比較し、「愛着・誇りを持てる景観の整備と保全」（60.6%）、「ゼロカーボンシティの推進と再生可能エネルギーの普及」（63.4%）については重要度が低いとの結果となった。

(5) 安全・安心、コミュニティ分野【満足度】



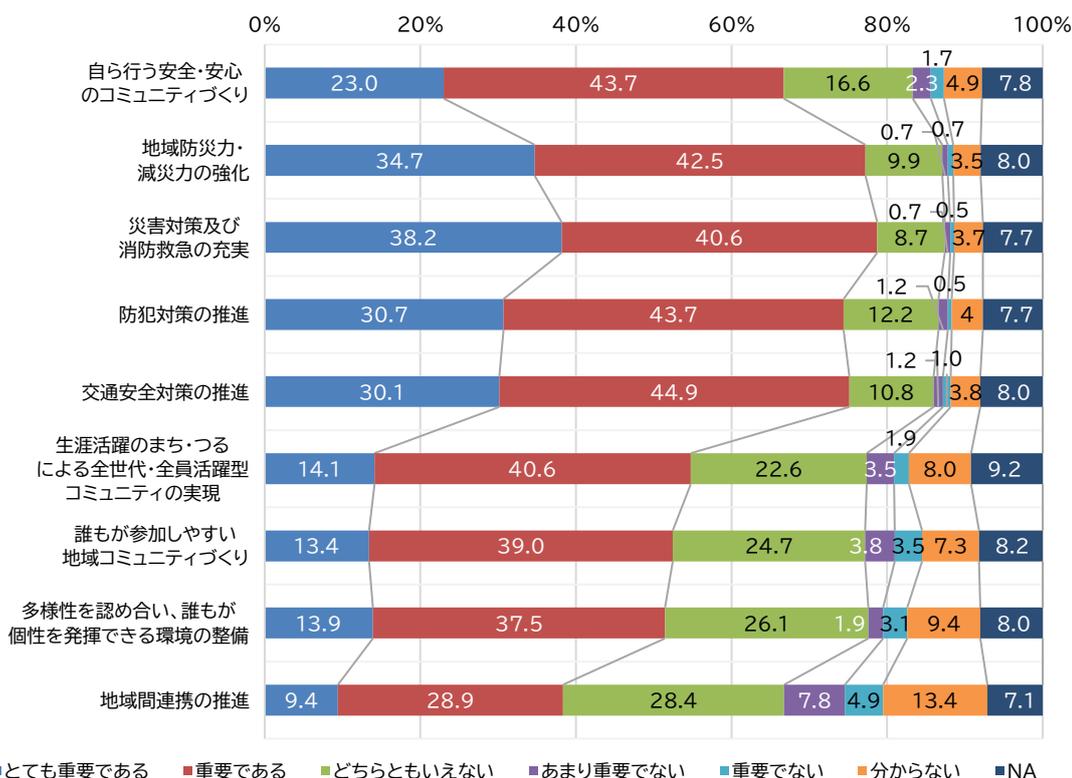
【R4年度調査】



■調査値（とても満足している+満足している）の比較

施策	今回調査値	前回調査値	比較
自ら行う安全・安心のコミュニティづくり	30.0	16.5	+13.5
地域防災力・減災力の強化	31.9	16.7	+15.2
災害対策及び消防救急の充実	35.4	18.4	+17.0
防犯対策の推進	26.2	15.7	+10.5
交通安全対策の推進	38.8	22.4	+16.4
生涯活躍のまち・つるによる全世代・全員活躍型コミュニティの実現	22.5	—	—
誰もが参加しやすい地域コミュニティづくり	23.9	—	—
多様性を認め合い、誰もが個性を發揮できる環境の整備	21.6	—	—
地域間連携の推進	20.1	8.5	+11.6

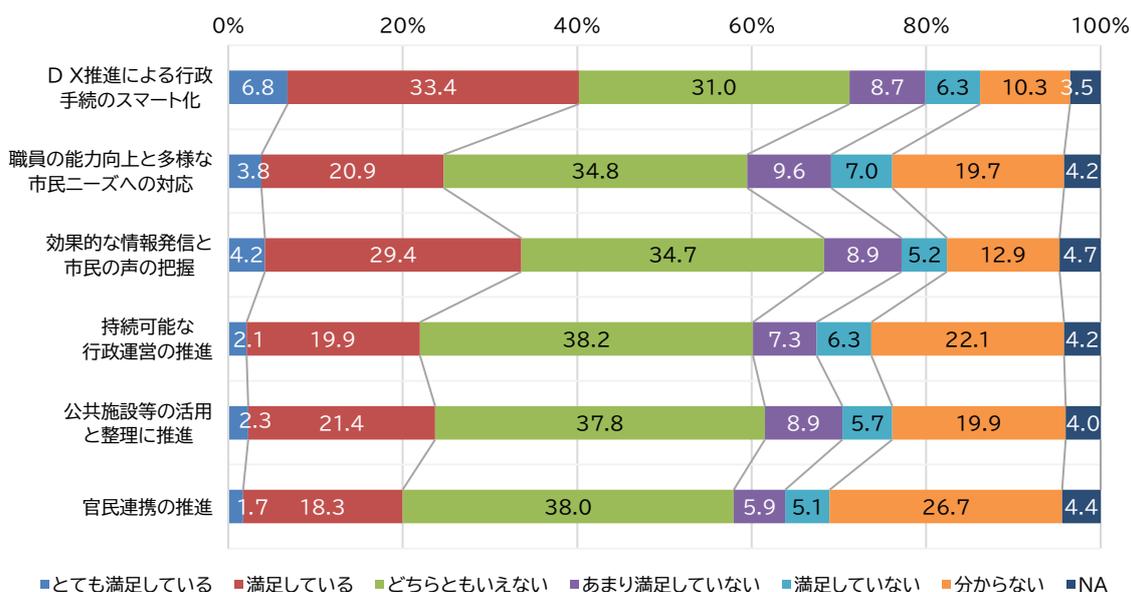
安全・安心、コミュニティ分野【重要度】



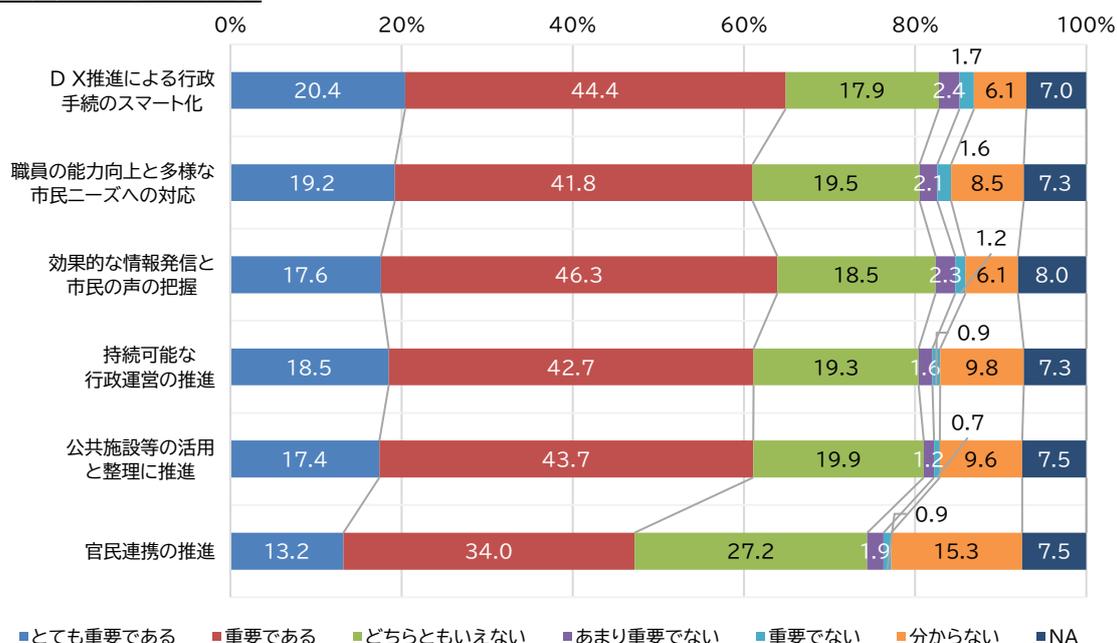
安全・安心、コミュニティ分野において、全ての施策で前回（R4 調査）より満足度が10ポイント以上、向上している（「生涯活躍のまち・つるによる全世代・全員活躍型コミュニティの実現」「誰もが参加しやすい地域コミュニティづくり」「多様性を認め合い、誰もが個性を發揮できる環境の整備」については後期基本計画時の施策を変更したため皆増）。満足度が最も高かった施策は、「交通安全対策の推進」（38.8%）である。これは本市が推し進める「セーフコミュニティ」の取り組みによる交通安全活動の結果によるものと考えている。

重要度については、「災害対策及び消防救急の充実」（78.8%）、「地域防災力・減災力の強化」（77.2%）、「交通安全対策の推進」（75.0%）、「防犯対策の推進」（74.4%）については70%以上の市民が重要であると考えている一方、「地域間連携の推進」（38.3%）については重要であると考えている市民は少なかった。当該分野は、安全・安心に関する施策については重要度が高いと考える市民が多く、コミュニティに関する施策については安全・安心に関する施策と比較すると重要と考える市民は少ないとの結果となった。

(6) 行財政分野【満足度】



行財政分野【重要度】



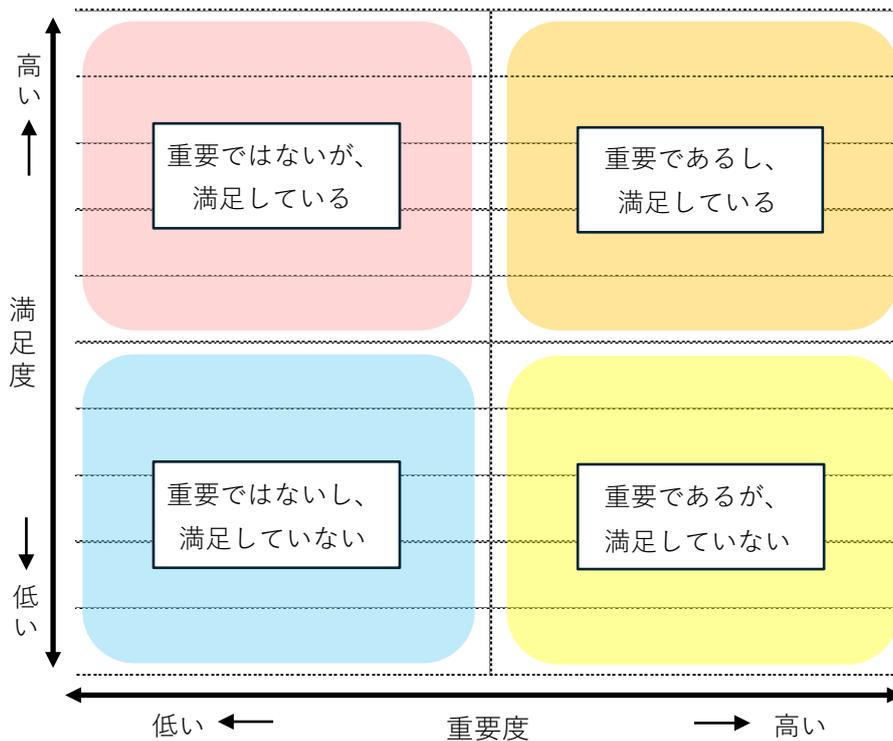
行財政分野については施策が異なることから、前回調査（R4）との比較は困難である。満足度については「DX 推進による行政手続きのスマート化」（40.2%）が最も大きい結果となった。この要因としては、コンビニ等における証明書等自動交付サービスや「都留市公式 LINE」を入口とした体育施設のオンライン予約などの開始であると考えている。次いで「効果的な情報発信と市民の声の把握」（33.6%）であるが、広報つるはもとより最近ではSNS等を活用した積極的な情報発信を行っていること、市内全地区で行うふれあい集会での意見聴取などが満足度を引き上げる要因であったと考えている。

重要度については「官民連携の推進」（47.2%）以外の全ての施策で60%以上の市民が重要であると回答している。官民連携の推進については満足度、重要度の質問項目とも「分からない」の選択肢が多く、周知が不足していることが低い要因の可能性がある。

満足度と重要度のマトリクス（ポートフォリオ分析）

問 11 で施策の満足度と重要度をたずねた結果をマップ化しました。満足度と重要度の兼ね合いにより、こういった分野へのニーズが高いかを可視化したものとなっています。

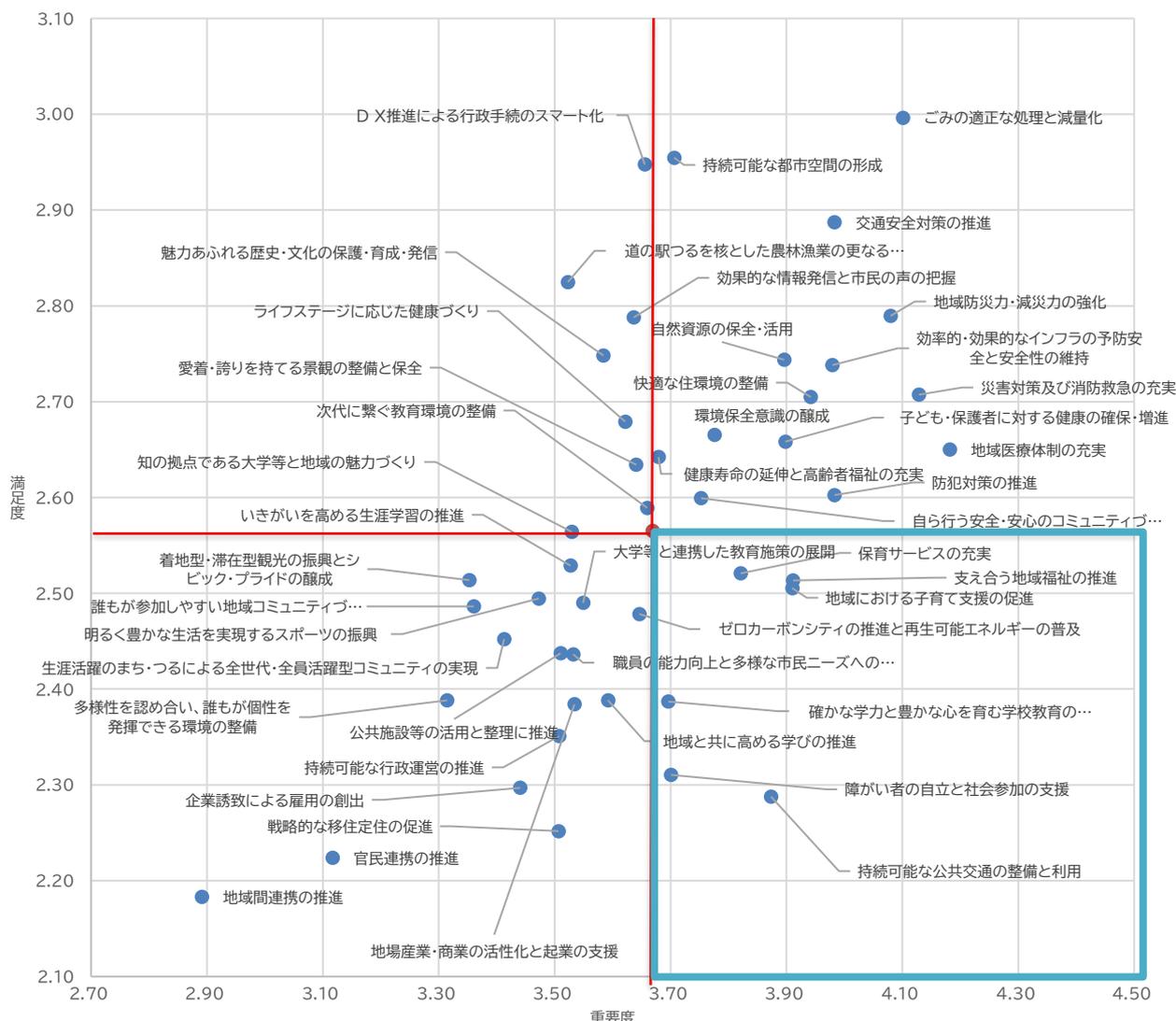
■参考図



このマップでは、下記の構成となっています。

左上：重要度低・満足度高 右上：重要度高・満足度高
 左下：重要度低・満足度低 右下：重要度高・満足度低

満足度と重要度のマトリクス（ポートフォリオ分析）【結果】



重要度高、満足度低のエリア（青枠内）では、福祉・子育て・健康分野の「地域における子育て支援の促進」「保育サービスの充実」「支え合う地域福祉の推進」「障がい者の自立と社会参加の支援」、教育分野の「確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進」、生活・環境分野の「持続可能な公共交通の整備と利用」が入っている。

前回調査（R4）時点において「重要度高、満足度低」エリアで特に対処が必要であった施策は「公共交通」「地域医療体制の充実」「効率的・効果的なインフラの維持保全」「移住促進と定住支援」であるが、「地域医療体制の充実」「効率的・効果的なインフラの維持保全」は満足度が向上し、「重要度高、満足度高」のエリアへ移行した。「移住促進と定住支援」については、重要度が低下し「重要度低、満足度低」のエリアへ移行、「公共交通」については前回と同様「重要度高、満足度低」のままであった。「公共交通」については、個別の分析項目にも記載したが、令和8年度から市内全域を網羅するA I デマンド交通やデマンドタクシーが稼働するため、満足度の向上が期待できる。

総論として、市民が認識する重要度の高い施策の多くが、満足度が高いとの結果となっている。今後は重要度が高いが満足度の低い施策の充実を図る必要がある。

【重要度低、満足度高の施策】

- ・道の駅つるを核とした農林漁業の更なる振興
- ・ライフステージに応じた健康づくり
- ・次代に繋ぐ教育環境の整備
- ・魅力あふれる歴史・文化の保護・育成・発信
- ・愛着・誇りを持てる景観の整備と保全
- ・DX推進による行政手続のスマート化
- ・効果的な情報発信と市民の声の把握

【重要度高、満足度高の施策】

- ・効率的・効果的なインフラの予防安全と安全性の維持
- ・持続可能な都市空間の形成
- ・子ども・保護者に対する健康の確保・増進
- ・健康寿命の延伸と高齢者福祉の充実
- ・地域医療体制の充実
- ・環境保全意識の醸成
- ・ごみの適正な処理と減量化
- ・自然資源の保全・活用
- ・快適な住環境の整備
- ・自ら行う安全・安心のコミュニティづくり
- ・地域防災力・減災力の強化
- ・災害対策及び消防救急の充実
- ・防犯対策の推進
- ・交通安全対策の推進

【重要度低、満足度低の施策】

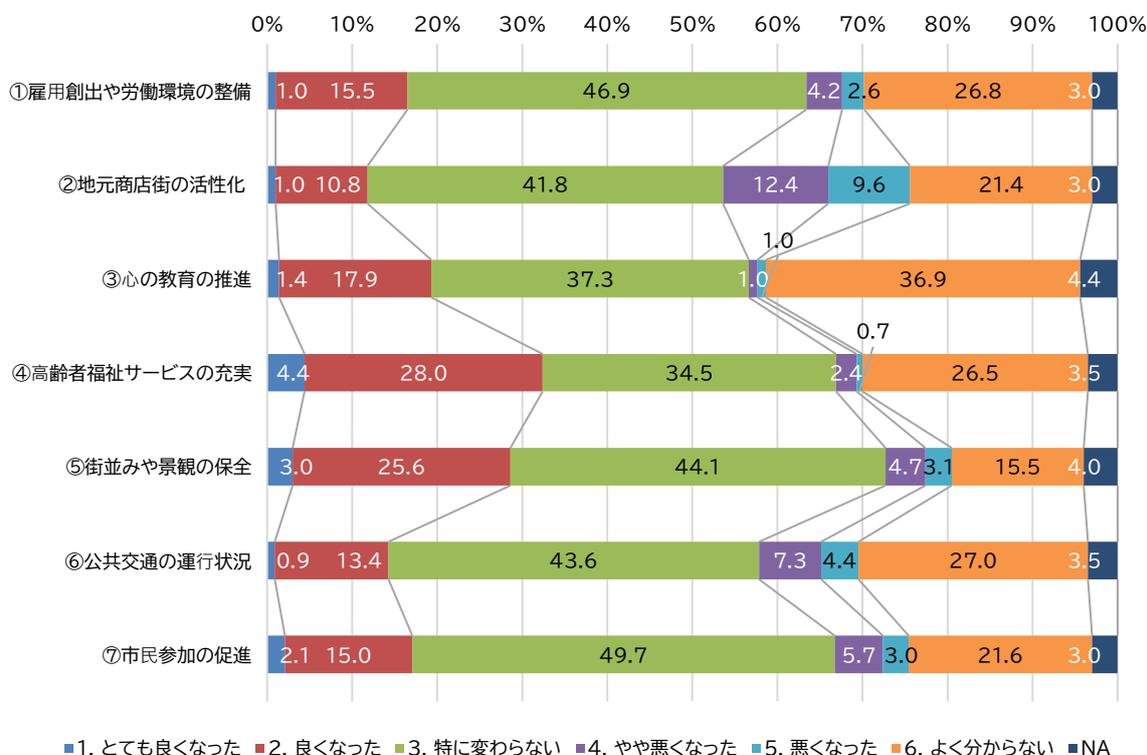
- ・企業誘致による雇用の創出
- ・着地型・滞在型観光の振興とシビック・プライドの醸成
- ・地場産業・商業の活性化と起業の支援
- ・戦略的な移住定住の促進
- ・大学等と連携した教育施策の展開
- ・知の拠点である大学等と地域の魅力づくり
- ・地域と共に高める学びの推進
- ・いきがいを高める生涯学習の推進
- ・明るく豊かな生活を実現するスポーツの振興
- ・ゼロカーボンシティの推進と再生可能エネルギーの普及
- ・生涯活躍のまち・つるによる全世代・全員活躍型コミュニティの実現
- ・誰もが参加しやすい地域コミュニティづくり
- ・多様性を認め合い、誰もが個性を發揮できる環境の整備
- ・地域間連携の推進
- ・職員の能力向上と多様な市民ニーズへの対応
- ・持続可能な行政運営の推進
- ・公共施設等の活用と整理に推進
- ・官民連携の推進

【重要度高、満足度低の施策】

- ・地域における子育て支援の促進
- ・保育サービスの充実
- ・支え合う地域福祉の推進
- ・障がい者の自立と社会参加の支援
- ・確かな学力と豊かな心を育む学校教育の推進
- ・持続可能な公共交通の整備と利用

■【都留市の今のまちの様子】について

問 12. 平成 26 年度に実施したまちづくりに関する市民アンケート調査において重要度は高いが満足度が低いとの結果となった項目である以下の 7 項目についての評価を回答してください。

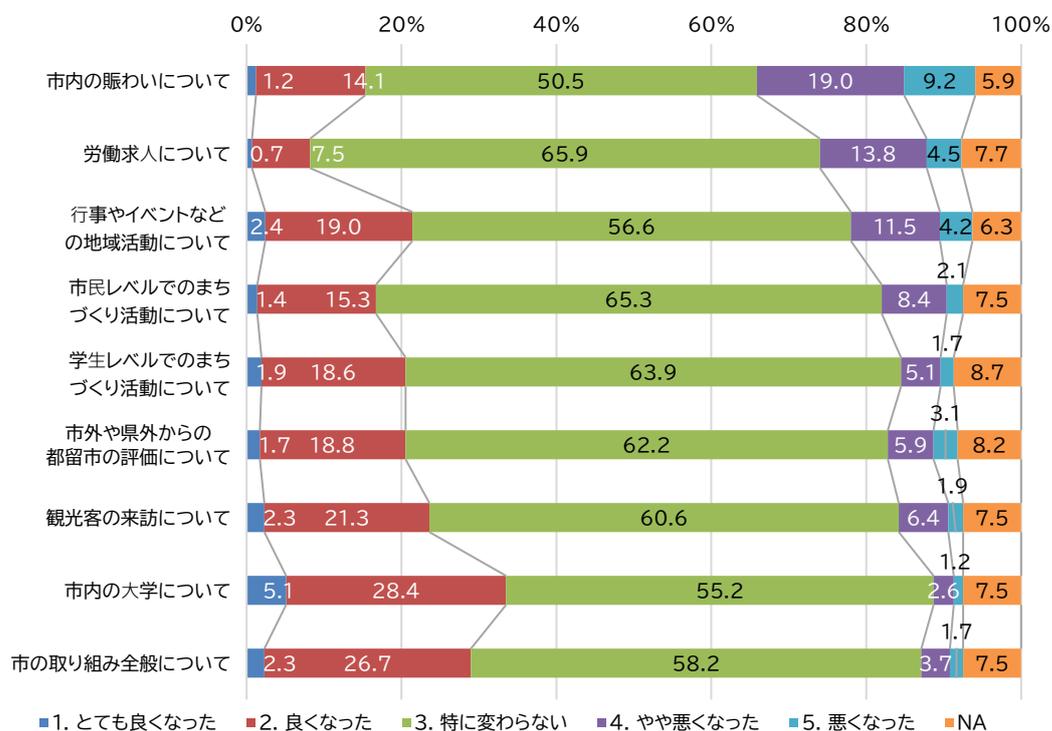


全ての項目において、「特に変わらない」の回答が最も多かった。10年前と比較し「悪くなった」（とても良くなった＋良くなった＋やや悪くなった＋悪くなった）となった項目は、「地元商店街の活性化」だけとなっています。また、最も改善がなされた項目は、「高齢者福祉サービスの充実」、次いで「街並みや景観の保全」となっています。

問 13. 10年前である平成27年頃と比べ、都留市のまちについてどう感じているか。

【全体集計】

n=574



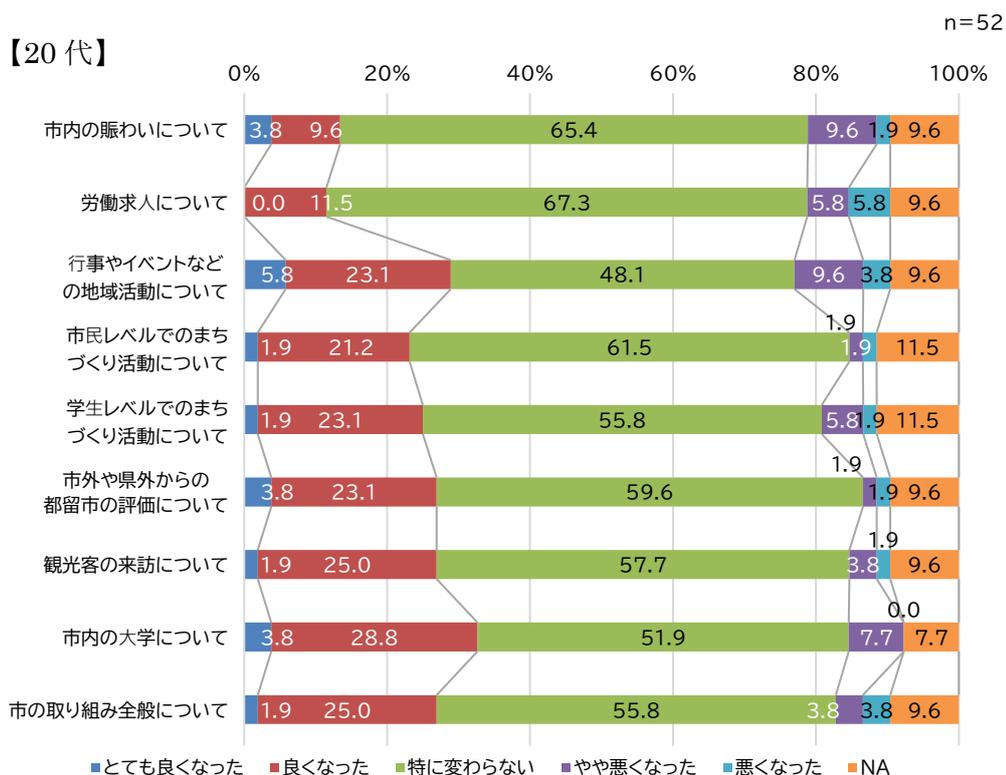
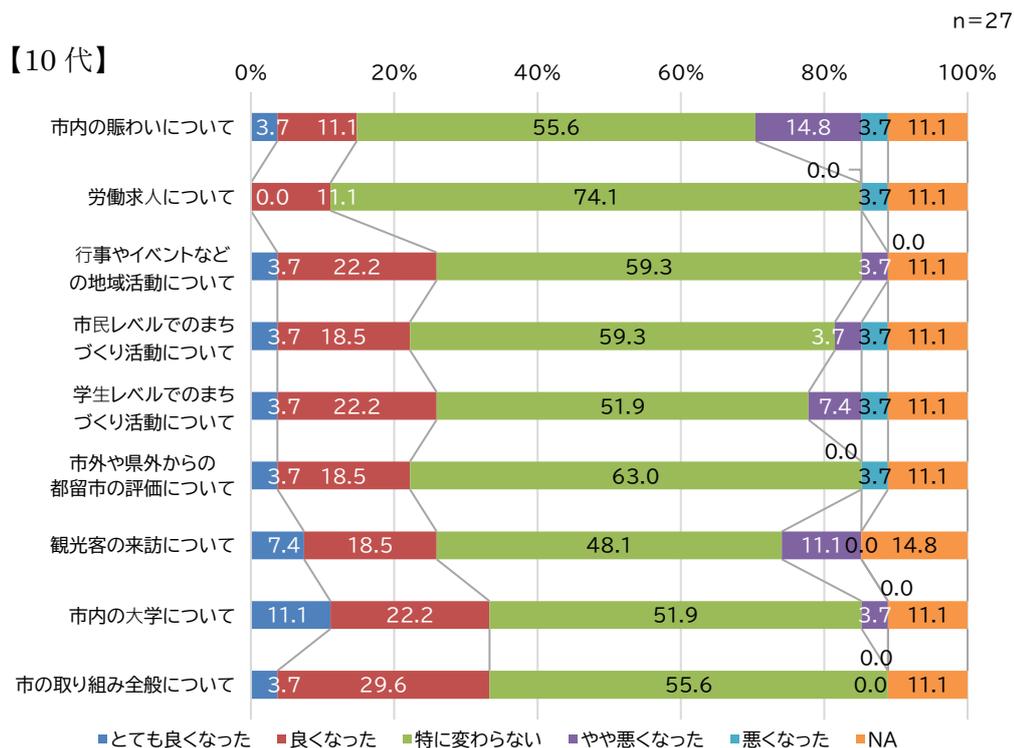
10年前と比較し、「良くなった」（とても良くなった＋良くなった＞やや悪くなった＋悪くなった）項目は、全9項目中7項目であり、「行事やイベントなどの地域活動について（21.4%）」「市民レベルでのまちづくり活動について（16.7%）」「学生レベルでのまちづくり活動について（20.5%）」「市外や県外からの都留市の評価について（20.5%）」「観光客の来訪について（23.6%）」「市内の大学について（33.5%）」「市の取り組み全般について（29.0%）」であった。最も「良くなった」項目は「市内の大学について」であり、次いで「市の取り組み全般について」であった。

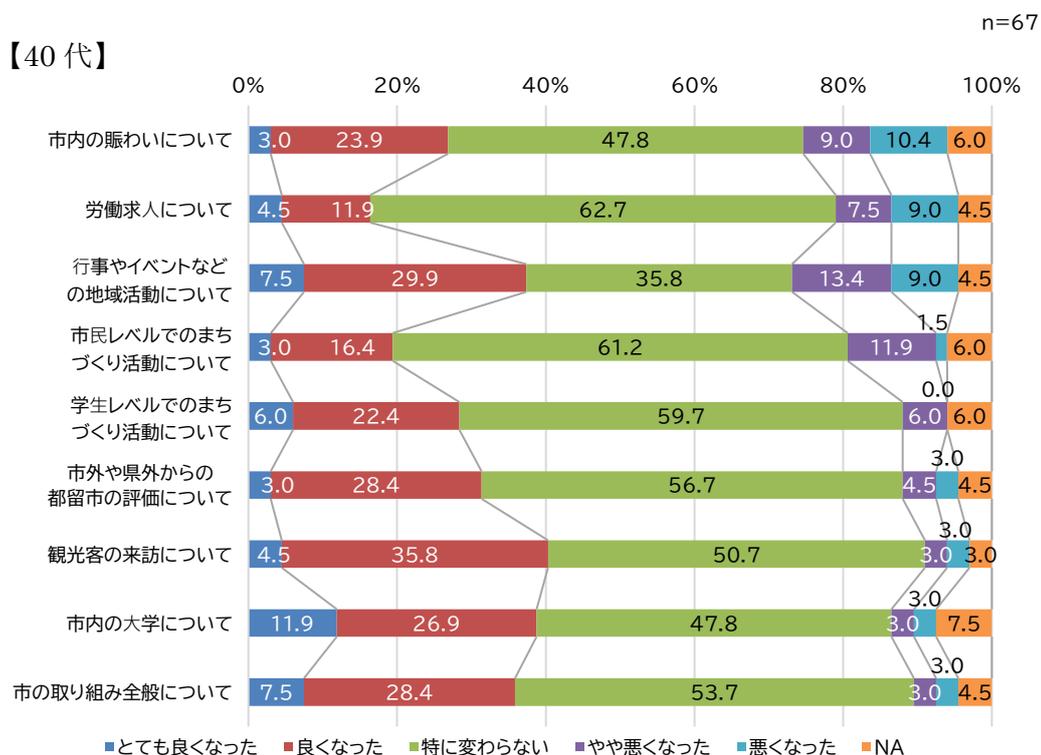
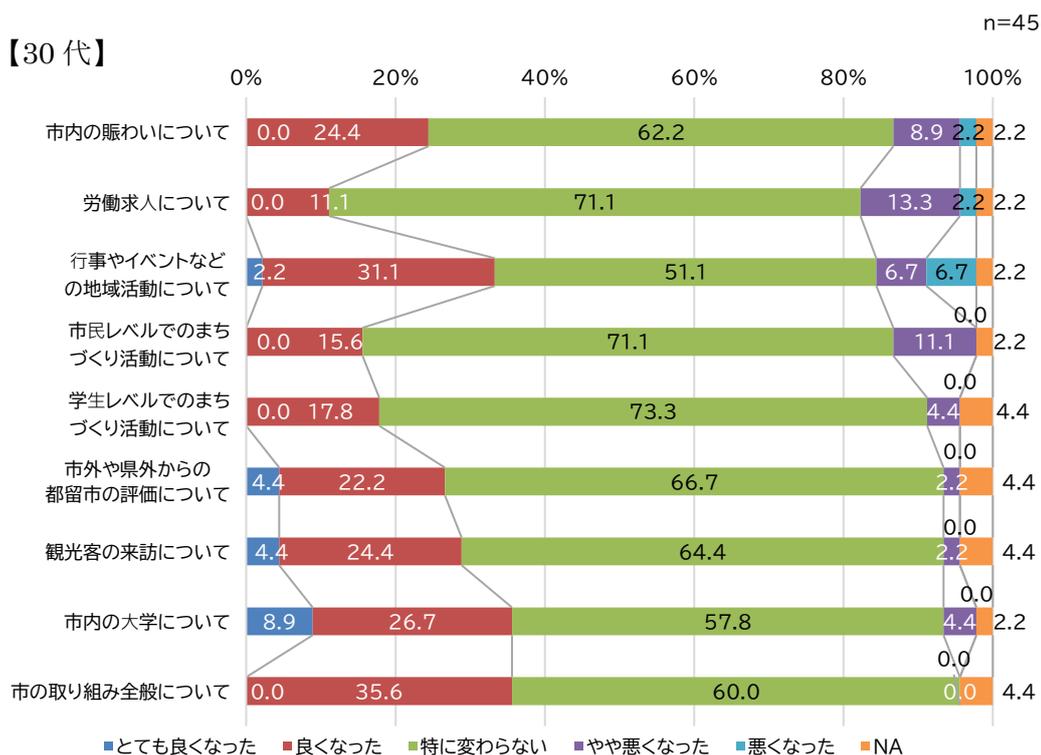
「市内の大学について」良くなったと回答した理由には、都留文科大学のTHMCやフィールド・ミュージアムの開館などの積極的な投資による魅力の向上、市民向けの公開講座の実施、また健康科学大学の誘致などが挙げられている。「市の取り組み全般について」良くなったと回答した理由は、30代、40代の子育て世代からは、つるビーパーク・いこっこの完成が良くなった理由として多く20代からは来庁せずとも手続きが行えるようになった点を良くなった理由に挙げている。

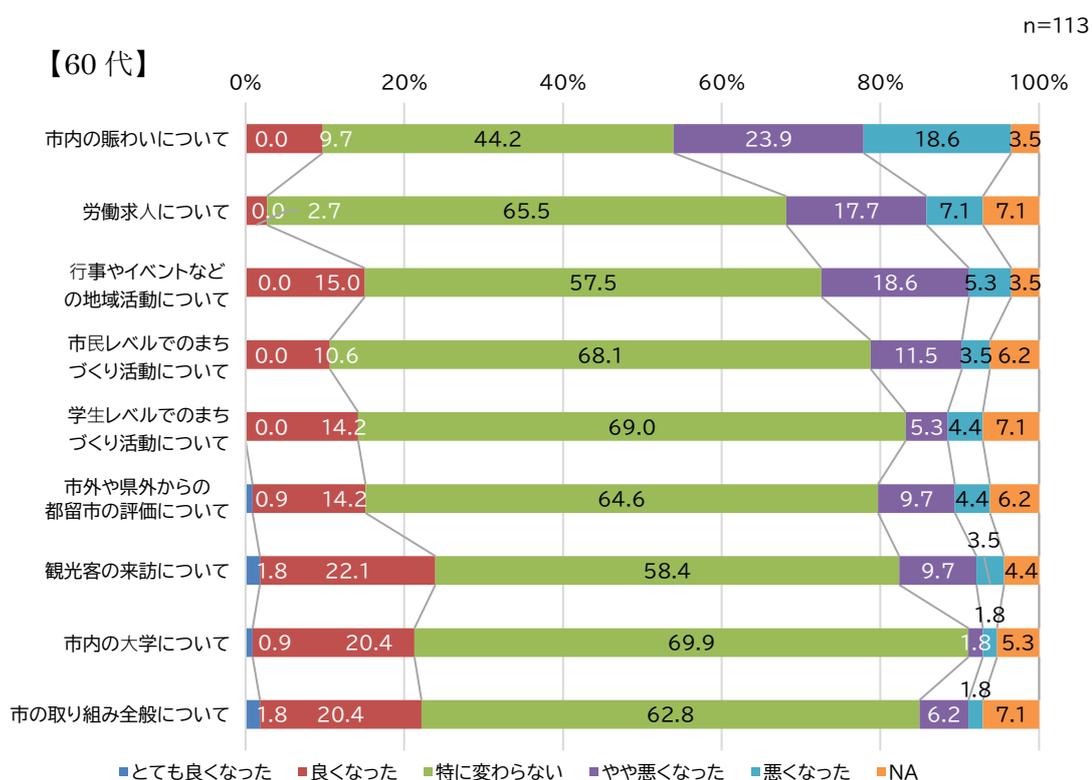
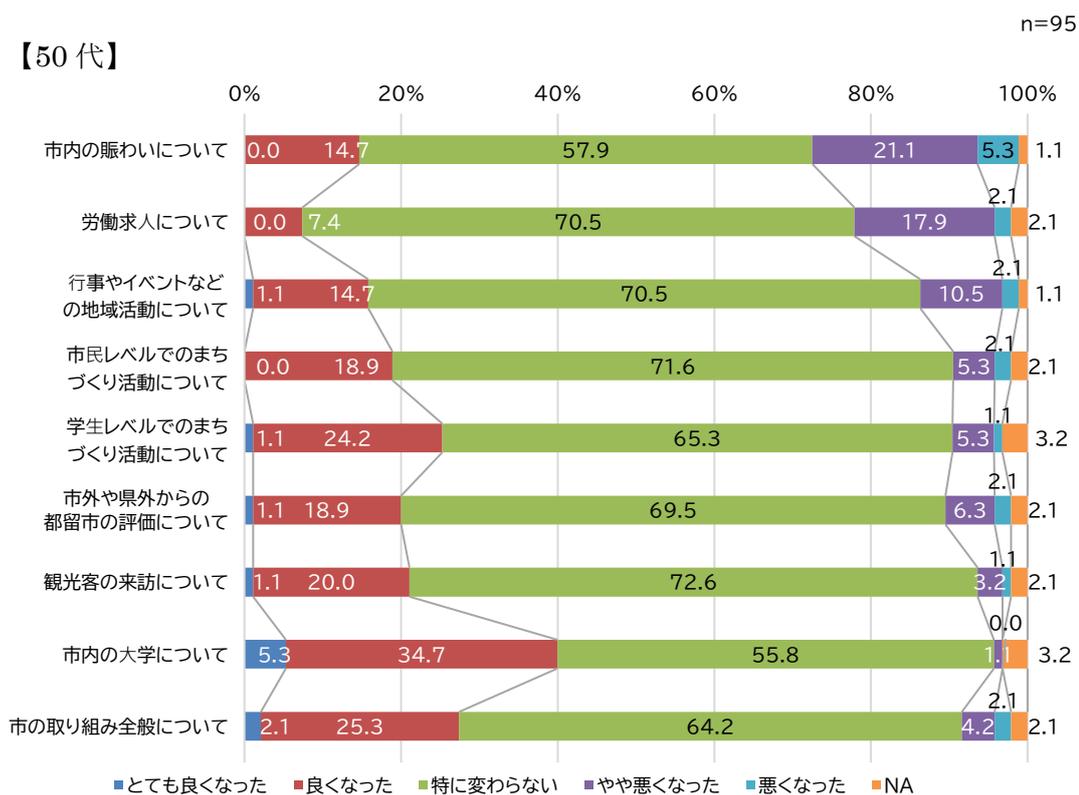
10年前と比較し、「悪くなった」（とても良くなった＋良くなった＜やや悪くなった＋悪くなった）項目は、全9項目中2項目であり、「市内の賑わいについて（28.2%）」と「労働求人について（18.3%）」であった。

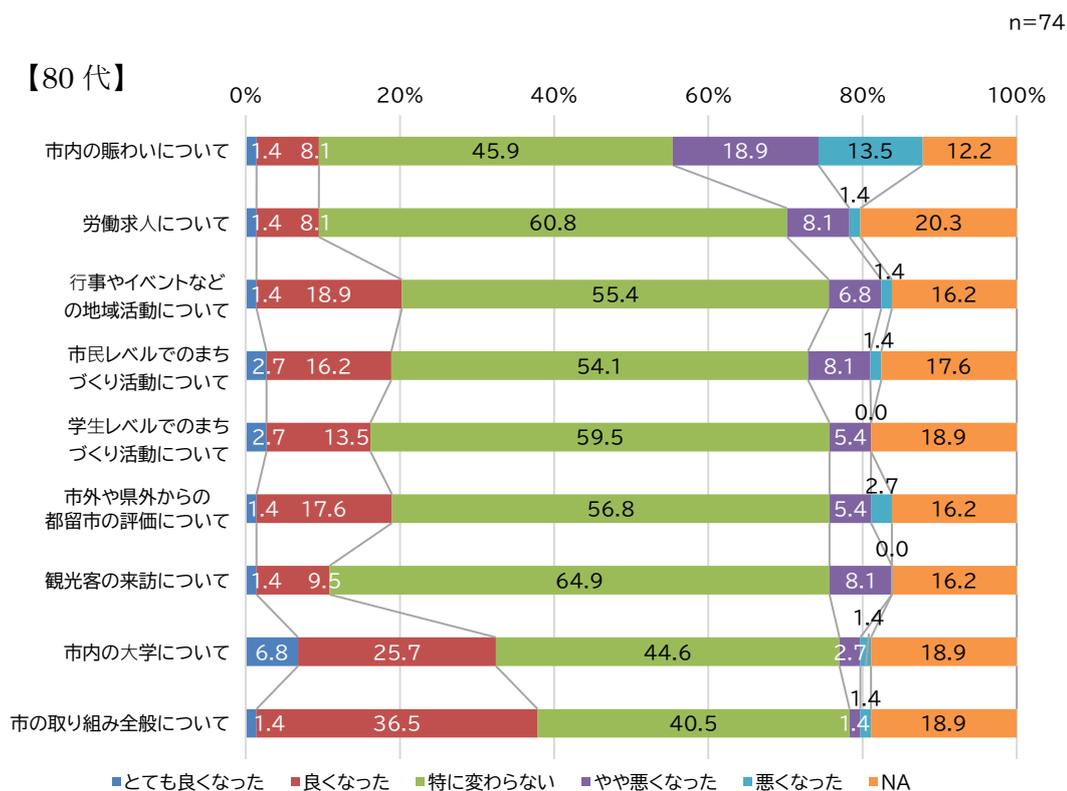
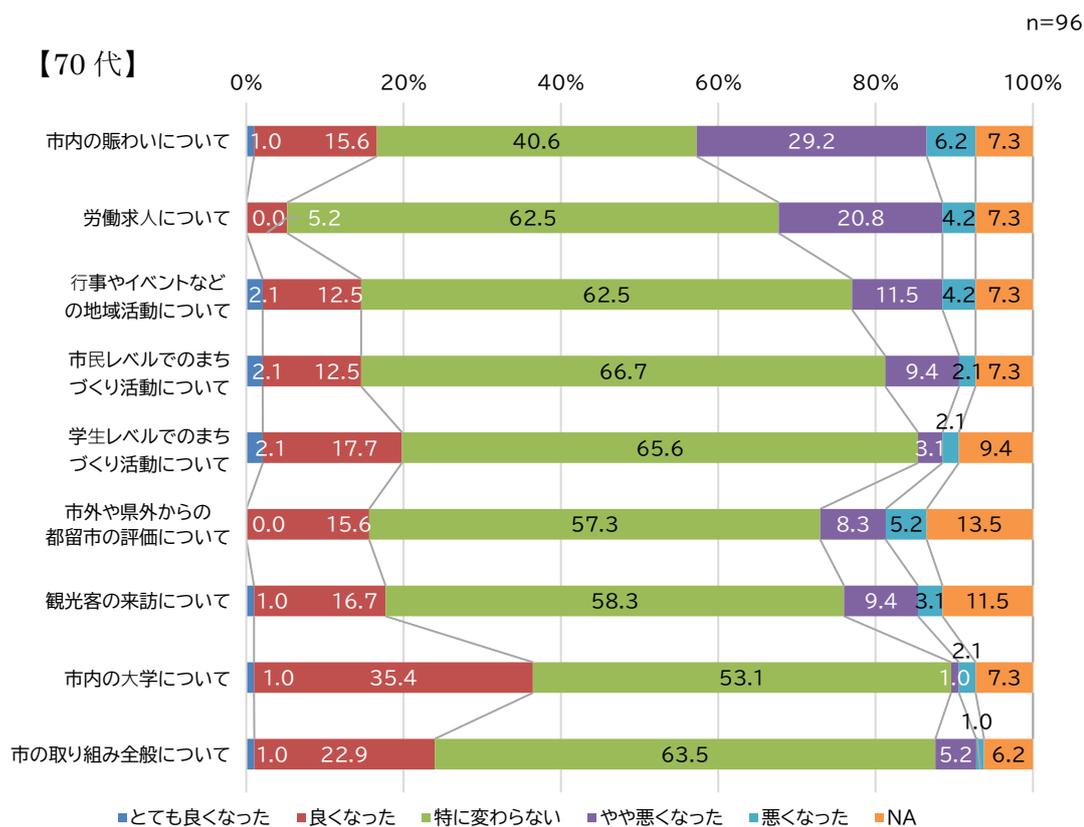
「市内の賑わいについて」悪くなったと回答した理由は、都留文科大学周辺は賑わっているがその他の地域は店が無くなり、活気が失われていること、空き家の増加、少子化、またコロナの影響により商店の廃業、地域のお祭りなどの規模が縮小されたことを理由に挙げている。「労働求人について」悪くなったと回答した理由は、若者が働きたくなるような魅力的な職が市内にないこと、市内企業の絶対数が増えていないことを悪くなった理由に挙げている。

【年齢によるクロス集計結果】









【年齢によるクロス集計結果（まとめ）】

「良」は、とても良くなった＋良くなったと回答した割合の合計値

「悪」は、やや悪くなった＋悪くなったと回答した割合の合計値

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代	
	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪
市内の賑わいについて	14.8	18.5	13.4	11.5	24.4	11.1	26.9	19.4	14.7	26.4	9.7	42.5	16.6	35.4	9.5	32.4
労働求人について	11.1	3.7	11.5	11.6	11.1	15.5	16.4	16.5	7.4	20.0	2.7	24.8	5.2	25.0	9.5	9.5
行事やイベントなどの地域活動について	25.9	3.7	28.9	13.4	33.3	13.4	37.4	22.4	15.8	12.6	15.0	23.9	14.6	15.7	20.3	8.2
市民レベルでのまちづくり活動について	22.2	7.4	23.1	3.8	15.6	11.1	19.4	13.4	18.9	7.4	10.6	15.0	14.6	11.5	18.9	9.5
学生レベルでのまちづくり活動について	25.9	11.1	25.0	7.7	17.8	4.4	28.4	6.0	25.3	6.4	14.2	9.7	19.8	5.2	16.2	5.4
市外や県外からの都留市の評価について	22.2	3.7	26.9	3.8	26.6	2.2	31.4	7.5	20.0	8.4	15.1	14.1	15.6	13.5	19.0	8.1
観光客の来訪について	25.9	14.8	26.9	5.7	28.8	2.2	40.3	6.0	21.1	4.3	23.9	13.2	17.7	12.5	10.9	8.1
市内の大学について	33.3	3.7	32.6	7.7	35.6	4.4	38.8	6.0	40.0	1.1	21.3	3.6	36.4	3.1	32.5	4.1
市の取り組み全般について	33.3	0.0	26.9	7.6	35.6	0.0	35.9	6.0	27.4	6.3	22.2	8.0	23.9	6.2	37.9	2.8

「市内の賑わいについて」は、10代と50代以上は悪くなったと回答した市民の割合が良くなったと回答した市民の割合を超えている。50代以上の悪くなったと回答した割合は特に顕著であり、60代は42.5%の市民が悪くなったと回答している。一方、30代、40代の市民は約25%前後の市民は良くなったと回答している。

「労働求人について」は、20代から70代までは悪くなったと回答した市民の割合が良くなったと回答した市民の割合を超えている。10代、80代は就労との関係性が乏しいため、ほぼ全年代を通して労働求人については悪くなったと感じているとの結果となった。

「行事やイベントなどの地域活動について」は、60代と70代は悪くなったと回答した市民の割合が良くなったと回答した市民の割合を超えているが、40代以下は良くなったと回答した市民の割合が各年代25%以上となっている。

「市民レベルでのまちづくり活動について」は、60代は悪くなったと回答した市民の割合が良くなったと回答した市民の割合を超えているが、その他の年代は良くなったと回答した市民の割合が多くなっている。

「学生レベルでのまちづくり活動について」は、全ての年代で良くなったと回答した市民の割合が悪くなったと回答した市民の割合を超えている。

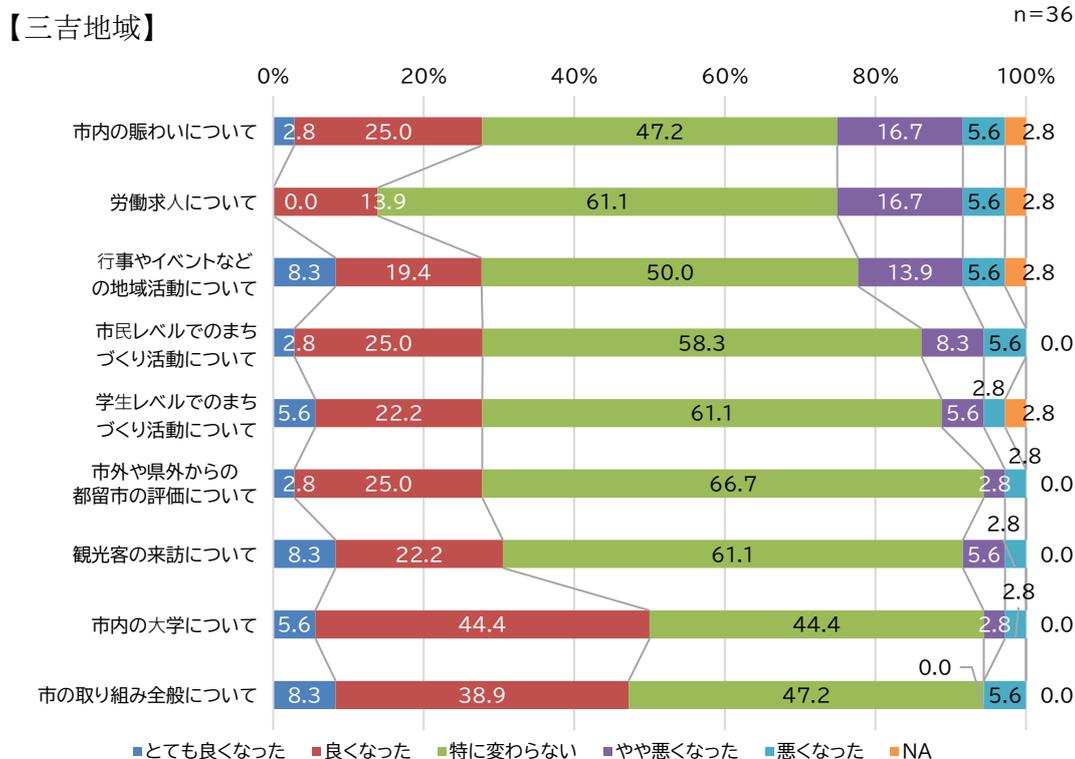
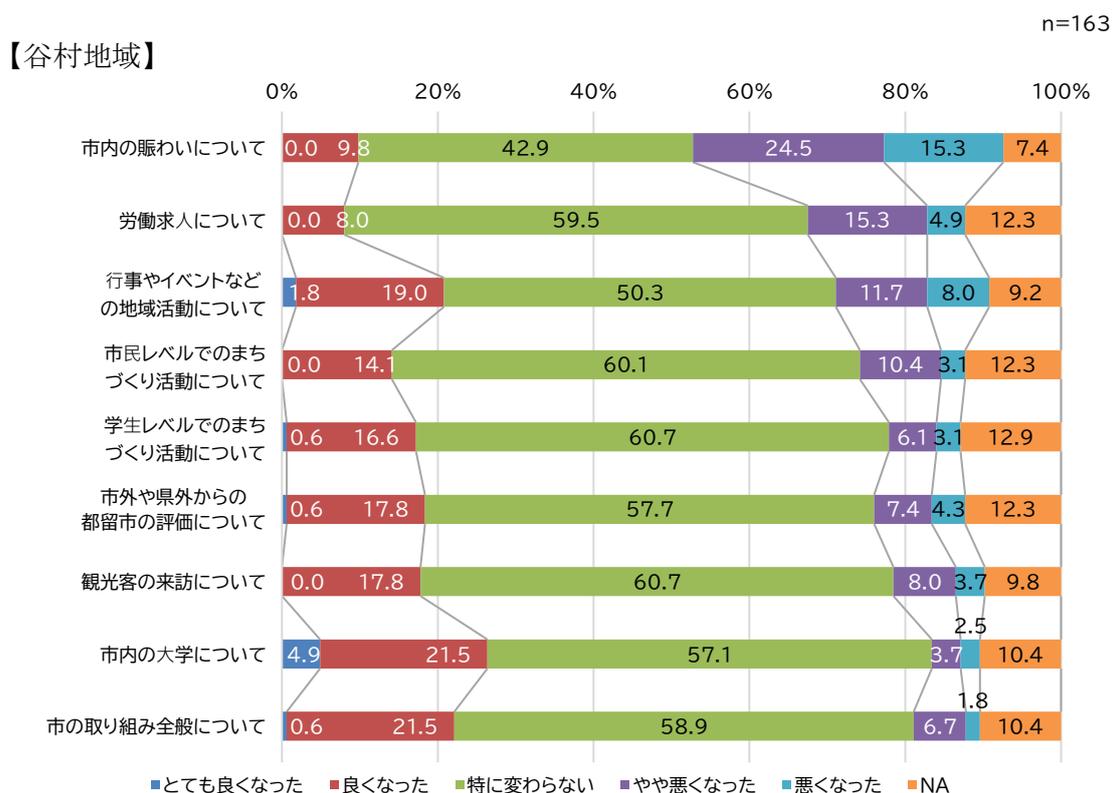
「市外や県外からの都留市の評価について」は、全ての年代で良くなったと回答した市民の割合が悪くなったと回答した市民の割合を超えている。50代以下は良くなったと回答した市民の割合が各年代20%以上となっており、40代は3割を超えている。

「観光客の来訪について」は、全ての年代で良くなったと回答した市民の割合が悪くなったと回答した市民の割合を超えている。40代は4割を超える市民が良くなったと回答している。

「市内の大学について」は、全ての年代で良くなったと回答した市民の割合が悪くなったと回答した市民の割合を大幅に上回っており、年代による差異は見られなかった。

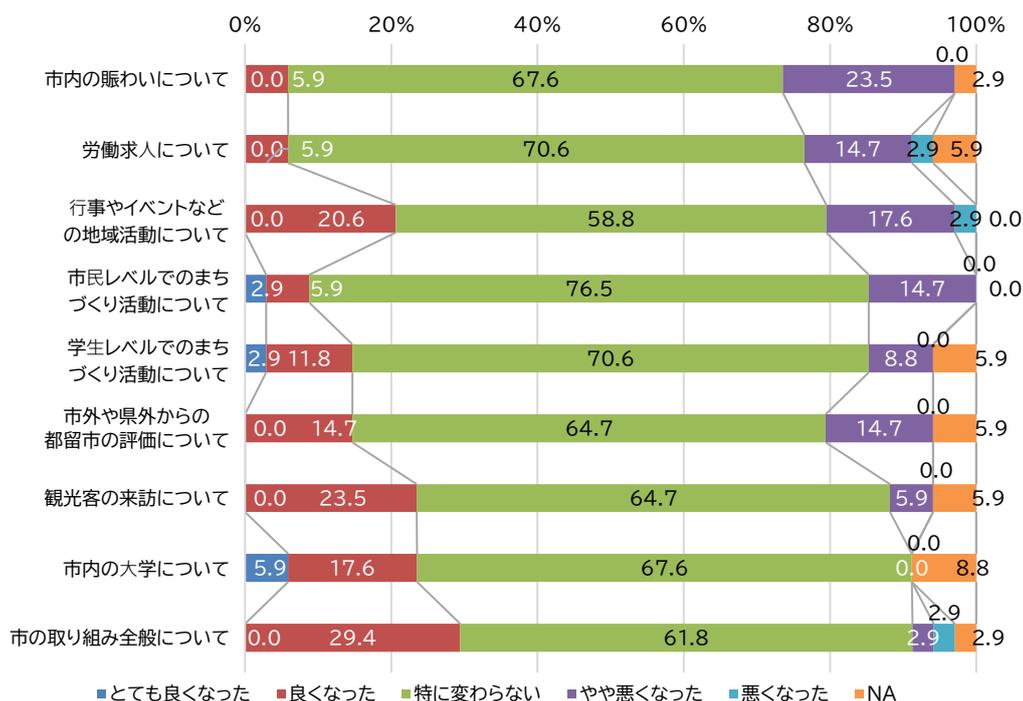
「市の取り組み全般について」は、全ての年代で良くなったと回答した市民の割合が悪くなったと回答した市民の割合を大幅に上回っており、年代による差異は見られなかった。

【居住地区によるクロス集計結果】



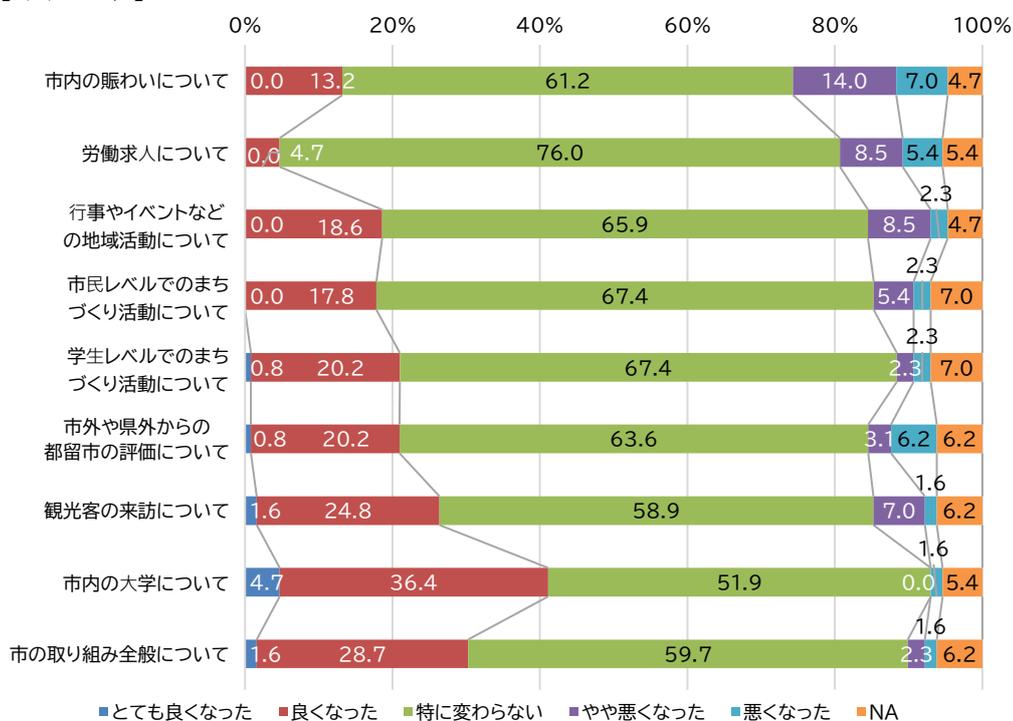
【開地地域】

n=34



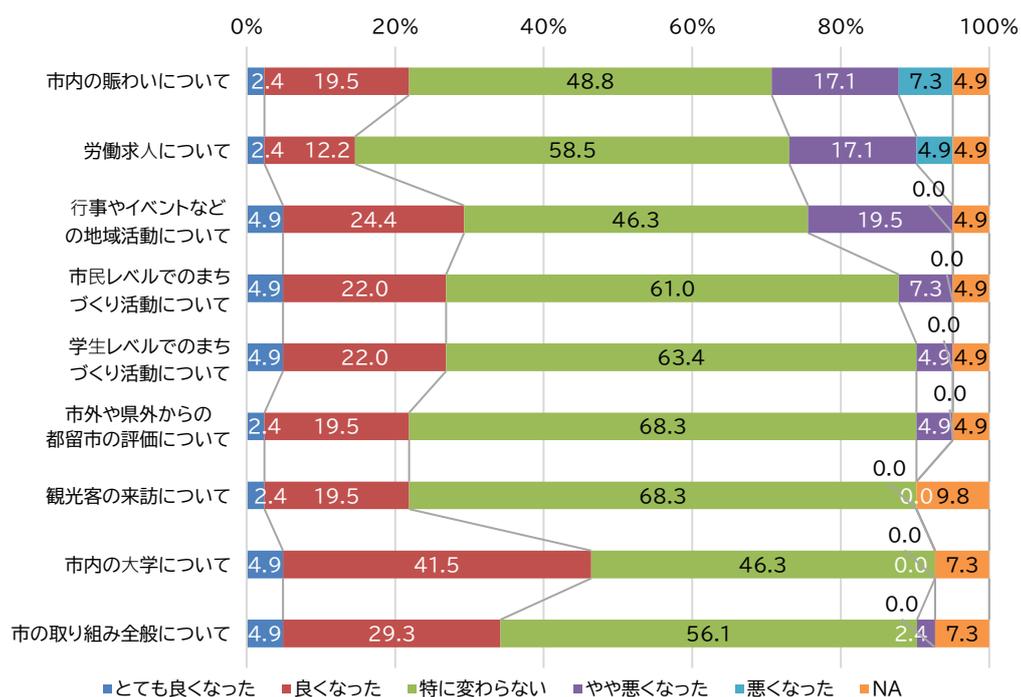
【東桂地域】

n=129



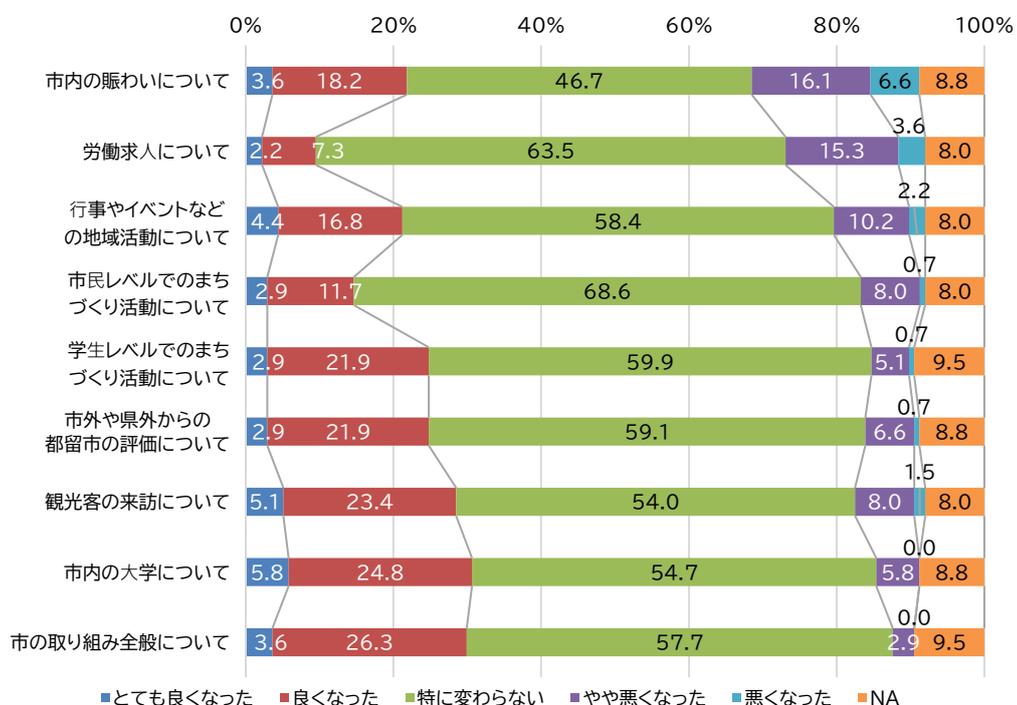
【宝地域】

n=41



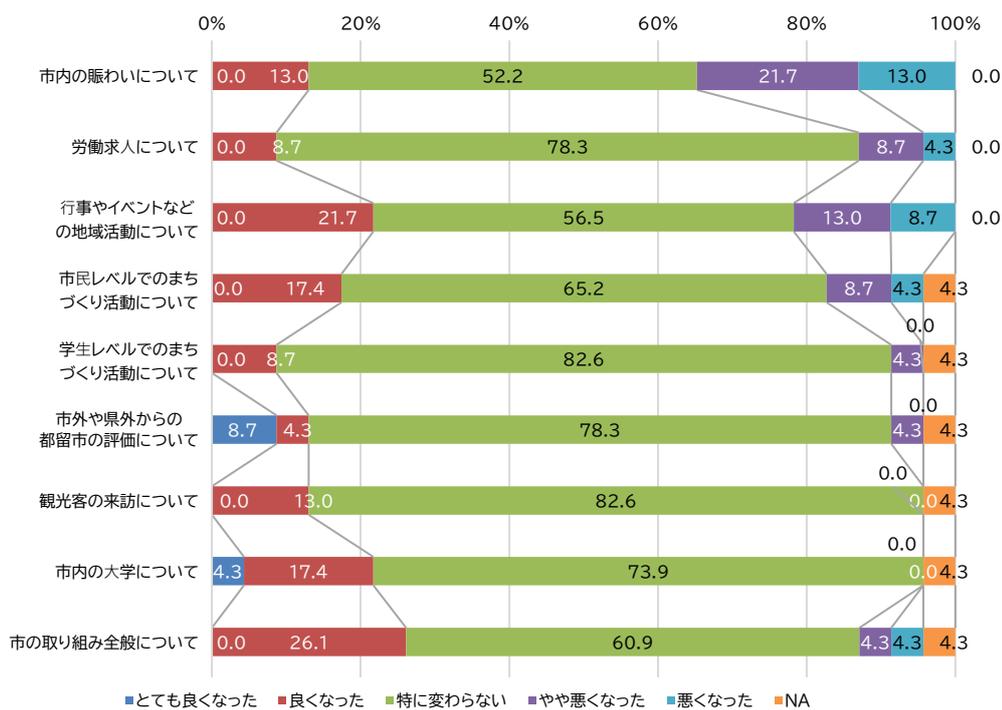
【禾生地域】

n=137



【盛里地域】

n=23



【居住地によるクロス集計結果（まとめ）】

「良」は、とても良くなった＋良くなったと回答した割合の合計値

「悪」は、やや悪くなった＋悪くなったと回答した割合の合計値

	谷村地域		三吉地域		開地地域		東桂地域		宝地域		禾生地域		盛里地域	
	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪	良	悪
市内の賑わいについて	9.8	39.8	27.8	22.3	5.9	23.5	13.2	21.0	21.9	24.4	21.8	22.7	13.0	34.7
労働求人について	8.0	20.2	13.9	22.3	5.9	17.6	4.7	13.9	14.6	22.0	9.5	18.9	8.7	13.0
行事やイベントなどの地域活動について	20.8	19.7	27.7	19.5	20.6	20.5	18.6	10.8	29.3	19.5	21.2	12.4	21.7	21.7
市民レベルでのまちづくり活動について	14.1	13.5	27.8	13.9	8.8	14.7	17.8	7.7	26.9	7.3	14.6	8.7	17.4	13.0
学生レベルでのまちづくり活動について	17.2	9.2	27.8	8.4	14.7	8.8	21.0	4.6	26.9	4.9	24.8	5.8	8.7	4.3
市外や県外からの都留市の評価について	18.4	11.7	27.8	5.6	14.7	14.7	21.0	9.3	21.9	4.9	24.8	7.3	13.0	4.3
観光客の来訪について	17.8	11.7	30.5	8.4	23.5	5.9	26.4	8.6	21.9	0.0	28.5	9.5	13.0	0.0
市内の大学について	26.4	6.2	50.0	5.6	23.5	0.0	41.1	1.6	46.4	0.0	30.6	5.8	21.7	0.0
市の取り組み全般について	22.1	8.5	47.2	5.6	29.4	5.8	30.3	3.9	34.2	2.4	29.9	2.9	26.1	8.6

「市内の賑わいについて」は、三吉地域以外の全ての地域で悪くなったと回答した割合が良くなったと回答した割合を上回っている。谷村地域は特に顕著であり、39.8%が悪くなったと回答している。

「労働求人について」は、全地域で悪くなったと回答した割合が良くなったと回答した割合を上回っている。地域による差異は見られない。

「行事やイベントなどの地域活動について」は、全地域で良くなったと回答した割合が悪くなったと回答した割合を上回っている。三吉地域、宝地域は約3割の市民が良くなったと回答している。

「市民レベルでのまちづくり活動について」は、開地地域以外の全ての地域で良くなったと回答した割合が悪くなったと回答した割合を上回っている。三吉地域、宝地域は約3割の市民が良くなったと回答している。

「学生レベルでのまちづくり活動について」は、全地域で良くなったと回答した割合が悪くなったと回答した割合を上回っている。三吉地域、宝地域は約3割の市民が良くなったと回答している。

「市外や県外からの都留市の評価について」は、全地域で良くなったと回答した割合が悪くなったと回答した割合を上回っている。三吉地域は約3割の市民が良くなったと回答している。

「観光客の来訪について」は、全地域で良くなったと回答した割合が悪くなったと回答した割合を上回っている。三吉地域、東桂地域、禾生地域は約3割の市民が良くなったと回答している。

「市内の大学について」は、全ての年代で良くなったと回答した市民の割合が悪くなったと回答した市民の割合を大幅に上回っている。特に三吉地域、宝地域は約5割の市民が良くなったと回答している。

「市の取り組み全般について」は、全ての年代で良くなったと回答した市民の割合が悪くなったと回答した市民の割合を大幅に上回っている。特に三吉地域は約5割の市民が良くなったと回答している。

■問 13 の理由について

①市内の賑わいについて

【良い意見】

- ・居住者が増えた（男性、10代）
- ・つるビーパークやニコット、道の駅、より道の湯などができたため（女性、20代）
- ・田原交流センターができ、周辺が賑わってきたため（男性、30代）
- ・マルシェが行われたり公園ができたりしたため（男性、30代）
- ・ニコットやつるビーパーク・いこっとの開所に伴い、マルシェ等のイベントが増えたように感じている（男性、30代）
- ・10年前時点でも、周辺の市（大月市等）に比べると賑わいを感じていたから（男性、30代）
- ・オギノができたため（男性、30代）
- ・田原の滝などに観光客が来たり、大学が複数あることで若者が増えたりしているため（女性、30代）
- ・ニコットやつるビーパーク・いこっつが整備されたから（男性、40代）
- ・季節のイベント、マルシェなど大小問わず以前に比べて盛んになり、SNS などにより情報も得やすくなった。県外からの参加者、出展者も多く見られ、活性化したことがよくわかる（女性、40代）
- ・ニコットの公園は見渡しやすいことから、子どもを安全に遊ばせることができる。室内のトイレがあることや、コンビニ等も近いため安心である。小さい子どもと移動するのは大変なので、買い物などもすぐ近くで済ませることができ、訪れやすいと思う。公園の高齢者用の器具は使用されているのをほとんど見たことがなく、子どもが遊ぶ遊具のほうが好きだったので良くなった（女性、40代）
- ・都留文科大学周辺が整備され、お店も増え、賑やかになってきた（女性、40代）
- ・商業施設が増えた（男性、50代）
- ・近隣他市と比べ人口減少も緩やかであり、学生の居住もあり活気がある（男性、50代）
- ・新しい施設ができたため。今後の運用に期待している（男性、50代）
- ・コミュニティセンターの建替えなど（男性、50代）
- ・ニコットや公園に行く人を見かけることが多くなった（女性、50代）
- ・カインズホームなど近隣市町村からも買い物に来ている人が多いと聞いた（女性、50代）
- ・マルシェの開催が増えている（男性、60代）
- ・公正屋田野倉店、オギノ、カインズ、道の駅つる、寄り道の湯などができたことで賑わいが増えた（不明）

【悪い意見】

- ・少子化（女性、10代）
- ・人全然歩いてない（女性、10代）
- ・変化を感じない（男性、20代）
- ・コロナ禍もあり、市民同士のつながりが希薄になったと感じる（女性、20代）
- ・人口が少なくなり、高齢化した（男性、30代）

- ・ 少子化の進展（男性、30代）
- ・ コロナ以降、国全体の不景気の影響が大きい（女性、30代）
- ・ 近所で空き家が増えているため（女性、30代）
- ・ 人も減り、店も減った（男性、40代）
- ・ 経済停滞（男性、40代）
- ・ 具体的な誘致企業などが見えてこない（男性、40代）
- ・ 人が少なくなってきた（女性、40代）
- ・ 夜の飲食店の閉店時間が早い。且つ、来店も少なそうである（女性、40代）
- ・ 高尾町に人がいない（男性、50代）
- ・ 子供の数が減っている（男性、50代）
- ・ 特に国道沿いの使われていない民家が多いので（男性、50代）
- ・ 規模に関係なく、店舗が減った（男性、50代）
- ・ 市役所職員の質の低下（男性、50代）
- ・ 変化を感じない（男性、50代）
- ・ 日曜休業だらけの商店街では役に立たない（男性、50代）
- ・ 商店街の衰退、高齢化による廃業の増加（女性、50代）
- ・ コロナ禍の影響により町の活気が感じられない（女性、50代）
- ・ 谷村地域の街中は変わらない。シャッター商店街の印象が良くない。（女性、50代）
- ・ 空き家が増加している（男性、60代）
- ・ 都留文科大学周辺のみ集中している（男性、60代）
- ・ 飲食店が減少しているため（男性、60代）
- ・ 都留文科大学の辺りは学生がいるので、賑わっているかもしれないが、多くの店がなくなり、活気がないように思う（女性、60代）
- ・ 子どもが少なくなると地域のお祭りに賑わいがなくなる（女性、60代）
- ・ 空き家と老人ばかりになっていっている（女性、60代）
- ・ メイン通りに空き家が増えている（男性、70代）
- ・ 人口減少（男性、70代）
- ・ 大型店が多くなった（女性、70代）
- ・ 空地が増えたような気がする（女性、80代以上）
- ・ 人口減少 商店の減少（女性、80代以上）
- ・ 全く変わっていない（女性、80代以上）
- ・ コロナの流行（女性、80代以上）

②労働求人について

【良い意見】

- ・カインズができたこと（女性、40代）
- ・働ける場所が増えた（女性、70代）
- ・仕事が多くなった（女性、80代以上）

【中庸の意見】

- ・よく求人への張り紙などを見る（男性、10代）
- ・都留市に来てから大きな差は感じない（男性、30代）
- ・労働情報を見ないため、わからない（女性、40代）
- ・企業側の立場では人材確保が難しくなっており、これは裏返しとして求人側には有利になっていると考えられるため（無回答、40代）

【悪い意見】

- ・若者が働きたくなくなるような魅力的な職がない。自身も市外に出て働いている（男性、20代）
- ・外国人多すぎ（男性、20代）
- ・高齢になり仕事を辞めていく人が多い。また、新しいお店ができてはいるがバイトの求人ばかりである（女性、20代）
- ・求人数が少なくなった（男性、30代）
- ・似たような業種でしか求人が出ていないように思える（女性、30代）
- ・倒産や中小零細企業の体力減少（女性、30代）
- ・人手不足だと聞かすが、求人への応募自体が少ないと感じている（女性、30代）
- ・そもそも会社が少ない（男性、40代）
- ・働かせない改革のせい（男性、40代）
- ・働き手不足（男性、40代）
- ・カインズなど大人数の企業が増えたことで、細かなシフトに対応できない企業への就職希望が減った（女性、40代）
- ・産業の空洞化（男性、50代）
- ・誘致しても地元雇用が少ない（男性、50代）
- ・コロナ後で下落（男性、50代）
- ・企業が増えているように思えない（男性、50代）
- ・介護福祉士の資格を持っていない外国人が処遇改善を貰えて私達は貰えないっておかしい（女性、50代）
- ・介護ヘルパーなど人員不足と聞いた。外国人労働力が都留市にもいることに驚いた（女性、50代）
- ・新卒者の雇用が少ないため、労働人口の流出が顕著（男性、60代）
- ・賃金の企業格差が広がり、大企業及び都会に流出（男性、70代）
- ・人口の減少（女性、80代以上）

③行事やイベントなどの地域活動について

【良い意見】

- ・マルシェやにこっとなどがあるから（女性、20代）
- ・10年前の時点でもよいと思っていたから（男性、30代）
- ・都留文科大学エリアに賑わいが出た（女性、30代）
- ・ニコットやつるビーパークでのイベントが盛り上がるので、参加するのが楽しみです（女性、30代）
- ・子供が参加できるイベントが増えたと感じる（女性、40代）
- ・マルシェなど、八朔祭以外で人が集まることがなかったので良いと思う（女性、40代）
- ・地域イベントの開催による交流活動が盛んである（男性、50代）
- ・八朔祭りの宣伝など、以前より盛り上がっていると思います。道の駅つるのイベントも色々あっていいと思います（女性、60代）

【中庸の意見】

- ・広報つるを見る限り、色んなイベントが実施されている（参加したことはない）（無回答、40代）
- ・フリンジマーケットを復活してほしい（女性、50代）

【悪い意見】

- ・イベントに参加してない（男性、10代）
- ・八朔祭も年々規模が小さくなり街の衰退がその規模に現れている（男性、20代）
- ・高齢化が進み過ぎていることから参加する人が減っている（男性、20代）
- ・コロナ禍で一度縮小されたことにより、現在も元に戻っていないように感じるため（女性、20代）
- ・高齢化の影響（男性、30代）
- ・子どものイベントが少ない（男性、30代）
- ・子どもが参加できるイベントを自治体もしくは市レベルでやるべき（男性、30代）
- ・人が減っているため、参加を強制される行事が増えた（男性、40代）
- ・少子高齢化の進行（男性、40代）
- ・コロナ禍以降に行事はかなり減り、そのまま変化していない（男性、40代）
- ・コロナによる学校や地域自治会活動の変化（女性、40代）
- ・屋台巡行を実施しているが、町の参加者の年齢が上がっていつていることもあり、今後の継続に懸念を感じることもある（女性、40代）
- ・すべてにおいて手前味噌感がある（男性、50代）
- ・コロナ禍において、活動がなくなり、その後は復活しつつあるが、活動が縮小しているため（男性、50代）
- ・若年層、中年層の減少（男性、50代）
- ・コロナ禍をきっかけにイベント活動などが減少（女性、50代）
- ・行事は、そんなに必要ない（女性、50代）

- ・運動会など参加者が減っていると思う（女性、50代）
- ・参加する人としらない人に分かれるのは変わらないから（女性、50代）
- ・特に行事が増えたという印象がない（男性、60代）
- ・関係者の自己満足の様と感じ、参加する気にならない（男性、60代）
- ・県外へのアピールがまだ足りない（男性、60代）
- ・コロナ以降悪くなった（女性、60代）
- ・自治会レベルの行事において、近所付き合いの希薄、人口の減少により同じ形での行事参加は難しくなっており考え方をアップデートする必要がある（女性、60代）
- ・コロナ後イベントが減り、元に戻っていない（女性、60代）
- ・景気悪化（男性、70代）
- ・行事等が少ない（女性、70代）

④市民レベルでのまちづくり活動について

【良い意見】

- ・居住者が増えた（男性、10代）
- ・10年前の時点でもよいと思っていたから。（男性、30代）
- ・市民がそれぞれでイベントやサークルを立ち上げられる様になったと思う（女性、40代）
- ・高齢者の居場所「いーばしょ」が増えているため（女性、50代）
- ・身近な人たちが起業して頑張っているので、良くなっている印象（女性、50代）
- ・マルシェや各種教室の開催が多いように感じる（男性、60代）

【中庸の意見】

- ・具体的に何をしているのか知らないため回答できない（女性、40代）
- ・市民レベルでのまちづくり活動に参加したことがないため不明（無回答、40代）
- ・自治会に入っていないので、詳細は不明（男性、60代）

【悪い意見】

- ・若者が少ない（男性、20代）
- ・知らないだけかもしれないが、自治会やまちづくりの担い手が少なくなっているような気がするから（女性、20代）
- ・除草が追いついていない箇所が多いため。昔は老人クラブの人がやってくれていたそうですが、その世代の方も今は働きに出ていて、全世代でなかなか地域の活動に参加しにくくなっていると感じます（女性、30代）
- ・近隣住民との関係性が希薄化する中、継続していくことに無理を感じている（女性、30代）
- ・よく言えば市民参加、悪く言えば自治会への丸投げ（男性、40代）
- ・コロナによる学校や地域自治活動の変化（女性、40代）
- ・本人の意向を重視し、多様性を尊重する風潮から、惰性で実施している点もあると感じている（女性、40代）
- ・変化を感じ取れない（男性、50代）

- ・市民レベルが偏っている感じがする（男性、50代）
- ・身体の不調など高齢化等の影響で活動に参加できない者がいるため（男性、50代）
- ・人口減少（男性、50代）
- ・外国人居住で住環境悪化・住民高齢化（男性、60代）
- ・コロナ以降悪くなった（女性、60代）
- ・高齢化が進み活動が寂しくなった（男性、70代）

⑤学生レベルでのまちづくり活動について

【良い意見】

- ・よく子どもと遊んでいる（男性、10代）
- ・谷村駅周辺でいろいろ活動しているから。直接まちづくりをしていなくても、都留市に住んでくれるだけで十分影響があると思う（女性、20代）
- ・10年前の時点でもよいと思っていたから。（男性、30代）
- ・都留文科大学の学生が喫茶店を営業していると聞き、よくなったと考えた（無回答、40代）
- ・学生が教育現場へ参加するなど、都留市でなければ出来ない活動が根付いた（男性、50代）
- ・高校生が地場産業について学び携わっていると聞いた（女性、50代）
- ・観光パンフレット等の作成（男性、60代）

【中庸の意見】

- ・身近に学生がいないので、よくわかりません（女性、30代）
- ・具体的に何をしているのか知らない為、回答できない（女性、40代）
- ・何をしているのか知らない（男性、50代）
- ・何を実施しているのか知らない（男性、60代）

【悪い意見】

- ・少子化（女性、10代）
- ・学生が市に根付いてくれるのはとてもいいことではあるが深夜に文大の通りで騒いでいるのをよく見かける。学生の質が悪い（男性、20代）
- ・変化を感じない（男性、20代）
- ・先輩から聞いた学生の取り組みがコロナ禍以降無くなっている（女性、20代）
- ・身の回りで効果を感じない（女性、30代）
- ・地域限定の活動に感じる（男性、40代）
- ・子どもが少ない（女性、40代）
- ・積極的に地域の人と関わる学生と、そうでない学生がいるが、後者の割合が増えている気がする（女性、40代）
- ・大学周辺以外では、あまり学生を見かけない（女性、50代）
- ・学生の活気がない（男性、50代）
- ・自己満足でやっているように感じる（男性、50代）
- ・学生の社会貢献する姿を目にすることがないから（男性、50代）

- ・学生減少（男性、50代）
- ・学生といってもアルバイト求人くらいしか知らない（男性、60代）

⑥市外や県外からの都留市の評価について

【良い意見】

- ・河口湖で都留市の商品を見かけた（男性、20代）
- ・公園に市外からも人が来るようになっている（男性、30代）
- ・県外出身だが、知名度は上がっているように感じる（男性、30代）
- ・都留市は昔と変わらない雰囲気であらやましいと、インバウンドで疲弊している町の人に言われたため。（女性、30代）
- ・スーパーなどが増加して、生活しやすくなった（無回答、40代）
- ・水素エネルギーの会社の誘致への取り組みが評価されている（男性、50代）
- ・近隣市と比べ頑張っていると感じている（男性、50代）
- ・県外へ出た時に都留市を知っているという声が多くなったような気がする（女性、50代）

【中庸の意見】

- ・評価を知る機会が無い（男性、50代）

【悪い意見】

- ・免許センターがあることだけがメリットと言われている（男性、20代）
- ・都留市より地元の方が好き。道が細いのと、図書館や公園、ホール、プールなどの充実度が違う（女性、20代）
- ・富士吉田市方面に来る観光客が都留市に泊まる人が多いのでそういった観光客に都留市をアピールするべき（男性、30代）
- ・相変わらず「都留市ってどこ？」と聞かれる。（女性、30代）
- ・都留市は通過する場所であり滞在する場所ではないとの評価を見る（男性、40代）
- ・富士吉田市の方が選ばれる（男性、40代）
- ・何かをしようと思うと都留市から出なければ出来ない。食品、日用品以外の買い物、病院（富士吉田、河口湖の方が充実している）夏休みのプールやスポーツなど（女性、40代）
- ・都留市民が富士吉田市へ行くことはあっても、富士吉田市民が都留に行く動機がないと言っている人が多い（女性、40代）
- ・認知度がまだまだ低い（男性、50代）
- ・特徴、利点がないからだと思います。（男性、50代）
- ・都留市を読める県外の人何人いるのか。市名を「つる市」に変えるべきだ。ユーチューブでも市長がわざわざ読み方を説明している。（男性、60代）
- ・のどかではあるが、雇用がなく、市内移動手段も少ない。消滅危惧地方自治体になっている（男性、60代）
- ・行事等の宣伝不足（男性、60代）

⑦観光客の来訪について

【良い意見】

- ・よく外国人を見かける（男性、10代）
- ・より道の湯のオープン（女性、10代）
- ・より道の湯や道の駅つるなどに県外からも多く人が来ているから（女性、20代）
- ・道の駅つるやリニア見学センターなど見どころが増えた（男性、30代）
- ・外国人観光客が増えた（男性、30代）
- ・観光バスをよく見かけるようになった（女性、30代）
- ・昔より増えたような気がする（女性、40代）
- ・リニアや道の駅つる、いこっとの公園などの施設に遊びにきている人が多いと感じています（女性、40代）
- ・ドラマのロケ地の誘致（女性、40代）
- ・道の駅つる、寄り道の湯など、観光で県外から来て楽しめる施設が増えた（無回答、40代）
- ・道の駅つるのオープン（男性、50代）
- ・グランピングや民泊など滞在する場所が増えた（女性、50代）
- ・道の駅つるの賑わい（男性、60代）
- ・道の駅つるにインバウンドが見られた（女性、60代）
- ・リニア見学センターを訪れる観光客が多い（男性、70代）
- ・リニア見学センターの存在（男性、70代）
- ・十日市場夏狩湧水群を訪れる観光客が増えたように思う、梅花藻目当てが増えた。（男性、70代）

【中庸の意見】

- ・リニア見学センターに観光客が来ているが、もう一つや二つあると良い（男性、30代）
- ・道の駅つるへの道路拡張が必要（男性、40代）

【悪い意見】

- ・結局は富士吉田・河口湖の通過点になっており観光スポットもない。（男性、20代）
- ・観光客数に変化を感じない（男性、20代）
- ・都留市というより富士急行線の中で感じるのだが、オーバーツーリズムで、この場所に住む者として不快感を覚える場面が増えたという声をよく耳にする（女性、20代）
- ・観光客は元々いない（女性、30代）
- ・地域の文化に配慮してほしい（女性、40代）
- ・観光客をよく見かけるが、滞在や消費などにはプラスになっていないと思う（女性、40代）
- ・交通ルールを守らない外国人が見られるようになった（男性、50代）
- ・特に観光名所や見所がない（男性、50代）
- ・観光客らしき人をあまり見かけない（男性、50代）
- ・キャンプ場やゴルフ場等と連携して、もっとアピールしてほしい（男性、50代）
- ・都留市は特に何もないから変わらない（女性、50代）

- ・観光したいと思えるような名所が増えていない。しいて言うのであれば、ホットスポットのロケ地くらい。(男性、60代)
- ・世界的な観光地に接しているのに活かしきれていない(観光客が素通り)(男性、60代)
- ・都留アルプス、トレイル利用者以外見かけない。何か見どころがあるのか分からない(男性、60代)
- ・観光客を見かけない(女性、60代)

⑧市内の大学について

【良い意見】

- ・校舎が新しくなったため(女性、10代)
- ・都留文科大学は綺麗になった(男性、30代)
- ・市民向け講座の開設などが良い効果をもたらしている(男性、30代)
- ・都留文科大学は、つるフィールド・ミュージアムや新校舎ができたことで魅力が高まったと感じている(女性、40代)
- ・都留文科大学は施設整備が進んでいるため(女性、40代)
- ・健康科学大学ができたため(無回答、40代)
- ・関わりがある学生が熱心に学んでいる姿を見て、希望が持てると感じたため(女性、50代)
- ・THMCをはじめとして、学生獲得のために積極的な投資をしていることは素晴らしいと思っている。自由そうな学生が増えた感じもする(男性、50代)
- ・都留文科大学6号館、つるフィールド・ミュージアムの開館はインパクトがある。これにより、都留文科大学の知名度や偏差値が上がるのではないかと(男性、60代)
- ・市民を対象とした各種教室・講座の開催(男性、60代)
- ・学生数が多くなったと感じている(女性、80代以上)
- ・健康科学大学ができたことで、市外から更に多くの学生が都留市に来ることとなった(女性、80代以上)

【中庸の意見】

- ・都留文科大学は全国から学生の集まる優秀な大学である。このステータスの維持のためには、人的支援や設備投資を計画的に継続すべきだと思う。(男性、50代)
- ・学生が夜中に騒ぐことがなくなった(女性、60代)

【悪い意見】

- ・年々学生の質が下がっている(男性、20代)
- ・カリフォルニア大学が提携していない(女性、30代)
- ・学生の質は悪い(男性、40代)
- ・教育都市ならば公平に扱うべき(男性、50代)
- ・大学の活動が伝わってこない(男性、50代)
- ・良くなったのか悪くなったのかは分からないが、無償化とは言わないが、県外の大学に行っても都留市から補助金を出してほしい(女性、50代)

- ・何の恩恵も受けない市民にとっては、どうでもよい。維持にかかわる住民税が負担（男性、60代）
- ・人間力が低下している感じ（女性、60代）

⑨市の取り組み全般について

【良い意見】

- ・市を良くするために取り組んでいる（男性、10代）
- ・市民の要望に応じているから。また、LINEやHPなどネット上で手続きがしやすくなっているから（女性、20代）
- ・田原に大きな公園ができたこと（男性、30代）
- ・企業誘致は良いと思う（男性、30代）
- ・大きな変化は感じないが、全体的にバランスが良く住みよい街だと思っている（男性、30代）
- ・色々な取組を実施していることは好ましい（女性、30代）
- ・コロナの影響が大きいですが、それを踏まえても良くなったと感じます（女性、30代）
- ・市長や職員の皆さんが、前向きに行政を進めていてくれていると感じる。いつも、ありがとうございます。（女性、40代）
- ・改善しようとする方向へ取り組まれているのがよく分かる（女性、40代）
- ・子どもが喜ぶ公園ができた（女性、60代）

【中庸の意見】

- ・何を行っているのか、知ろうとしない方も悪いが、よくわからない（男性、60代）

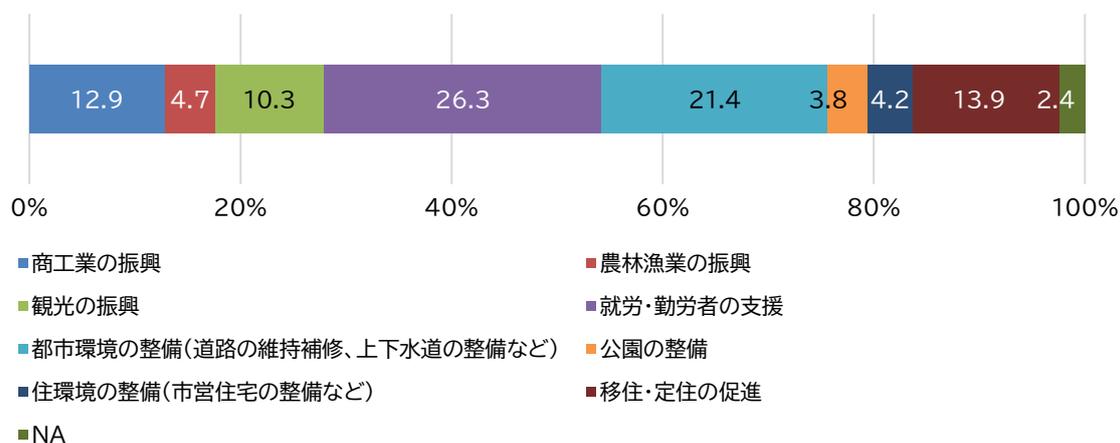
【悪い意見】

- ・時代に取り残されている。進歩をまるで感じない（男性、20代）
- ・現在の居住地（法能）の公共交通が不便（男性、30代）
- ・幹線道路の除草や里山管理が足りていない（男性、40代）
- ・昔からだけど、上から目線（男性、40代）
- ・特定企業への利益誘導になっていないか気になる（無回答、40代）
- ・変化を感じ取れない（男性、50代）
- ・改革らしいことがない（男性、50代）
- ・市長任期や多選問題（男性、50代）
- ・良い取り組みをしている部分を、もっと情報発信すべき。また、DX推進による行政手続のスマート化を進める割には、公共施設のweb回線整備が出来ていない。Wi-Fi環境の整備は、観光客の利便性向上や、災害時の情報収集手段として重要だと思う。（男性、50代）
- ・特定の人達ばかりが潤っている印象があります（女性、50代）
- ・道は狭いし、下水道は相変わらず汚い（男性、60代）
- ・市職員の電話対応が悪い（女性、60代）
- ・取り組みが市民に十分に伝わっていない。周知方法の見直しが必要（男性、60代）
- ・街づくりをもっと考えて進めてほしい（男性、70代）

■今後の都留市のまちづくりについて伺います

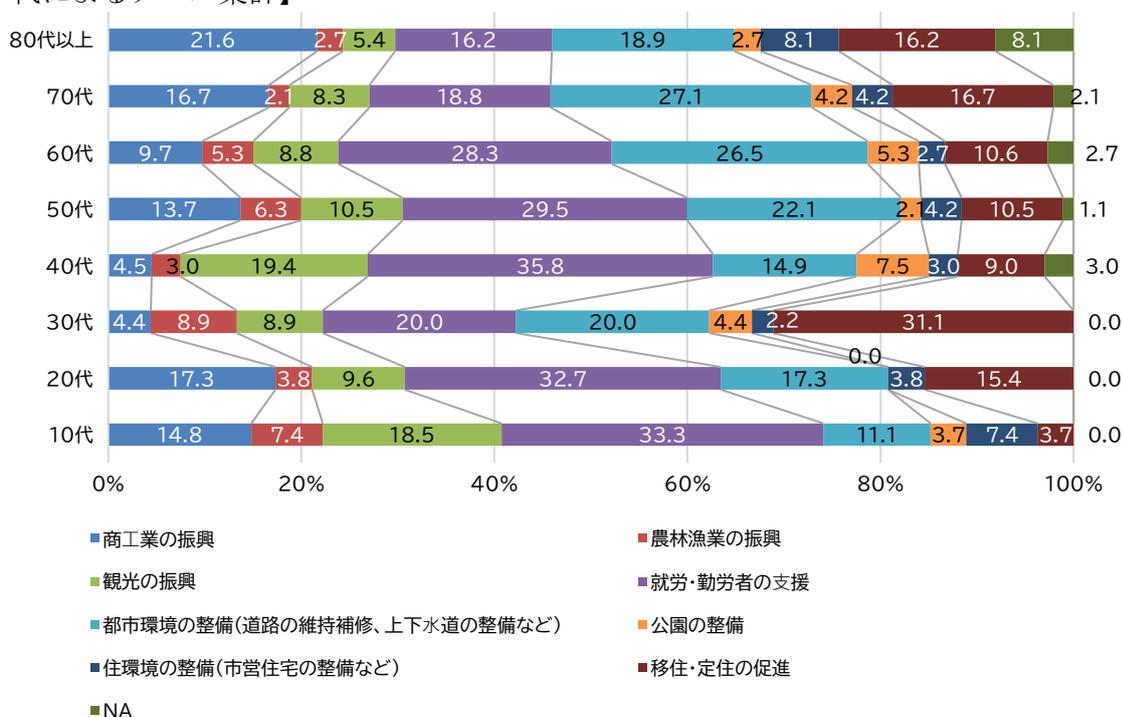
問 14. 今後の都留市のまちづくりにおいて、特に強く推進すべき項目は何ですか。

(1) 産業・基盤分野



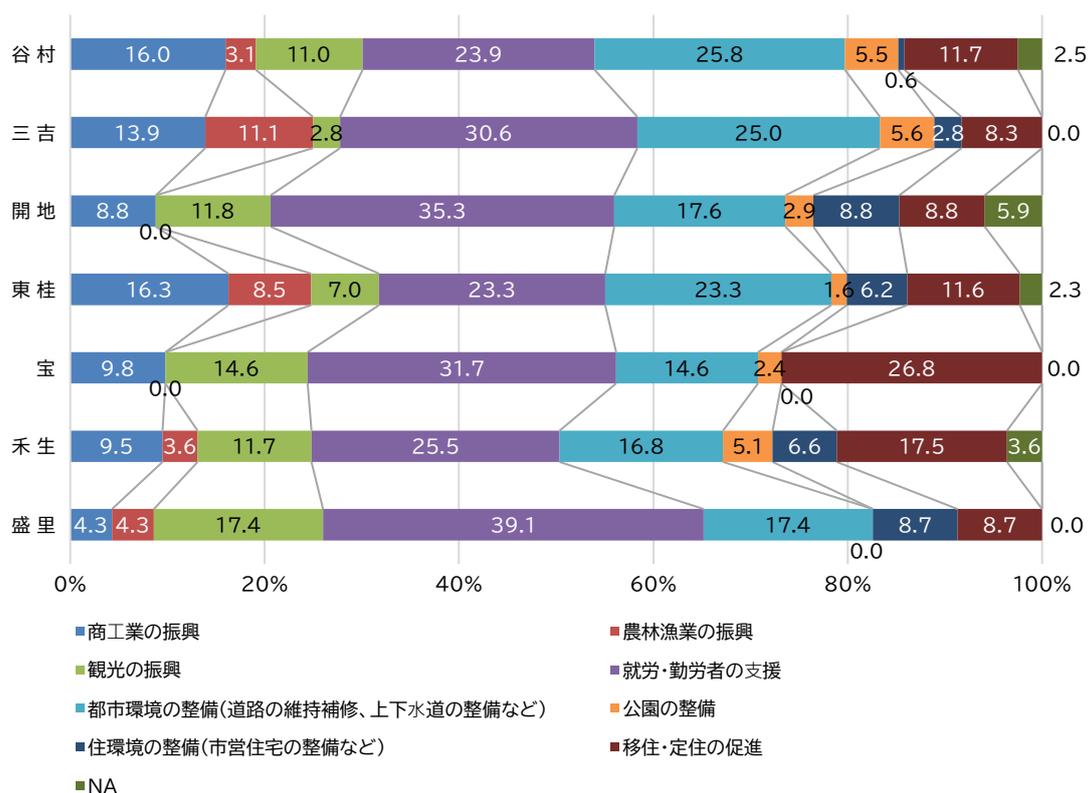
産業・基盤分野全体では「就労・勤労者の支援」(26.3%)が最も多く、次いで「都市環境の整備(道路の維持補修、上下水道の整備など)」(21.4%)が多くなっている。今後、特に強く推進すべき項目に最も選択されなかった項目は「公園の整備」(3.8%)であるが、これは令和7年度にオープンした「つるビーパーク・いこっと」の影響によるものと考えられる。

【年代によるクロス集計】



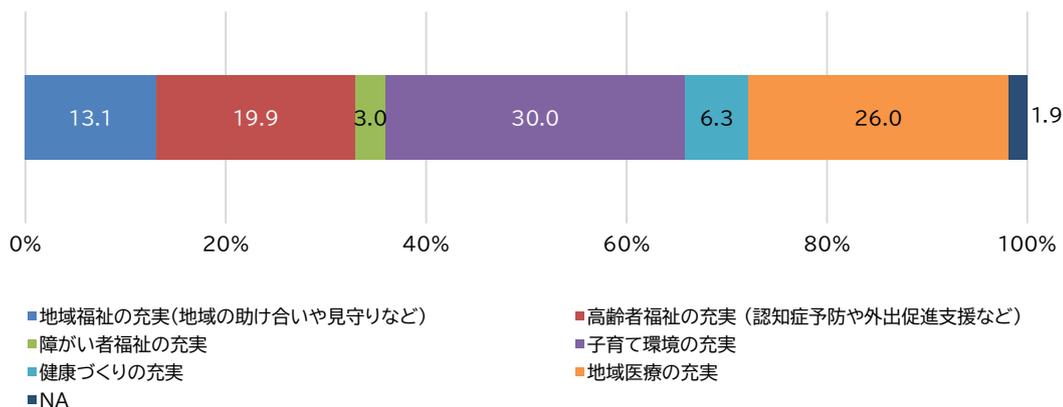
10代、20代、40～60代は「就労・勤労者の支援」が最も多く、30代は「移住・定住の促進」、70代、80代以上は「都市環境の整備(道路の維持補修、上下水道の整備など)」が最も多くなっている。

【居住地のよるクロス集計】



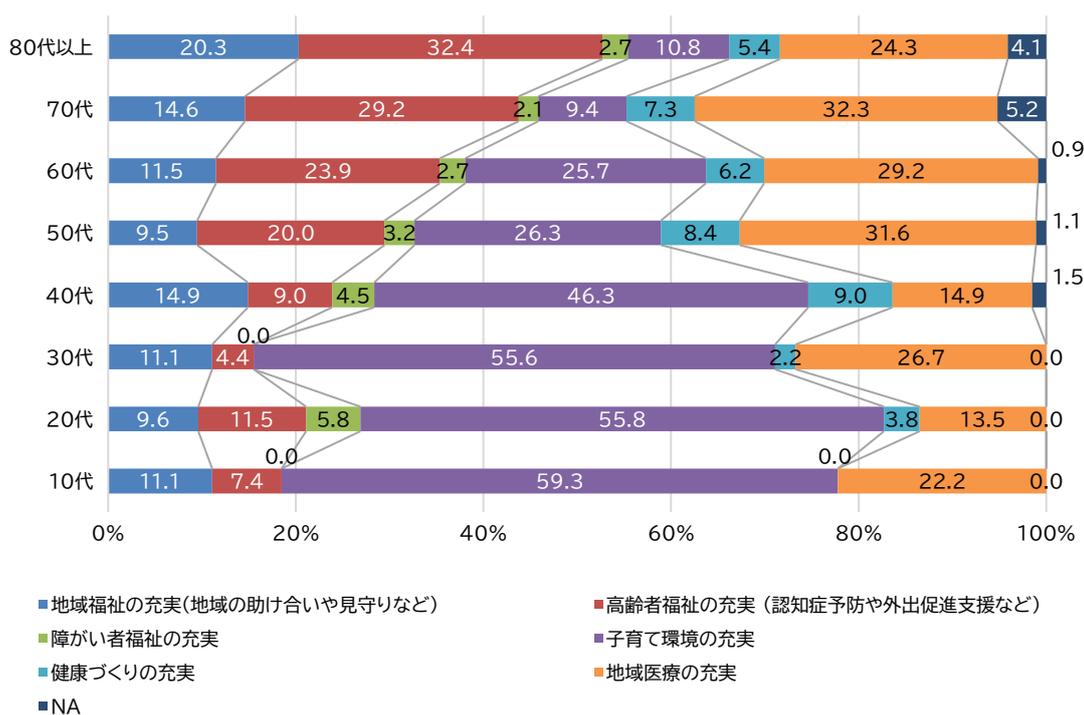
居住地によるクロス集計の結果は、谷村地域は「都市環境の整備（道路の維持補修、上下水道の整備など）」が最も多く、東桂地域は「都市環境の整備（道路の維持補修、上下水道の整備など）」と「就労・勤労者の支援」が同率で最も多く、その他の三吉、開地、宝、禾生、盛里地域は「就労・勤労者の支援」が最も多かった。

(2) 福祉・子育て・健康分野



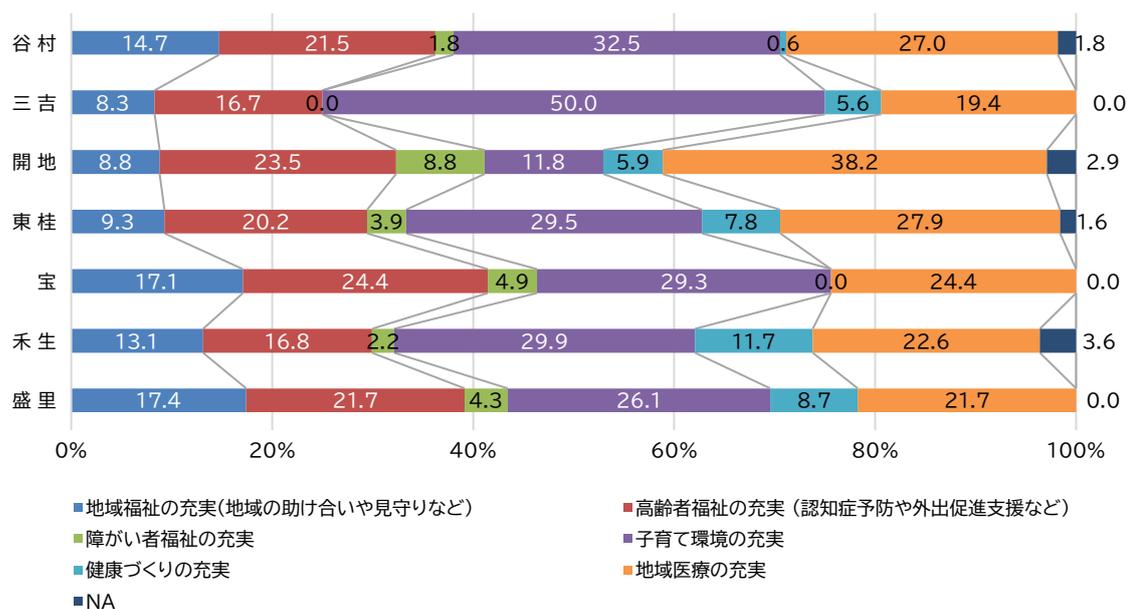
福祉・子育て・健康分野全体では「子育て環境の充実」(30.0%)が最も多く、次いで「地域医療の充実」(26.0%)、「高齢者福祉の充実」(19.9%)となっている。「健康づくりの充実」(6.3%)、「障がい者福祉の充実」(3.0%)は少なくなっている。

【年代によるクロス集計】



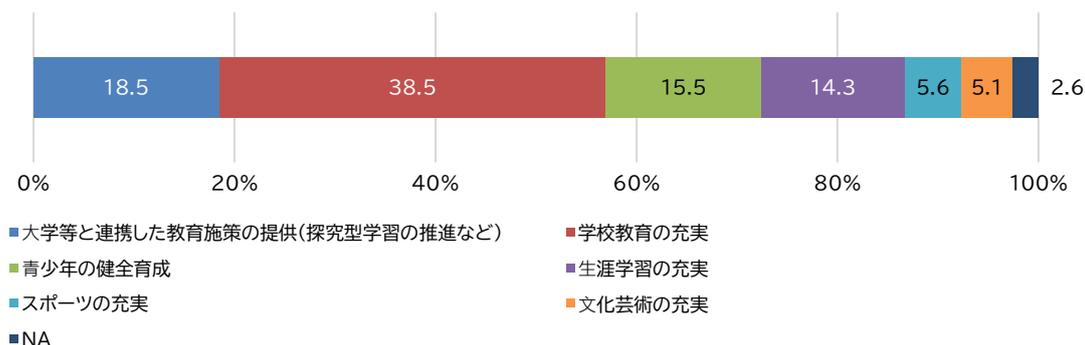
10代から40代は「子育て環境の充実」が最も多く、その割合は約5割であった。また、50代以上は年代が上がるにつれ、「高齢者福祉の充実」の占める割合が増加している。「地域医療の充実」は全年代で多いが、これも50代以上からはその占める割合は大きくなっている。

【居住地のよるクロス集計】



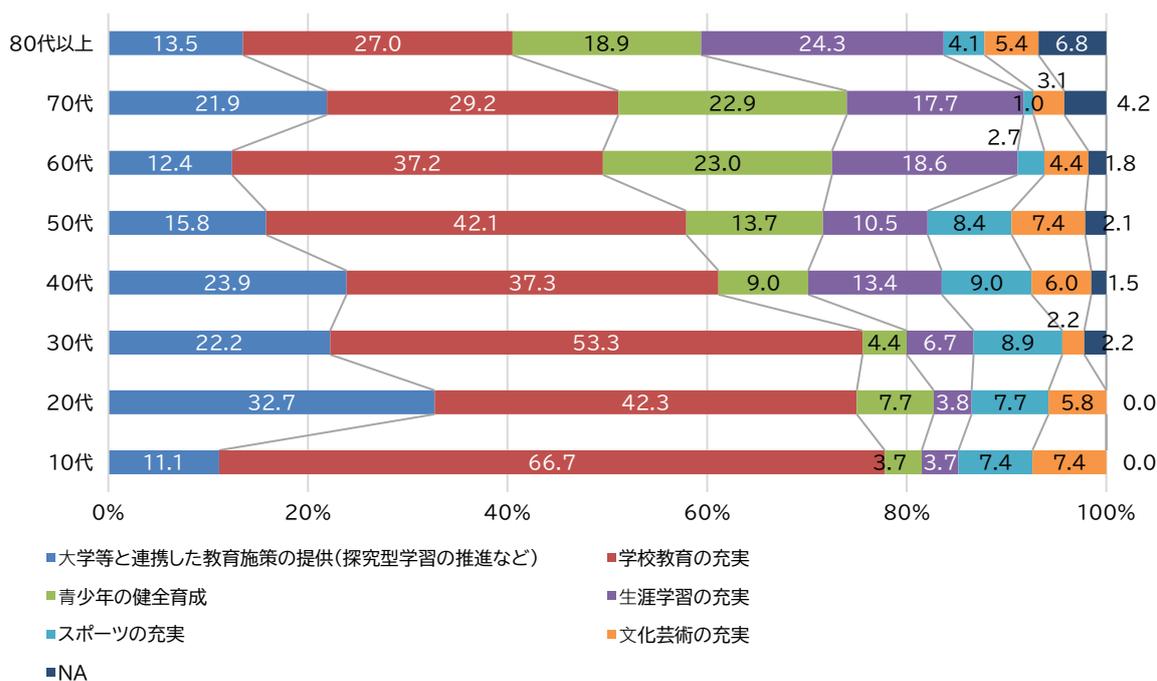
居住地によるクロス集計の結果は、谷村、東桂、宝、禾生、盛里地域は「子育て環境の充実」が最も多いが、「高齢者福祉の充実」「地域医療の充実」も多い結果となった。三吉地域は「子育て環境の充実」の占める割合が5割となっており、子育て環境を重視する市民が多いとなった。一方開地地域は、「地域医療の充実」の占める割合が4割となった。

(3) 教育分野



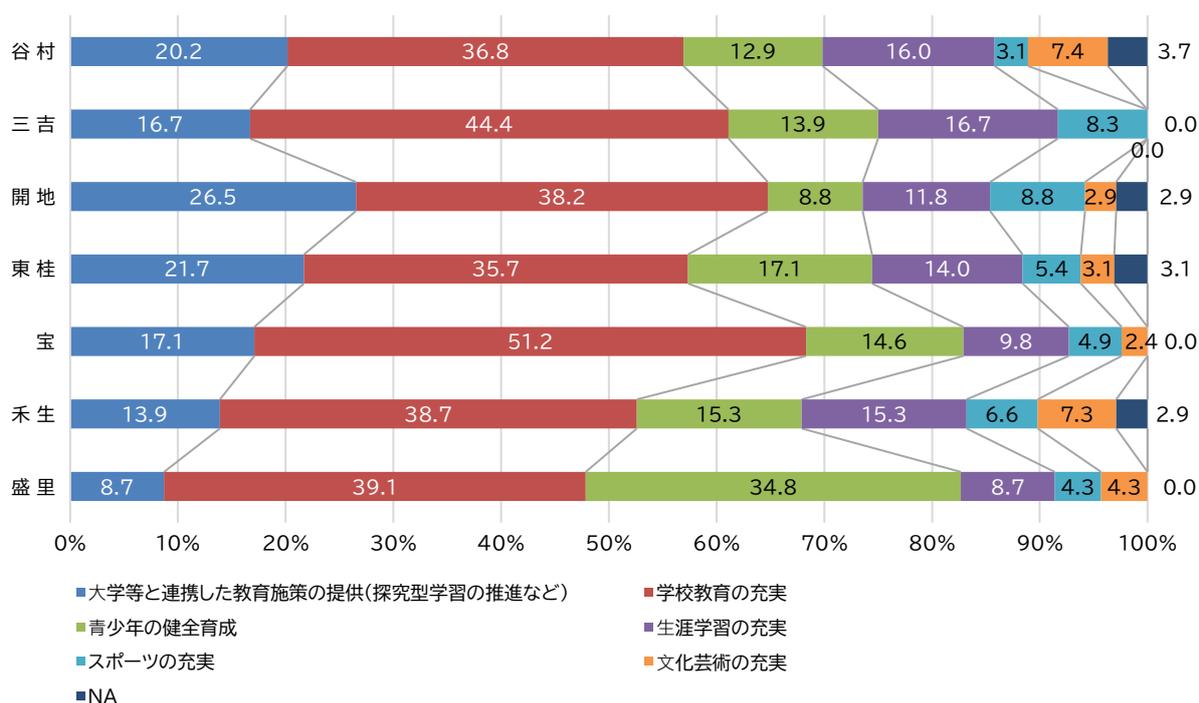
教育分野全体では「学校教育の充実」(38.5%)が最も多く、次いで「大学等と連携した教育施策の提供(探究型学習の推進など)」(18.5%)、「青少年の健全育成」(15.5%)となっている。「スポーツの充実」(5.6%)、「文化芸術の充実」(5.1%)は少なくなっている。

【年代によるクロス集計】



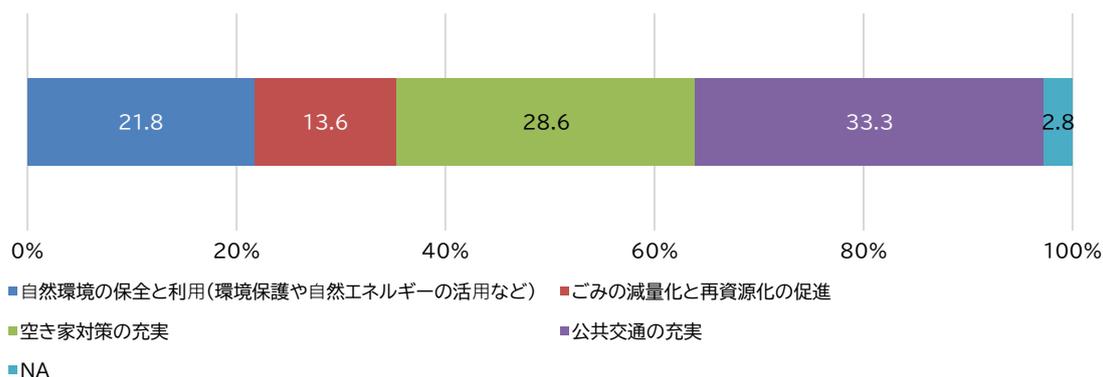
どの年代も「学校教育の充実」が最も多くなっている。特に10代は6割超、30代は5割超を占めている。20代、30代、40代は、「大学等と連携した教育施策の提供(探究型学習の推進など)」で高い割合を示している。50代以上から「青少年の健全育成」及び「生涯学習の充実」が高い割合を示し、特に60代、70代は「青少年の健全育成」が高く、80代以上は「生涯学習の充実」が高い。「スポーツの充実」は60代以上からは極端に割合が少なくなり、「文化芸術の充実」は、年代による差異は見られない。

【居住地のよるクロス集計】



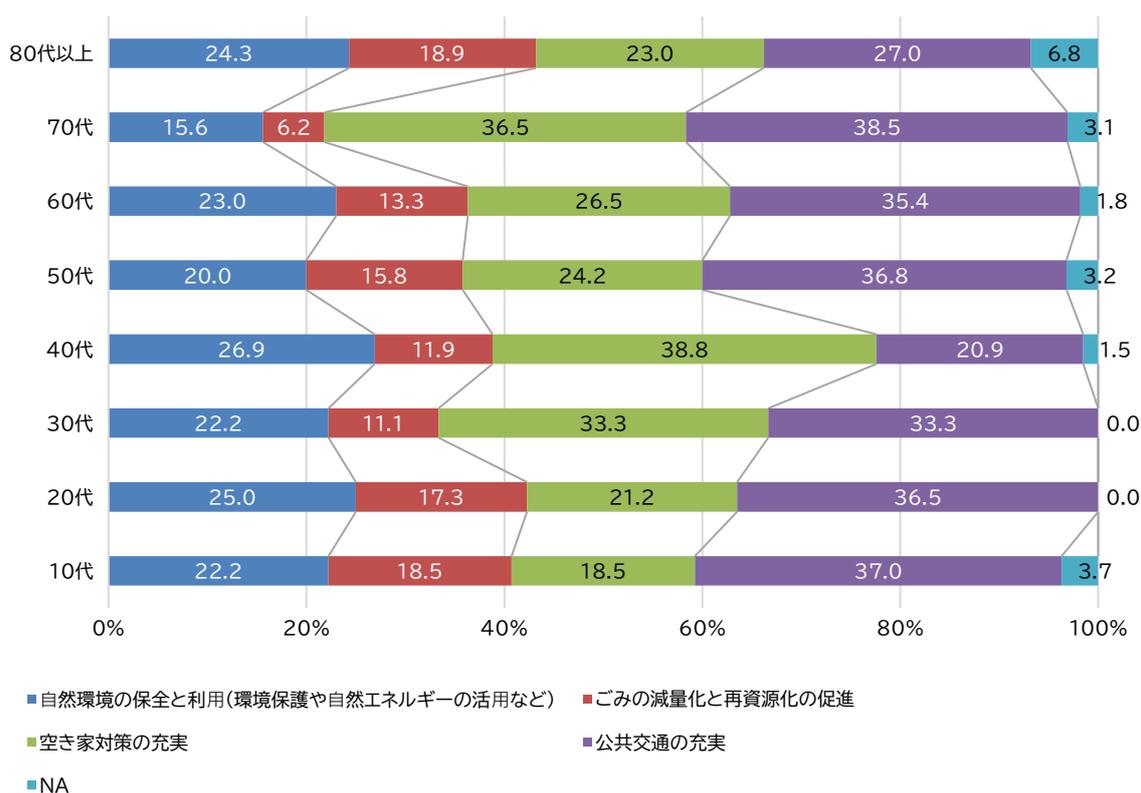
居住地によるクロス集計の結果は、全ての地域で「学校教育の充実」が多くを占めており、特に宝地域は5割超の割合を占めている。谷村、開地、東桂、宝地域では「大学等と連携した教育施策の提供（探究型学習の推進など）」が次点であり、開地地域は特に高い割合（26.5%）を占めている。盛里地域については「青少年の健全育成」が他地域と比較し高い割合（34.8%）を占めている。

(4) 生活・環境分野



生活・環境分野全体では「公共交通の充実」(33.3%)が最も多く、次いで「空き家対策の充実」(28.6%)、「自然環境の保全と利用(環境保護や自然エネルギーの活用など)」(21.8%)となっている。

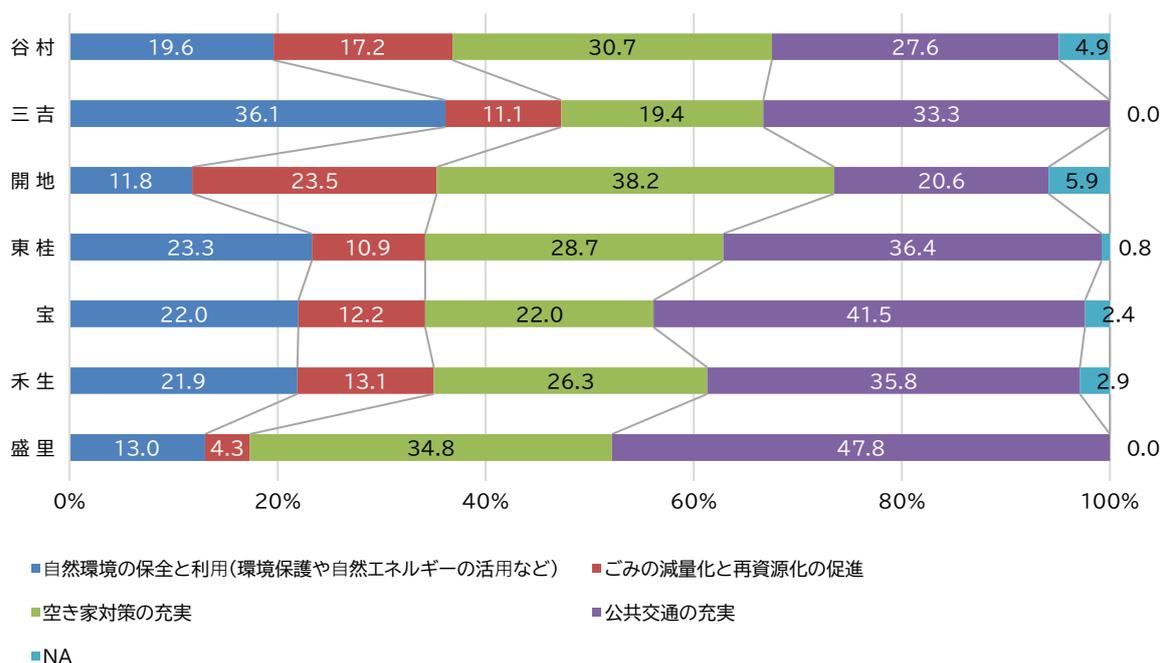
【年代によるクロス集計】



40代以外の年代においては、「公共交通の充実」が最も多くの割合を占めている(30代は「空き家対策の充実と同率」。60代以上の高齢者だけでなく、50代(36.8%)や10代(37.0%)、20代(36.5%)の若年層からも「公共交通の充実」は要望が強いとの結果となった。

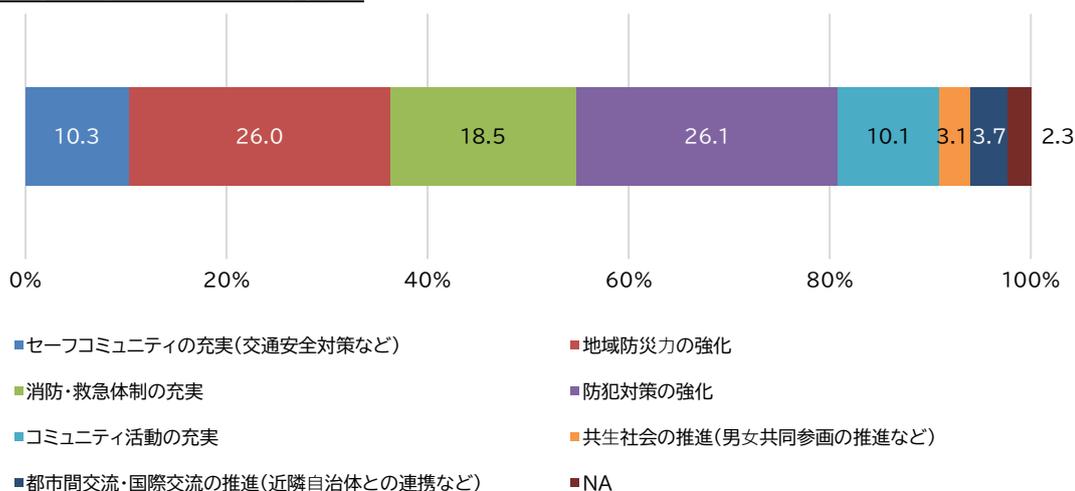
30代(33.3%)、40代(38.8%)、また70代(36.5%)においては、「空き家対策の充実」が多くの割合を占めている。理由の詳細は把握できないが、30代、40代は空き家の活用施策について、70代は空き家の処分についての要望が強いためこのような結果となったと考えられる。

【居住地によるクロス集計】



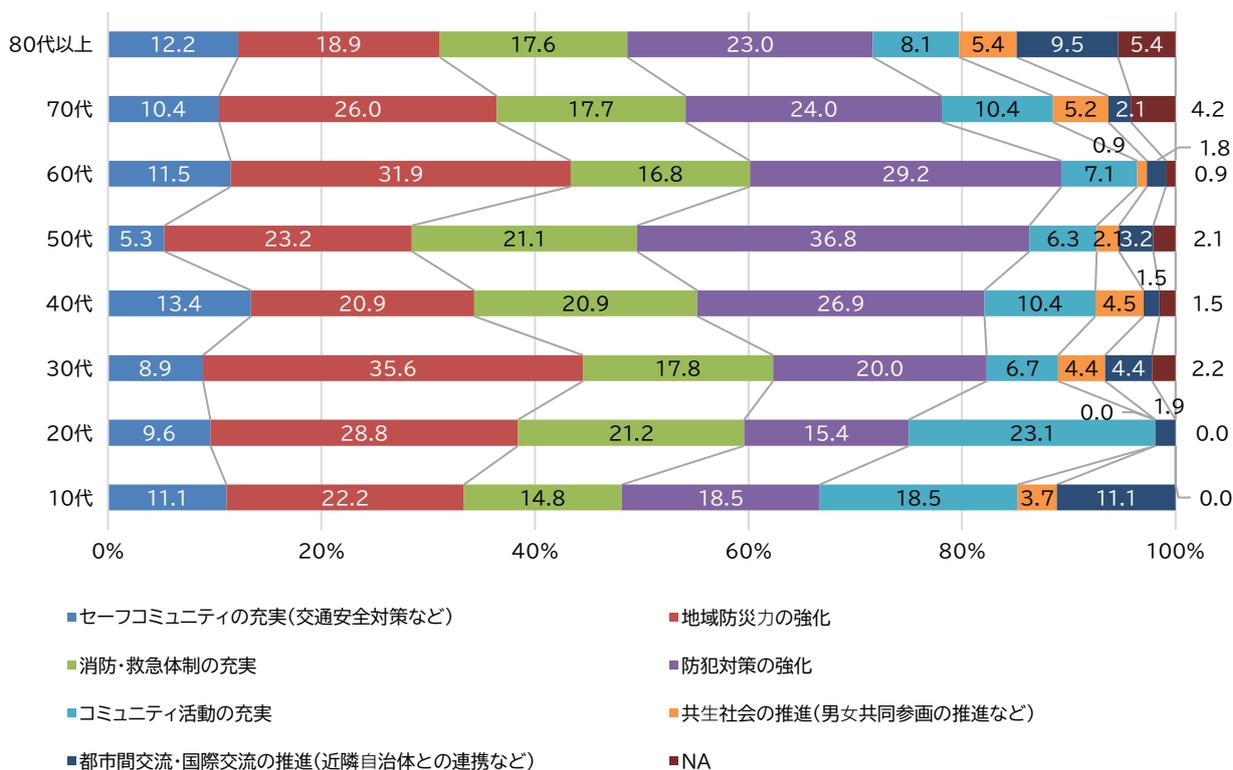
居住地によるクロス集計の結果は、東桂、宝、禾生、盛里地域で「公共交通の充実」が最も多くなっている。「公共交通の充実」は全体的に高い傾向にある中、開地地域は他地域と比較し、充実に対する要望が少ない傾向があった。谷村、開地地域では「空き家対策の充実」が最も多くなっている。また、「空き家対策の充実」は盛里地域についても高い割合（34.8%）を示している。三吉地域については「自然環境の保全と利用」が最も高くなっており、次点は「公共交通の充実」となっている。

(5) 安全・安心、コミュニティ分野



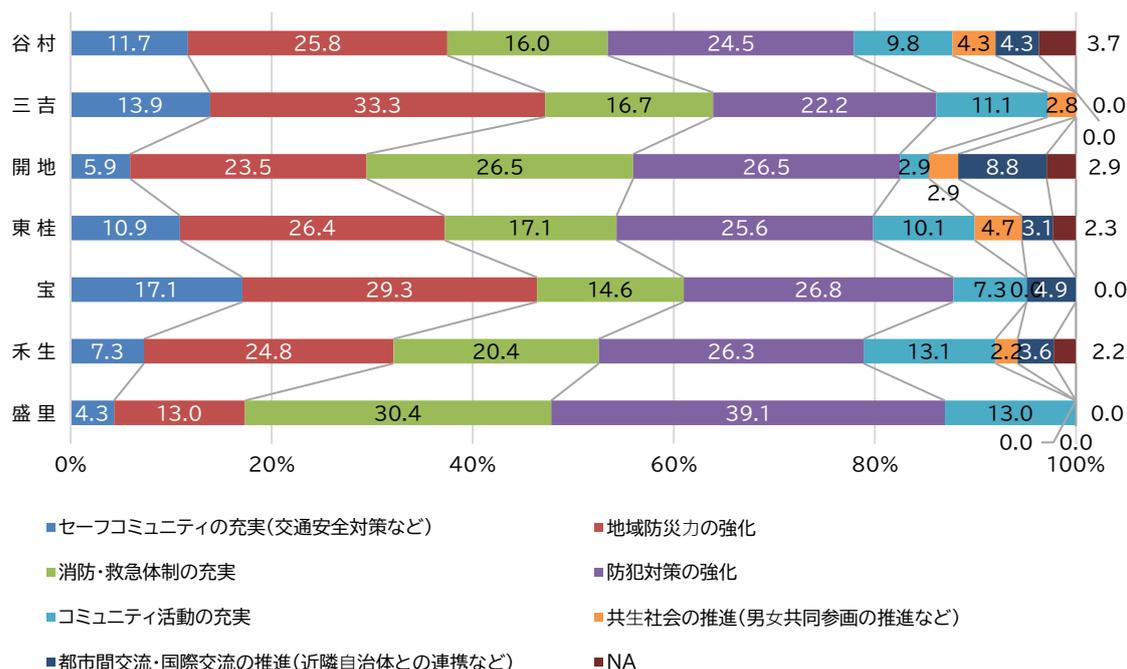
安全・安心、コミュニティ分野全体では「防犯対策の強化」(26.1%)が最も多いが、次点で差が無く「地域防災力の強化」(26.0%)となっている。

【年代によるクロス集計】



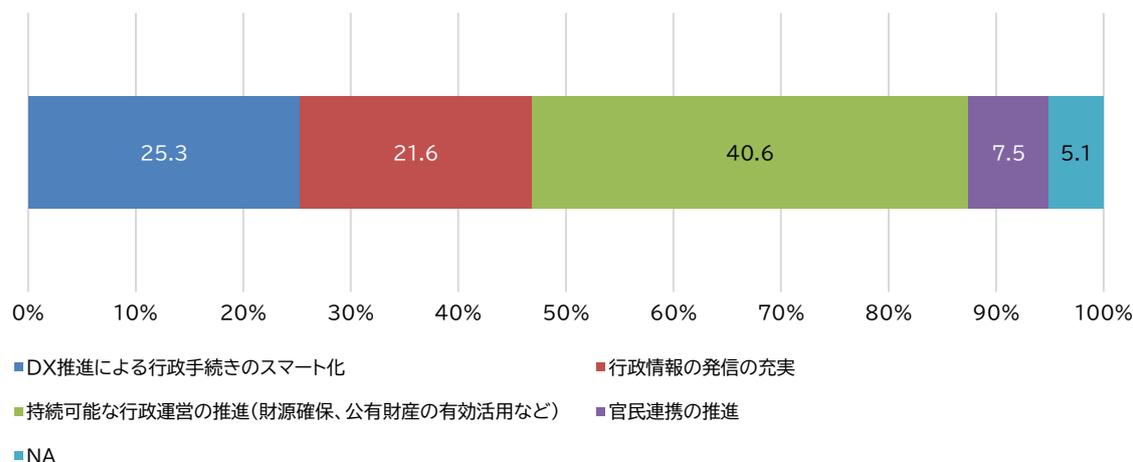
全ての年代で「地域防災力の強化」「消防・救急体制の充実」「防犯体制の強化」のいずれかを選択していることが多い中、10代、20代では「コミュニティ活動の充実」の占める割合が他年代と比較し大きくなっている。また、全体では3.7%の「都市間交流・国際交流の推進」であるが、10代で11.1%、80代以上で9.5%と一定の割合を占めている。

【居住地によるクロス集計】



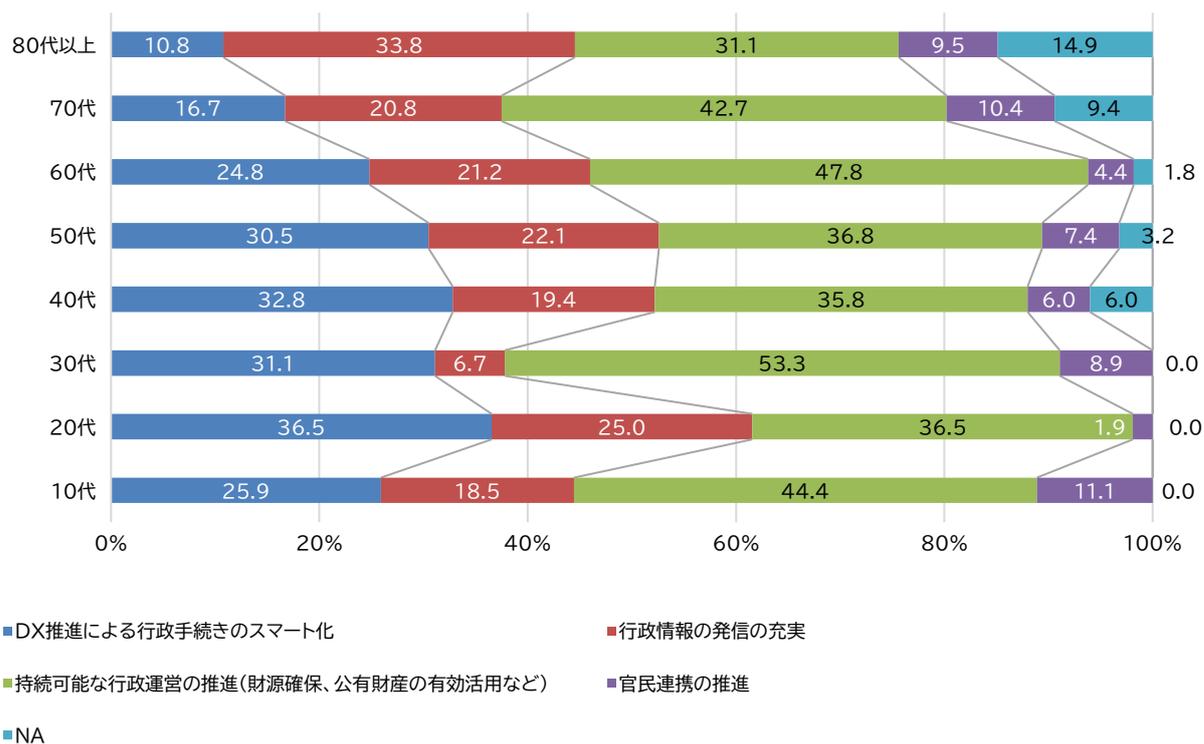
居住地によるクロス集計の結果についても、「地域防災力の強化」「消防・救急体制の充実」「防犯体制の強化」が全ての地域で多くの割合を占めているが、宝地域については「セーフコミュニティの充実（交通安全対策など）」が17.1%となっており、他地域と比較し高い割合となっている。開地地域においては、「コミュニティ活動の充実」（2.9%）と他地域と比較し著しく低い結果となっているが、「都市間交流・国際交流の推進」は他地域と比較し高い割合を示している。

(5) 行財政分野



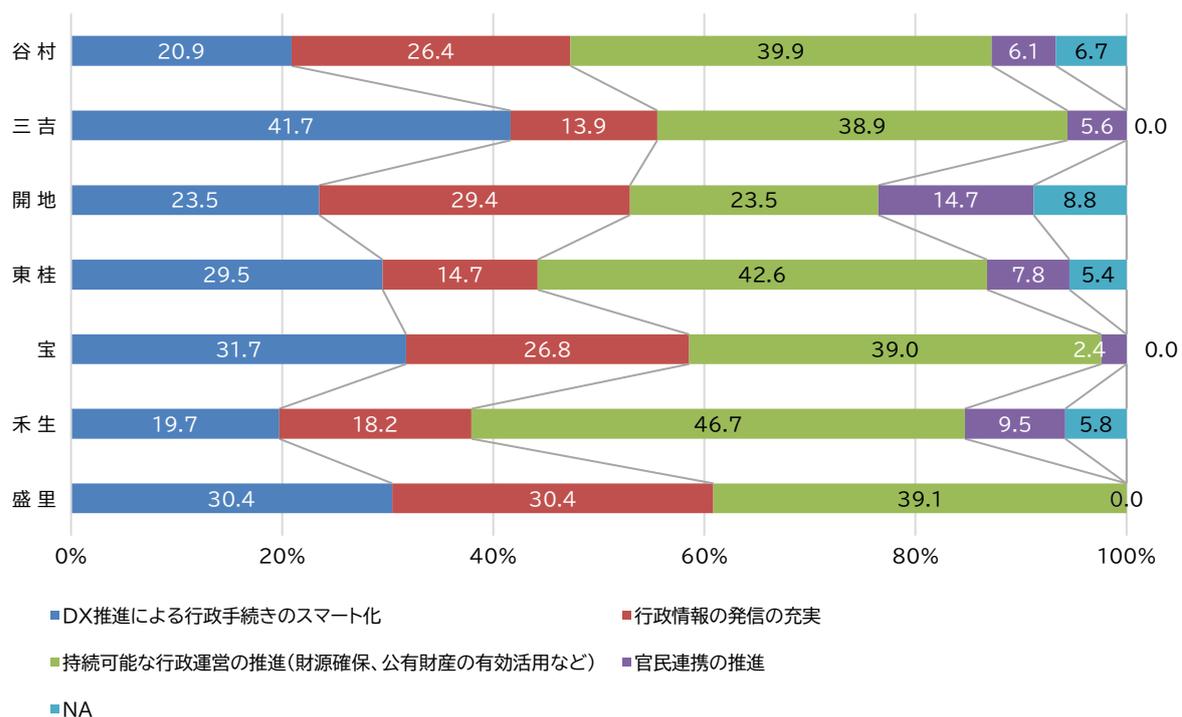
行財政分野全体では「持続可能な行政運営の推進」(40.6%)が最も多く、次いで「DX推進による行政手続きのスマート化」(25.3%)、「行政情報の発信の充実」(21.6%)となっている。

【年代によるクロス集計】



全ての年代で「持続可能な行政運営の推進(財源確保、公有財産の有効活用など)」が多くを占めている。特に30代で持続可能な行政運営の推進を求める声が多い結果となったが、「行政情報の発信の充実」は6.7%と他年代と比較し低い結果となった。「DX推進による行政手続きのスマート化」については50代以下の年代で多くを占めているが、60代(24.8%)、70代(16.7%)においても一定の割合を占めている結果となった。

【居住地のよるクロス集計】



居住地によるクロス集計の結果についても、「持続可能な行政運営の推進（財源確保、公有財産の有効活用など）」が全ての地域で多くを占めているが、三吉地域については、「DX 推進による行政手続きのスマート化」が最も多くの割合を占めている。

■「つる湧水のほとりエリア」について伺います

問 29. 「つる湧水のほとりエリア」は、今後、更なる市の賑わいを創出するエリアとして整備されました。このエリアの今後の活用等、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

《好意的な意見》

○利用している・利用しやすい

- ・ニコットは幅広い年代の方も多く、使いやすいです。(女性、10代)
- ・はぐっとやニコットにはよく行っていた。子育て世帯にはありがたい。(男性、30代)
- ・子どもが遊べる公園が無かったため、とても活用させてもらっている。(女性、40代)
- ・利用しています。新たな施設が増え活性化されていると思います。(女性、40代)

○嬉しい・良いと感じる

- ・公園ができたことによって市民に繋がりが生まれたのはよい。(男性、30代)
- ・とてもきれいになってよい。(男性、30代)
- ・公園の設置は子育て世代からしたらとても嬉しい。高齢社会の中で、子育て世代に向けた地域の取り組みがとてもありがたく、嬉しかった。(男性、30代)
- ・とても良い公園ができました。(女性、30代)
- ・素晴らしいものができた。(女性、30代)
- ・今まで都留に無かったので、需要が相当あると思います。(女性、30代)
- ・とても良いエリアだと思う。(男性、40代)
- ・とても良い施設が出来たと思う。(女性、40代)
- ・つるビーパークができて、子ども達がとても喜んでいました。(女性、40代)
- ・多くの子どもたちで賑わっているのが、大変良いと思う。(男性、50代)
- ・都留市に大変素晴らしいエリアが出来て良かったと思います。(女性、50代)
- ・まだ行ったことはありませんが、教え子達が施設を楽しんでいる様子を聞きます。ありがたいです。(女性、50代)
- ・車でも電車でも行けるし、大学も近いので、場所的には良いものになると期待しています。(女性、50代)
- ・おそらく活性化すると思う。立地がいい。(男性、60代)

《要 望》

○情報発信・PRについて

- ・都留文科大学の学生があまり関心を持っていないように感じているため、学生を対象にした発信も必要と感じている。(女性、20代)
- ・市民で知らない人が多いので、知名度を上げる必要があると考えている。(男性、50代)
- ・是非PRをして多くの人に利用して欲しい。(男性、50代)
- ・宣伝が足りない。(男性、50代)

- ・活用について、広報やSNSでもっと情報発信してほしい。(女性、50代)
- ・つるフィールド・ミュージアムの利用方法が分からないため、HPで紹介してほしい。(男性、60代)
- ・ミュージアム都留など歴史を感じられる施設を一か所にまとめることで、老若男女が都留市の事を知る機会が増えるのではないかと思う。(女性、60代)
- ・十日市場から蒼竜峡、おなん淵を整備し、観光の拠点にしてほしい。景勝地をもっとアピールしてほしい。(男性、70代)

○保全維持管理について

- ・今後も末永く誰もが集え、安全に楽しく利用できるように整備、保全に力を入れて頂きたいと思います。(女性、50代)
- ・現在の管理状態を維持するよう、保全維持管理に目を配って欲しい。(女性、60代)
- ・作った以上は市が管理して綺麗に使ってってもらいたい。(女性、60代)
- ・都留市の水は昔からきれいなのでずっと残していけるように協力をしていくことが大切だと思う。(女性、60代)

○イベント等開催について

- ・つるビーパーク開園時のようなイベントを毎年実施してほしい。(男性、30代)
- ・イベントを定期開催してほしい。(女性、30代)
- ・お祭りや大人も楽しめるビールフェスの様な催しがあれば参加したい。(女性、30代)
- ・多様な学習機会が実施されると良いと思う。(男性、40代)
- ・マルシェなどイベントを活用し、独自性を出すことで近隣エリアを巻き込む必要があると考えている。(男性、40代)
- ・料理教室をしてほしい。若い人、お年寄り、男性、女性、共通して参加しやすいのは食に関する事だと思う。(女性、50代)
- ・子どもたちが興味関心を持てる環境を作ったらどうかと考えている。(女性、60代)
- ・休日にもキッチンカーが来るようにしてほしい。(男性、70代)
- ・子どもたちの移動がスムーズに出来る方法を考えてほしい。(男性、80代以上)

○交通・駐車場整備について

- ・いこっこの駐車場が整備されると嬉しい。今の臨時駐車場をコンクリートなどで舗装してほしい。(男性、30代)
- ・つるビーパークの駐車場が少ないという声を聞いたことがある。(男性、30代)
- ・やまびこ競技場に続く砂利道を舗装してほしい。(男性、30代)
- ・信号のない横断歩道があるため、信号を設置した方がいいと思います。(女性、30代)
- ・観光客を招致するために駐車場やアクセス性を向上させる必要あると考えている。(無回答、40代)
- ・都留市は車社会であることから駐車エリアを含む交通整備(歩道も)が必要ではないかと思っています。(男性、50代)
- ・駐車場を整備・拡張してほしい。(男性、70代)

○活用方法について

- ・郷土の歴史文化の博物館はどこにでもあるが、自然科学系の博物館は少なく、他の自治体と差別化できるため、フィールド・ミュージアムを自然科学や生物系の博物館として活用してほしい。(女性、20代)
- ・フィールド・ミュージアムは周辺に自然がある環境なので、この建物で自然や生き物の面白さを知って外へ出ていく仕掛けがあるといいと思う。(女性、20代)
- ・繰り返し利用してもらうことが大事なので、毎月訪れても四季折々の自然を楽しく学べるような授業や学生の企画をやってほしい。都留市の自然について学びながら公園周辺を出歩けるように、ポケット図鑑や図書を置いて持ち歩けるようにすると楽しそう。(女性、20代)
- ・都留文科大学が中心となって、学びや賑わいの中心地として活用して欲しい。(男性、30代)
- ・多くの人に利用されるようにしてほしい(男性、30代)
- ・持続的なものとするのであれば、管理運営を民間へ委託した方がよい。(男性、40代)
- ・スクラップアンドビルドの観点からも、必要のない他施設の運営を廃し、持続可能なものとしていただきたい。将来を見据えた現実的な投資をしていただきたい。(男性、40代)
- ・つるフィールド・ミュージアムは公園の隣にあるが、公園利用者が気軽に入っていいのかわからない。ガラス張りで公園がよく見えるのもっと出入りを自由にしてもらえるといいなと思います。(女性、40代)
- ・大学のつるフィールド・ミュージアムは大変立派な施設だけにもっと活用すべき。(男性、50代)
- ・市内だけでなく市外からも足を運んでもらえる公園となることを願います。(女性、60代)
- ・公園内の水資源を有効に活用できたらよいと思う。(女性、80代以上)
- ・行ったことはないが、観光客の利用促進と魅力ある企業が誘致されることから優秀な人材を育成するために活用してほしい。(不明)

○各種施設設置について

- ・近くに保育園、小児科があると良い。(女性、20代)
- ・ドッグランがあれば更に利用しやすい。(女性、30代)
- ・スケボーパークを作ってほしい。鍛冶屋坂トンネルで迷惑はしているが、小さい子から若い世代まで毎日のように来ているので、ニーズがあると思う。(女性、40代)
- ・田原地域に公園等の施設が集中したが、ここを拠点に市内各地域の拠点整備をお願いしたい。(女性、60代)

《不満・懸念》

○利用について

- ・小学校低学年までの子育て世代にはとても利用しやすいが、それより上の年代はあまり利用する事がないのが残念である。(女性、40代)
- ・日陰が少ないのが少し気になりました。(女性、40代)
- ・フィールド・ミュージアムの利用方法が分からない。(女性、40代)

- ・湧水と謳っているが、公園内で湧水を活用しているものがあるか分からない。(男性、50代)
- ・つるビーパークは、見通しの悪い公園だと思います。遊びにくそうです。(女性、50代)
- ・公共施設などの施設が点在しているため、わざわざ足を運びにくい。(女性、60代)

○利用料金について

- ・ニコットのコワーキングスペースの利用料金が高く、使いづらいです。(女性、10代)
- ・ニコットに立ち寄ったら、市外の方は入るのに料金がかかると言われた。自由には子供を遊ばせられない。市の出身でも他の市に住んでいるからダメとは、なんだか差別を受けた気がした。(女性、60代)

○地域について

- ・田原地域のみ発展していると感じている。谷村の中心街でますますドーナツ化が進むのではないかと懸念している。(男性、60代)

○交通について

- ・来客数が増えたことにより、ニコットへの侵入道路が危ないと思います。対策が必要。(女性、30代)
- ・交通アクセスの利便性、駐車場やバスなど誰もが利用できる状態にあるのか懸念がある。(男性、40代)
- ・田原地域に集中しているので交通の便が悪いと感じている。(男性、60代)

《知らない・利用したことがない》

- ・ニコット以外は利用した事がない。(女性、50代)
- ・まだ行ったことがないので分からない。子どもがいないと行きづらい感じがする。(女性、50代)
- ・行ったことがない。暑さが厳しい中、屋根や日影がないと利用できない。バスで行くことができるか分からない。(男性、70代)
- ・勉強不足で公園が整備されたことを知らなかった。機会があったら出かけてみたいと思っている。(女性、80代以上)

《不 要》

- ・これ以上の新たな施設整備は必要ないと感じている (男性、30代)
- ・田原地域に新たな施設整備がそもそも必要であったか不明である。(男性、40代)
- ・公園はいらない (男性、50代)
- ・大金を投じて公園を作る必要があったのか疑問がある (女性、50代)

■自由意見

問 30. 都留市のまちづくりについてご自由にお書きください

《市政全般について》

○良い意見

- ・全体的には市の施策に満足している。(男性、30代)
- ・良い町にしようというのが感じられるので、あとは、政策を実施して地域住民の住みやすさ、移住者、観光客を増やしていければ良いと思う(男性、30代)
- ・都留市がさらに良くなっていくことは、市民としてとても嬉しいです。(女性、30代)
- ・まちづくり全体として、分かりやすい方向性を示し、推進していると思う。さらに未来へ向けた取り組みを進めていただきたい。(男性、50代)

○中庸の意見

- ・静岡県裾野市のウーブンシティはモビリティ中心だが、都留市は「自然の豊かさ」と「都心へのアクセス性」の両立を強みとした未来都市づくりを目指すべき。(無回答、40代)
- ・市民が関心や興味を持たないとそもそも問題意識は生じないと思うので「自分事」として捉えてもらえるような施策が必要であると思います。(女性、40代)
- ・市民ニーズが多様化し施策も増えているが、少子高齢化の中では施策をシンプルにすることが大事。必要不可欠なサービスと、なくても対応できるサービスを整理していく必要がある。(女性、20代)
- ・自然災害・交通等に対して将来に向けた安心なまちづくりを進めてほしい。(男性、50代)
- ・日本の食料自給率の低さと農家の高齢化に不安を感じている。(女性、50代)
- ・コロナ禍以降、お祭り等の地域行事が簡素化される傾向にあります、自治会離れも進んでいくとか、非常災害時を考えると不安になります。地域住民がひとつになれる施策が必要だと思います。(男性、70代)

○悪い意見

- ・東京近郊で自然豊かな環境という強みを十分に活かせていない。(男性、40代)
- ・地域資源を活かした観光資源開発と整備を進めて欲しい。(男性、40代)
- ・既存のインフラに対する整備、改修、保守を最優先にする。インバウンドが増加しないようにする(誘因を作らない)。(男性、40代)
- ・可もなく不可もなく、独自性がない。(男性、40代)
- ・市の施策が、日常生活を送っている我々に対してあまり実感が湧かない。市がどういう施策を行っているのかよく知らない。何らかの方法で、情報にもっとアクセスしやすくなればもっと関心が湧くと思う。(男性、40代)
- ・市長、議員の任期期限を決めてもらいたい(男性、50代)
- ・一部の人達ばかりが潤わず、公平な都留市であって欲しいと思います。(女性、50代)
- ・市長を変えた方がいい。(男性、60代)
- ・箱物中心の土木行政からは脱却してほしい。(男性、60代)
- ・関係者や一部の人にしか利のない施策はやめてほしい。(男性、60代)
- ・施策全体に中途半端さが否めない。(男性、60代)

- ・具体的な数値目標はありますか？（男性、60代）
- ・消滅都市にならない施策を打ち出し、展開した方が良い（男性、60代）
- ・一部の人のためのもの？という気がしています。（女性、60代）
- ・もう少し活気ある町になって欲しい。（女性、60代）

《企業誘致について》

○良い意見

- ・厚原地域の企業誘致を是非成功させていただき、若い世代の就業率を飛躍的に高めることによって子どもや若者が定住できる環境をつくってもらいたい。（男性、70代）

○中庸の意見

- ・土地確保は難しいが、地元商店も入居できる大型商業施設を整備することで市内外からの需要が望めるのではと思います。（男性、50代）

○要望事項

- ・飲食店チェーンや衣服チェーンの誘致をしてほしいと考えている。（女性、10代）
- ・大きな商業施設を誘致してほしい。（男性、20代）
- ・働くところを増やして欲しい。都留市にも無くはないが甲府や富士吉田に良い企業が多いので都留市の会社で働く人が少ないと感じる。（女性、20代）
- ・ファミリーレストランが少ない。カフェや本屋も少ないので、ショッピングモールを誘致してほしい。（女性、20代）
- ・企業など働く場所を作してほしい。（男性、80代以上）

《公園について》

○良い意見

- ・公園整備事業は自分の子どもには間に合わなかったが、良い施設ができたと評価している。（女性、40代）

○中庸の意見

- ・人々が安全安心に住める街づくりを更に推進すべきである。歩きやすい街並みづくり、くつろぎやすい公園等の整備を進め、年齢を問わず利用できる施設を充実させる必要がある。（男性、50代）

○悪い意見

- ・公園内に子どもが登って落ちたらケガじゃすまない場所がある。危険個所の改良をお願いしたい。（女性、50代）
- ・田原地域に新しく整備した公園が、たまり場になっている。缶ビールの空き缶が捨てられていることがある。（女性、50代）

○要望事項

- ・東桂地域にも公園を整備してほしい。（男性、10代）
- ・子どもだけでなく、お年寄りが散歩や交流、健康的な生活作りができる場となる公園を提供してほしい。（女性、40代）

- ・ペットも散歩ができる公園など、公園整備には自然を活かして欲しい。子どもだけに目を向けずに全ての市民が喜ぶ空間が必要だと考える。(女性、40代)
- ・市内でスケートボードをする人が増えており、体験会も開かれているが、練習できる場所が整備されておらず、続けたい子どもたちが困っているため、市内にスケートパークを整備してほしい。(女性、40代)
- ・スケボーパークを企業の空き駐車場を市が借りて整備したり、にこっとの駐車場を夜開放したり、その他の使われていない施設を開放したりするなどして、整備をお願いしたい。(女性、40代)
- ・中学校の部活動の一環としてスケボーパーク整備することを検討してほしい。(女性、40代)
- ・田原の公園を整備する際に、ドッグランの併設を考慮していただきたかった。都留市にも大きめなドッグランがあると良いと思います。(女性、50代)

《道路について》

○悪い意見

- ・道路の補修工事がいいかげんところが多い。(女性、50代)
- ・道路が狭い。(男性、60代)

○要望事項

- ・道路がガタガタところが多いので直してほしい。(女性、20代)
- ・車の運転している時に草、木が伸びてミラーが見えづらい場所がある。適切に整備し、事故にならないよう、子どもが安全に歩けるように対策をしてもらいたい。(女性、40代)
- ・道路の白線をきちんとして欲しい。赤坂の交差点は、右折車線もわからないくらい薄い。車がないと生活が難しい地域だからこそ、安全に暮らせるように道路整備を適切にして欲しい。(女性、50代)

《移住定住対策について》

○中庸の意見

- ・農業経験者が多い都市部の人にとって、農業ができる移住先として選ばれる可能性がある。(男性、40代)
- ・都留市の魅力を体感してもらい、最終的に定住につながるような取り組みを期待する。(男性、40代)
- ・移住促進や人口増加につなげる戦略には工夫が必要。定住にこだわらず、利用者の都合を優先した柔軟な滞在スタイルを取り入れる。例：好きな時に好きな期間、都留市で働ける仕組み。(男性、40代)
- ・公園や緑化を体系的に整備することで県外からの移住者を増やせるのではないか。(無回答、40代)

○悪い意見

- ・土着ではない移住者（土地を元々所有していない人）でも土地あるいは中古物件が取得しやすい町にしてくれないと定住できません。(男性、30代)

- ・移住者に対し継続的に手厚い制度を増やした方がいいと思います。(女性、30代)
- ・都留市の住民は市外から引っ越してきた方たちによそ者扱いする方が多い。(男性、70代)

○要望事項

- ・転勤者など一時的に数年間住む人も地域コミュニティに参加できるようにしてほしい。(無回答、40代)
- ・若い人たちや移住者の定住促進のため、企業誘致、子育て支援、通勤通学の費用補助などを今まで以上に行なって、魅力のある都留にしてください。(男性、60代)
- ・子どもが自宅から東京に安心して通勤出来る環境を都留市も整備して欲しい(女性、60代)
- ・人口を増やす対策を強く行なってほしい。(男性、70代)
- ・若い世代が学校を卒業したら、帰ってきて活躍したいと思えるような街になってくれることを切望する。(女性、80代以上)

《教育・子育て施策について》

○良い意見

- ・子育て教育関連の施策に感謝している。(給食費の無償化・学校教室へのエアコン設置・高校生まで医療費無償化(長年実施)・大型公園の設置・男女共同参画計画の策定)(女性、20代)
- ・子育て関連施設について、学童が小学校の敷地内に作られたり、中学校や小学校のトイレがきれいになったりと、ありがたいなあと感謝しています。これからも都留市の発展を願っています。頑張ってください。(女性、40代)

○中庸の意見

- ・子育てや教育への投資は「未来への投資」である。(女性、50代)

○要望事項

- ・まちづくりにおいて教育が特に重要。学びの多い先進的な学校づくりや、学校外にも学びや居場所がある環境を整備してほしい。(女性、20代)
- ・子どもたちが勉強も遊びものびのびできる市で育ててほしい。子どもが行きたい学校や学びたいこと、やりたい仕事を選択できるようにサポートしてほしい。(女性、20代)
- ・中学生の部活動を支援してほしい。各校単位で成り立たない部活動を市単位の活動にするなど。(女性、20代)
- ・子どもが雨でも遊べるような施設ができるともっと嬉しい。(男性、30代)
- ・都留文科大学を活用した子育て世帯の教育費(塾代等)の負担軽減。(男性、50代)

《公共交通について》

○悪い意見

- ・法能地区の循環バスがなくなるという話を聞き、不安に感じている。利用頻度は少ないが、車が使えないときの唯一の移動手段であり、なくなると困る。(男性、30代)

- ・公共交通機関を使って通勤をしているため、電車の本数やバスが充実すると生活しやすくなる。(女性、30代)
- ・都留市は交通の便が悪い。(男性、60代)

○要望事項

- ・循環バスの運行本数を増やして利便性を高めてほしい。本数が増えれば、環境への配慮の観点からもバスを利用しようという気持ちになる。(男性、30代)
- ・デマンドタクシーは電話予約が必要であることから不便であると感じている。予約なしで利用できる公共交通手段を今後も確保してほしい。(男性、30代)
- ・バス運行の維持は財政負担が大きいと察するが、交通弱者にとってはなくてはならない生活の足であるため、維持するようお願いしたい。(女性、60代)

《自然、環境について》

○良い意見

- ・まるたの森クリーンセンターに直接ゴミを持ち込めることが大変良いと思う。(女性、50代)

○悪い意見

- ・ニコットのように若い世代が楽しめる場は良いが、一方で空き家や荒れる農地が増えているのが気かりである。(女性、50代)
- ・田んぼが工場や荒地になるのは残念であり、地域の風景が失われていくことに悲しさを感じる。(女性、50代)
- ・下水道、桂川が汚い。(男性、60代)
- ・街灯が少なく街が暗い印象である。また、街中にトイレが少なく、公園トイレは汚い。(男性、70代)
- ・稲作をしていて感じる事だが、河川へのゴミ投棄が依然気になります(男性、70代)

○要望事項

- ・富士吉田市と同様に燃えないゴミの収集日を週1回にしてほしい。分別方法も富士吉田市と同じにしてほしい(女性、20代)
- ・自然豊かで高齢者、子どもが共存できる市にしてほしい(男性、30代)
- ・山林所有者や土地所有者に対して適切に管理しているか厳しく指導してほしい(男性、40代)
- ・空き家、空き地を有効活用する方策を検討いただきたい。(男性、50代)

《イベント等の地域活動について》

○中庸の意見

- ・活動内容に地域の差が大きい(女性、50代)

○要望事項

- ・ふるさと時代祭りを八朔祭りに戻してほしい。(女性、10代)

- ・自治会が機能していないため、市に貢献できる機会が納税以外、あまりないと感じています。自治会の枠を超えた、参加ハードルの低いイベント（例えば半日で終わる除草活動）があると良いと思っています。（女性、30代）
- ・田野倉地域は活気があるが、都留市の中心部も同じように活性化させてほしい。（男性、50代）
- ・観光客に来てもらうためのイベントを実施してほしい。（男性、50代）
- ・都留市の特徴は田野倉標高392mから東桂駅標高561mまで『坂』が続いているので、坂を活かしたイベント。ヒルクライムランや、チキキチマシン猛レースの用なコスプレカートでの坂下りコミックレースコンテストなどをして欲しいです。（男性、50代）

《医療について》

○悪い意見

- ・周りの人から市立病院の評判が悪く、自分自身もよく思っていないため、もっと行きやすい病院にして欲しい（主に一部の医者態度が悪い、待ち時間が長い、電話対応と受付の連携が取れていない）。（男性、30代）
- ・急な怪我で市内の病院が何処も受け入れてくれず、救急に連絡したところ上野原市か甲府市と言われて怒りが込みあがりました。（女性、50代）
- ・病院の減少により不安しかありません。市外に行かなきゃいけないリスク。助かる命も助かりません。真剣に考えて欲しいと思います。（女性、50代）
- ・都留市立病院の駐車場が狭く、また待ち時間が長いです。（不明）

《観光について》

○中庸の意見

- ・道の駅つるを中心に観光や産業が発展すればいいなと思っています。（女性、40代）
- ・都留市が城下町だったことを踏まえて、谷村城跡を開発したり、高尾町通りを当時の街並みを再現させたりすれば、富士山・富士五湖方面に向かうインバウンドの外国人に立ち寄ってもらえて、都留市の活気や景気の回復につながるのではないかと思います。（男性、50代）

○悪い意見

- ・吉田うどんのような独自の何かがあれば・・・（都留カレーは無し）（男性、30代）
- ・都市部と世界遺産をつなぐ中継地点にありながら活かされてない。例えば富士五湖観光客に宿泊、サービスを行える十分な地の利があると考えるが何ら支援がない。（男性、60代）
- ・体験型の宿泊施設もあるが、支援もアピールも足りていない。（男性、60代）

○要望事項

- ・道の駅つるを魅力的な場所にして欲しい。（女性、60代）

《農林業施策について》

○要望事項

- ・都留市内の耕作放棄地を活用し、地元で安心・安全な農作物を生産できるようにしてほしい。農業従事者への支援を充実させることで、より安定した街づくりにつながると考えている。(女性、50代)
- ・地産地消は果物(もも・ぶどう)だけでなく、米も都留市産を推進できればよい。(女性、50代)
- ・米づくりを支援し、食料自給率の高い市を目指してほしい。(女性、50代)
- ・クマ対策、補助金、どうかして下さい！(女性、50代)

《情報発信・PRについて》

○中庸の意見

- ・SNSを使って若者の目に留まるようにすることが必要(男性、10代)
- ・ずっと暮らしてきて、特に都留市というものが好きではなかった。ただ都会にでたあとに帰ったときに良さを感じられた部分が多くあった。わかりにくい都留市の良さを多くの人に分かってもらえるように分かりやすい良さを若者に伝えて活気ある市になることを期待する。(男性、30代)

○悪い意見

- ・情報発信は他自治体と差別化できておらず、投資に対するリターンも乏しい。(男性、40代)
- ・賃貸住宅居住者に地域の情報が届く仕組みを整備してほしい。現状のHPは能動的に取りにいかない情報に触れられないため不十分。回覧板のように受動的に情報を得られる仕組みが必要。(無回答、40代)

《施設整備・利用について》

○中庸の意見

- ・西桂町の三つ峠グリーンセンターは人が常駐しており利便性が高い。(無回答、40代)

○悪い意見

- ・不要な既存施設を売却したり除却したりし、コンパクトシティにする必要がある。(女性、30代)
- ・市の中心部以外でも買い物等に不便がないよう中心部以外に住む者にも配慮していただきたい。(男性、40代)
- ・禾生と都留二中のテニスコートは、事前予約や鍵の借用、学校活動中の利用制限、市役所での直接支払など利便性が悪い。(無回答、40代)
- ・新しいものを整備するより、既存施設を別の視点や発想で活かす方法を見つけてほしい。(女性、50代)
- ・DX化は良いと思うが、施設利用の申請をLINEのみに限定するのは不便である。LINEを使っていない市民もいることからLINE以外の予約方法も必要だと考えている。(男性、60代)
- ・他の申請と同様に、市のホームページから申請できる方が利便性は高いと思う。(不明)

○要望事項

- ・料金がかからず、ネットで予約ができる個室の勉強スペースが欲しいです。(女性、10代)
- ・テニスコートの予約については一部インターネット予約が可能であるが、利便性を向上させてほしい。また、電子システムで使用者にパスワードを伝達・使用料金の電子決済を導入してほしい。(無回答、40代)
- ・高齢者が集まれる場所が更に増えてほしい。趣味、運動施設等。(男性、70代)
- ・都留市に警察署の本庁舎を戻してほしい。(女性、70代)

《防災無線について》

○悪い意見

- ・現在の「外出を避けこまめに水分補給を」という放送は一律的で適切さに欠ける。自宅に冷房がなく、かえって熱中症になるお宅もあり得る。代替的な放送例として、「長時間の屋外作業を避け、涼しい場所で過ごしましょう」「クールシェア」という概念を活用した呼びかけ。(女性、50代)
- ・「いーばしょ」を作っても放送で「外出するな」と言われては高齢者の引きこもりを助長する恐れがある。(女性、50代)
- ・朝夕に防災無線から流れる音楽が「あか抜けない」。音源をもっと爽やかなものにできないか。(男性、60代)

《市内の迷惑行為について》

○悪い意見

- ・まだ暴走族がいる。(男性、20代)
- ・暴走族をなんとかしてほしい。(男性、40代)
- ・高校生のうるさいバイクがストレスです。また、パチンコ店に高校生が出入りできないよう対策を講じる必要がある。(女性、50代)

《アンケートについて》

○悪い意見

- ・都留市に長く住んでいないと回答できない項目が多くあったので、県外から越してきた大学生を除いた、市内に住んでいる16歳以上の方を対象にした方が都留市の発展のための参考になるのではないかと思います。(女性、20代)
- ・回答するのは良いけれど、アンケートのボリュームを考えて欲しい。多すぎて途中でやめようかと思った。(女性、30代)
- ・アンケートの設問項目が多すぎる。(男性、40代)
- ・アンケート内容が多いため、もう少しアンケートの出し方に工夫が必要と思う。以前も同様のアンケートを実施していたが、過去とその無駄なボリュームが変わっておらず、がっかりした。意味のあるアンケート作成をお願いします。(男性、40代)
- ・ペーパーレス化の推進をお願いします。(男性、50代)